

平成 **25** 年度

こどもの城
吉業立報

公益財団法人 児童育成協会

平成 **25** 年度

子どもの城

**事業年報
事業年報**

平成 25 年度 こどもの城 事業年報

1
事業の概要

- 7 平成 25 年度の活動 はじめに／本年度の主な取り組み／経営理念と運営方針／開館時間・入館料（こども活動エリア）／施設・組織機構など／[こどもの城]の付帯事業
- 17 平成 25 年度活動一覧表 来館児・者数／貸切団体利用状況／広報活動／視察・見学実績

こどもの城から全国へ

23 平成 25 年度の活動

24 平成 25 年度活動一覧表 〈動くこどもの城〉（派遣プログラム）ほか

2
こどもの城から全国へ

3
各部門の事業

全館事業課

- 29 平成 25 年度の活動
- 30 平成 25 年度活動一覧表 一般利用など

体育エリア

- 33 平成 25 年度の活動
- 34 平成 25 年度活動一覧表 一般利用／講座・クラブなど

3階・屋上エリア（プレイ）

- 39 平成 25 年度の活動
- 41 平成 25 年度活動一覧表 一般利用

3階・屋上エリア（造形）

- 43 平成 25 年度の活動
- 45 平成 25 年度活動一覧表 一般利用／講座・クラブなど／プログラム一覧

4階エリア（音楽）

- 49 平成 25 年度の活動
- 51 平成 25 年度活動一覧表 一般利用／講座・クラブなど／その他

平成 25 年度 **こどもの城** 事業年報

3 各部門の事業

4階エリア（映像科学）

57 平成 25 年度の活動

58 平成 25 年度活動一覧表 一般利用／講座・クラブなど／その他／プログラム一覧

保育研究開発部

61 平成 25 年度の活動

63 平成 25 年度活動一覧表 一般利用／講座・クラブなど／その他

小児保健部

65 平成 25 年度の活動

67 平成 25 年度活動一覧表 一般利用／講座・クラブなど

研修事業課

69 平成 25 年度の活動

70 平成 25 年度活動一覧表 ボランティアの活動／講座・クラブなど

劇場事業本部

73 平成 25 年度の活動

74 平成 25 年度公演演目一覧表 青山劇場／青山円形劇場／その他

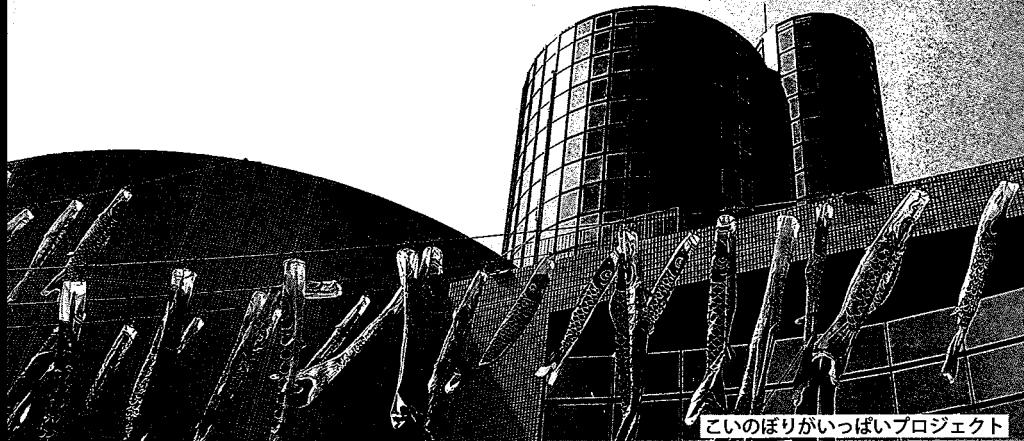
経営企画部

79 平成 25 年度の活動

1

事業の概要

事業の概要



平成 25 年度の活動

□□□ はじめに □□□

公益財団法人児童育成協会は、国立総合児童センター〔子どもの城〕の運営などをとおして、児童の健全育成、資質向上に資するための事業を全国に向けて推進してきた。

本年度は、閉館を 2 年後に控え、〔子どもの城〕に求められる使命を全うするためにも、極めて重要な年度となった。予算や職員数など、経営資源の減少にも柔軟に対応できるように、大幅な組織改革と事業の見直しを行い、〔子どもの城〕の運営面においても、また全国のセンター館としても、今まで担い続けてきた役割を着実に果たせるように事業を進めた。

このような状況の中で臨んだ本年度は、事業の縮小、統合、休館日の増加などの要因で来館児・者数は若干減少したものの、〔子どもの城〕の運営の基本方針である安心、安全な事業運営を確保することができた。それとともに、子育て支援事業、貸切団体利用事業、〈動く子どもの城〉事業、東日本大震災復興支援事業の実施など、〔子どもの城〕の利用者および全国の子どもや家族、児童福祉関係者を対象にした事業も積極的に展開した。

□□□ 本年度の主な取り組み □□□

〔子どもの城〕は体育、プレイ、造形、音楽、映像科学、保育、小児保健、劇場などさまざまな部門を総合的に機能させ、来館する子どもや家族に向けた〈あそび〉のプログラムを実践している。特に時代や社会環境の変化の中で生じる、子どもを取り巻くさまざまな課題への取り組み、さらに社会に向けて、児童の健全育成や子育て支援に資する活動や情報の発信に重点をおいて活動した。本年度の主な取り組みは次のとおりである。

■■■ 来館児・者数 ■■■

〔子どもの城〕の「子ども活動エリア」の来館児・者は 302,825 人、劇場利用者は 325,421 人、保育、体育、音楽、小児保健などの講座・クラブ利用者 61,705 人、研修会・会議室や宿泊施設関係の利用者 108,376 人、総来館児・者数は 798,327 人（総推計）となり、前年度比 46,611 人減となった。来館児・者が減少した要因としては、職員数の減少に伴い、〔子どもの城〕の休館日を増

やしたこと、また一部の講座・クラブ、専門職講習会を廃止、定員減、実施回数減を実施したことなどが要因である。年度当初に予測されたこうした来館児・者減に対応するために、新規事業として「子育て広場事業」、「団体貸切事業」を実施した。その結果、「こども活動エリア」の来館児・者数は昨年の 91.8% と減少した。一方で、営業部門、特に宿泊利用者の増加により、[こどもの城] 全体では、昨年の 94.5% であった。

【来館児・者数（対前年度比較）】

来館児・者区分	平成 25 年度実績①	平成 24 年度実績②	(人) 差し引き増減①-②
有料来館者（大人）	123,919	129,941	▲ 6,022
有料来館児（子ども）	82,536	94,417	▲ 11,881
有料来館児・者（団体）	9,348	11,879	▲ 2,531
小計（有料来館児・者）	215,803	236,237	▲ 20,434
3歳未満児推計	62,035	65,047	▲ 3,012
招待者・児	24,987	28,540	▲ 3,553
「こども活動エリア」来館児・者	302,825	329,824	▲ 26,999
劇場入場者	325,421	339,856	▲ 14,435
講座・クラブ受講生	61,705	80,227	▲ 18,522
その他	108,376	95,031	13,345
合計	798,327	844,938	▲ 46,611

■■■ 健全育成のための〈あそび〉のプログラムの開発と実践 ■■■

[こどもの城] の提供するプログラムは、子どもの心身の健康を増進し、知的・社会的な適応能力を高め、情操を豊かにすること——健全育成を目的にし、体育、プレイ、造形、音楽、映像科学などの各専門分野の特質を生かしたさまざまなプログラムを、年間をとおして実施した。提供するプログラムは、子ども自身の興味・関心に沿って自由に選択して参加できるようにし、子どもがより能動的に参加し体験できる楽しい〈あそび〉となるように工夫した。

本年度も幅広い年齢層の子どもたちに対してさまざまな取り組みを行った。特にこどもの日や七夕、お正月など季節毎に行われる日本の伝統行事をテーマにしたプログラム、オリンピックなど時代や社会の動きに沿ったテーマで構成されるプログラム、また家族から友だち、初めて出会った仲間までを含んだ、人と人とのかかわりをテーマにして行われるプログラムなど、[こどもの城] としての機能を最大限に生かした事業を展開した。

■■■ 子育て家庭への積極的支援 ■■■

国は平成 19 年度から、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場として子育て支援の拠点づくりを行う「地域子育て支援拠点事業」を推進している。平成 29 年度末までに 10,000 箇所の設置を目指して現在も拡充を図っている。

[こどもの城] では国の施策に先駆け、平成 3 年度から子育て広場事業「赤ちゃんサロン」を実施し、乳幼児とその保護者を支援する事業を実施している。平成 20 年度には「赤ちゃんサロン」の対象年齢を広げた「ぽかぽか広場」を開設し、それ以降も年間を通じて、一般来館の乳幼児親子向けの居場所やプログラムの充実を図った。

本年度はこれまでの実績を踏まえ、「赤ちゃんサロン」と「ぽかぽか広場」の 2 つのプログラムを統合し、開館日のすべての日程に、午前中から実施する乳幼児と親子向けの「0・1・2 歳のぽかぽか広場」を開始した。また、父親の積極的な育児参加が望まれる中、父親に子育ての楽しさを伝える事業「おとうさんのあそび市」を、地域の父親子育てサークル 16 団体の協力を得て実施した。



子どもの食生活についてアドバイス「0・1・2 歳のぽかぽか広場」

■■■ 思春期児童への対応 ■■■

「いじめ」「不登校」「少年犯罪」など、思春期児童を取り巻く課題はますます深刻さを増している。こうした状況の中、平成 10 年に厚生労働省中央児童福祉審議会は、児童の健全育成や非行防止の拠点として、居場所としての児童館の機能強化を訴えている。【子どもの城】では昭和 60 年の開館以来、さまざまなプログラムをとおして子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

講座・クラブ事業は、専門性の高い職員の特性と設備をいかした体験活動を提供することで、児童の知的・社会的能力を高めてきた。それと同時に、継続的に【子どもの城】を利用することで、仲間や職員との相互関係を醸成する機会となり、居場所としての機能を担ってきた。特に中高生が多く所属する、「合唱団」「新体操」「LIT（高校生のボランティアクラブ）」などは、個々が興味を持つ活動を基盤に、世代、地域など多様性のある子どもたちがグループ活動を行うことで、子どもたちの居場所となってきた。

また、一般来館プログラムでも、体育エリアの「ビッグサタデー」、プレイエリアの「小中学生コーナー」、映像科学エリアの「子どもスタッフ」などの、プログラムやスペースづくりをとおして常連の子どもたちが増え、居場所としての機能を果たしていた。

特に、講座・クラブ事業では幼児から【子どもの城】の活動に参加した子どもが、青年期まで連續して活動に参加するケースは非常に多い。このことからも、講座・クラブ事業が子どもにとって非常に有効な居場所となっていると考えられる。

【講座・クラブ事業】

本年度の講座・クラブ、短期講座、専門職講習の充足率は以下のとおりである。

○講座 ……29 種、60 コース、受講者数 1,123 人、充足率 87.0%

（前年度 31 種、63 コース、受講者数 1,352 人、充足率 88.0%）

○クラブ ……5 種、5 コース、受講者数 598 人、充足率 50.0%

（前年度 6 種、6 コース、受講者数 628 人、充足率 61.0%）

○短期講座 ……7 種、46 コース、受講者数 565 人、充足率 78.5%

（前年度 12 種、85 コース、受講者数 1,032 人、充足率 83.2%）

○専門職講習 ……6 種、6 コース、受講者数 176 人、充足率 58.7%

（前年度 15 種、17 コース、受講者数 592 人、充足率 81.1%）

■■■ 全国の児童館との交流事業 ■■■

全国の児童館数は平成 23 年度で 4,318 館、運営主体は公営 62%、民営 38% となっている。昭和 60 年の割合が公営 84%、民営 16% であったのと比較すると、民営の児童館の割合が倍以上に増加している（厚生労働省調べ）。

このような状況の下、センター館としての役割を果たすべく、一般財団法人児童健全育成推進財団と協力して、東京都の児童厚生員の自主的勉強会「月 1 学習会」を昨年度に引き続き実施した。また 12 月に福島で実施された「第 13 回全国児童館・児童クラブ大会 東北復興支援フォーラム」では、全国の大型児童館と連携を図り「遊びの公開ラボ」を実施した。また同時に「児童館こいのぼりがいっぱい」プロジェクトで全国から集まったこいのぼりの作品を展示した。こうした児童館の連携強化の機会や、専門職としての資質を向上させる機会を設けることで、全国を視野に入れた児童健全育成事業の普及、発展に取組んだ。

■■■ 人材育成への取り組み ■■■

一般財団法人児童健全育成推進財団が平成 23 年に実施した児童館の全国調査によると、1 館あたり児童厚生員を 2 人配置している施設が 22.1% と最も多く、平均では 4 人となっている。平成 18 年に行った調査では平均が 3.4 人であったので、総数としては増えている。しかし、職員の非常勤化が進み、短時間勤務の児童厚生員の数が増えているからではないかと、この調査では分析しており、全国的に児童厚生員の配置が充実しているとは言いがたい。加えて、いじめ、虐待、子育

ての孤立化など子どもをめぐる諸問題は深刻化し、児童館、児童厚生員の役割はますます重要になってきている。

児童厚生員の質的向上を図るための専門講習会や、ボランティアの育成など、児童健全育成活動や子育て支援活動の普及、推進に努める人材育成事業は【子どもの城】の大きな役割である。本年度も児童厚生員、放課後児童クラブ指導員などの専門職員向けに、「専門職講習会」を 6 講座実施、また全国の自治体や団体からの要請に応え、【子どもの城】の各専門分野から 121 件の「講師派遣」を行った。「ボランティアの育成」として、【子どもの城】で活動するボランティア養成のほか、国庫補助事業においても児童健全育成事業に関わるボランティア養成講座を実施。また、大学、専門学校、また大型児童館から実習生、研修生を受け入れた。

■■■ 東日本大震災復興支援事業 ■■■

「東日本大震災」発生の当初から地震による子どもへの影響は、長期化が予想され、継続的で地道な支援が必要とされてきた。また、時間の経過と共に被災地以外の地域では、震災に対する市民意識が次第に希薄になり、復興への精神的・物質的支援が途切れる可能性も危惧されてきた。

【子どもの城】では、このような現状を踏まえ、全国の児童館と連携して復興支援に対する市民意識の醸成を主な目的として「わすれない みんなゲンキに！児童館こいのぼりがいっぱいプロジェクト」を実施した。北海道から沖縄まで 387 施設が主旨に賛同し、こいのぼりをテーマに全国でさまざまなプログラムを実施した。また福島県郡山市から依頼を受け、保育所、幼稚園において運動遊びの指導を行なうために、定期的にスタッフを派遣した。

■■■ プログラムの普及と保存継承の取り組み【子どもの城】から全国へ ■■■

日本全国にある児童館のセンター館として建設された【子どもの城】の重要な使命として、開発プログラムの全国普及がある。昭和 60 年の開館以来、蓄積したプログラムを、地域児童館で実施できるプログラムに再構成し、平成 6 年より国庫補助事業の〈動く子どもの城〉（児童館巡回支援活動等事業）として実施してきた。平成 25 年度末で約 40 万人の参加者があり、本年度も 48 箇所の自治体に職員を派遣することで、全国の児童健全育成事業の普及、発展に努めてきた。

しかし、平成 26 年度末の【子どもの城】閉館に伴い、こうした全国への支援事業も途絶えることになる。そこで、〈動く子どもの城〉などで紹介したプログラムをはじめ、今までに開発してきたさまざまなプログラムをデータ化し、インターネット上で公開する準備を進めた。あわせて、ボランティア育成マニュアル、中高生世代の支援に関するマニュアル、保育事業に関するマニュアルなども同様に準備を進めている。【子どもの城】閉館後も、今までの実績を生かし、全国の児童館への支援を継続させることは重要な使命だと考えている。



〈動く子どもの城〉パペットランド（岐阜県）

■■■ 広報事業 ■■■

【子どもの城】の理念、活動内容をより多く人に理解、認識してもらうことを目的にメディア各種を利用して広報活動に取り組んだ。経費もマンパワーも削減されるなか、【子どもの城】の実施する 26 事業についてプレスリリースを作成、約 1 万件の告知を行い、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど計 178 件の取材に対応した。

また、インターネットを利用した情報サイト閲覧者の伸びに対応するため、情報サイトへのイベント入力、【子どもの城】ホームページの更新、Facebook、Twitter をとおした発信も継続した。また、スマートフォンの保有率が 50% を超える状況となり、加えてスマートフォンに対応しない

サイトの離脱率が 45% にのぼるため、スマートフォン変換サービスを 3 月から導入し、ホームページをスマートフォン対応とした。

次年度の講座受講生の入会促進広報活動として、①案内ちらし 5 万部を作成配布、②港・渋谷・目黒在住者の 25 ~ 39 歳をターゲットに Facebook のニュースフィード・スタンダード広告を出稿、③「カフェ・キャッスル」の協力を得て「新規入会者紹介キャンペーン」を行った。[子どもの城] 最終年度でもあり、講座継続者、新規入会者の充足については危惧していたが、利用者との理解と共に広告効果もあり、90% を超える充足率となった。

Facebook 広告クリックからの [子どもの城] サイトへの誘導数も高い確率をしめした。紙媒体、折込などの従来型の広く浅い広告出稿より、インターネットを活用しターゲットを絞り込んだ広告が、より高いコストパフォーマンスを示すことが実証されたといえよう。

館内広報については、ニーズの高い月間カレンダーを合計約 3 万部、特別期間のちらしを日本語英語あわせて約 20 万部、さらに、年度末にはリーフレットの更新を行い、最終版として 6 万部を作成した。

地域との連携を図る広報活動として、地域各エリアのネットワーク強化と集客を目的に以下の事業を実施した。①渋谷・恵比寿・原宿地区 21 施設の「あらかるちゃー渋谷恵比寿原宿」の事務局メンバーとして参画、月 1 回の情報交換定例会、「渋谷区民まつり（11 月）」、「大使館対象の施設紹介（3 月）」に参加した。②赤坂・青山地域 20 施設のネットワーク「赤坂・青山共育情報局」に参画、「赤坂・青山共育フェスティバル（11 月）」に遊びのお店を出店した。③「表参道キッズわくわくプロジェクト」を表参道ヒルズと共同で実施し、10 月に音楽ロビーでハロウイーンイベントを開催した。

■ ■ ■ 新たな児童館運営への取り組み ■ ■ ■

[子どもの城] が開館以来開発してきたプログラムや、安全、安心な施設運営を行うためのノウハウ、質の高い専門職の育成方法やそのカリキュラム、またボランティアなど市民を巻き込んだ児童健全育成事業の考え方やその手法などが、児童育成協会の財産として蓄積されている。そこで本年度は、この蓄積された財産を、今後の児童健全育成事業の普及・発展のために活用することを目的に、指定管理者制度による児童館の運営受託に向け取組んだ。

その結果、平成 26 年 4 月から埼玉県草加市冰川児童センター、9 月からは東京都港区立麻布子ども中高生プラザの運営を受託した。また、今後も児童育成協会がより安定的な児童館運営を行えるように、次年度に都内もしくは近郊において、指定管理による児童館の運営受託を目指して準備を進めた。

■ ■ ■ 劇場事業 ■ ■ ■

児童健全育成事業の劇場としての意義を深めるために策定した「自主・提携公演の実施方針」に則り、子ども文化はもとより劇場文化のすぐれた発信場所としての地位を保つよう努力した。

自主・共催公演として、青山劇場で 1 公演、青山円形劇場で 9 公演、提携公演として、青山円形劇場で 9 公演を実施した。このうち「高円宮殿下記念ローザンヌ・ガラ 2013」と「TOKYO DANCE TODAY #8」は、文化庁のトップレベルの舞台芸術創造事業に、「DANCE-X13」は、日本芸術文化振興会の現代舞台芸術創造普及活動に選ばれた。

また、劇場公演の他に、若手舞台芸術家の育成を図るためのセミナー「APAS」(Aoyama Performing Arts Seminar) を 2 件実施した。

[子どもの城] 施設全体の維持のための経済的な側面にも意識した事業運営を目指した。劇場貸与については、両劇場の特性をアピールし可能な限り外部への貸し出しを行い、青山劇場が 23 件、青山円形劇場が 24 件であった。

□□□ 公益財団法人 児童育成協会の経営理念と運営方針 □□□

■■■ 経営理念 ■■■

公益財団法人児童育成協会は児童福祉法の理念に基づき、児童の健全な育成および資質の向上ならびに文化および芸術の振興に寄与することを目的に下記の経営理念を掲げ、事業を運営する。

- 「子どもは歴史の希望である」という基本理念に基づき、子どもたちの最善の利益をめざした活動を行う。
- 全国の児童館をはじめとした児童健全育成事業の普及および発展に努める。
- 児童健全育成に関する施設の運営をとおして、直接的な児童、保護者への遊びを通じた育ちの支援を行うとともに、そこで開発されたプログラムの発信、普及を行う。
- 児童健全育成に従事する専門職、ボランティア等への研修をはじめとした人材育成を行う。
- 児童福祉施設における給食の充実のための事業を行う。

■■■ 運営方針 ■■■

【協会本部の運営方針】

- 協会本部組織の安定的、永続的な運営のために以下の方針を定める。
- 公益財団法人として社会的信頼性のある組織であるために、その運営体制、財務状況を常に把握し、組織の健全な運営をめざす。
- 職員1人1人が安心かつ意欲的、積極的に業務を行えるよう労務環境づくりを行い、また職員研修を積極的に行い、資質の高い職員の育成、確保に努める。
- 公益財団法人として公益性を發揮するためには、健全な経営の確保が不可欠であり、公益に資する事業活動を通じて収益を確保し、あわせて経費の削減に努める。

【事業の運営方針】

- 「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない」という児童福祉法の理念に沿い、公平性、平等性に配慮した事業運営をめざす。また、不登校、虐待、発達障害など今日的福祉課題に正面から向き合い、配慮が必要な子どもたちに充分に対応できるような運営を行う。
- 障害の有無にかかわらず、子どもが自分らしく生活・活動できるよう地域の協力を得て、共生の社会をめざす。
- 子どもが自由に遊べ、自由に表現でき、自由に意見表明できる、子どもたちの居場所となるよう努めるとともに、子どもたちが施設の活動に参画できるようにする。
- 地域との連携を深め、地域ニーズの発掘を行い、地域と共に育つ、児童健全育成事業の拠点となる施設運営をめざす。
- 子どもたちがのびのびと自由に遊べる安心・安全な施設として、事故の予防や、事故への適切な対応が行える危機管理体制を整える。
- 災害時においても、安心安全な施設運営を可能にするため、地域と連携した防災対策に取り組む。
- 利用者からの要望やクレームは、施設への期待の表れとして真摯に受け止め、ただちに改善策を取りまとめる。また、こうした指摘がスムーズに職員に届くよう、日頃からの利用者との関係づくりに取り組むとともに、そのシステムづくりを行う。
- 子どもたちの未来のために、環境保全と調和のとれた活動によって社会に貢献する。廃棄物の減量と適性な処置、来館者に対するエコロジーにかんする啓発事業、子どもたちへの環境教育を積極的に取り入れる。
- ホスピタリティあふれる対応を心掛け、いつでも子どもたちや保護者の方や地域の方々が安心して来館できるように、笑顔があふれる児童館をめざす。

（平成 24 年 10 月 1 日改訂）

□□□ 開館時間・入館料（子ども活動エリア）□□□

■■■ 平常期間 ■■■

【子どもの城】の「子ども活動エリア」の開館時間は以下のとおりである。

平日 12 時 30 分～17 時 30 分

土・日曜日、祝日 10 時 00 分～17 時 30 分

月曜日 休館（祝日・振替休日にあたるときは開館。翌火曜日が休館）

■■■ 特別期間 ■■■

学校の季節休み（夏休み、冬休み、春休み）、児童福祉週間（ゴールデンウィーク）、11月1日の開館記念日を中心とするファミリーフェア（開館記念月間）を特別期間とし、多数の来館児・者が楽しめるようなプログラム作りと施設利用の工夫をした。

なお、5月5日「子どもの日」と、【子どもの城】開館を記念した11月3日「文化の日」は“子ども”的”の入館料を無料とした。開館時間は、特記した日を除き、10時～17時30分。

■児童福祉週間（ゴールデンウィーク）特別期間■ 4月27日～5月6日

（4月30日は休館、5月1・2日は12時30分開館）

■夏休み特別期間■ 7月20日～9月1日（7月22・29日、8月5・26日は休館）

■ファミリーフェア（開館記念月間）■ 11月1日～11月30日（月曜日休館、開館時間は平常期間と同じ）

■冬休み特別期間■ 12月21日～平成26年1月7日（12月29日～1月3日は休館）

■春休み特別期間■ 3月21日～4月6日（3月24・31日は休館）

■■■ 入館料 ■■■

【入館料】

子ども（18歳未満）400円（3歳未満は無料）

大人（18歳以上）500円

※回数券 子ども（6枚つづり）2,000円／大人（6枚つづり）2,500円

※団体（20人以上） 子ども 320円／大人 400円

※5月5日「子どもの日」と、【子どもの城】開館を記念した11月3日「文化の日」は“子ども”的”の入館料は無料

【優待バス】

平日ゆうゆうバス（1年間有効）大人	3,000円
-------------------	--------

わくわくバス（夏休み期間限定）大人	1,800円
-------------------	--------

ドキドキバス（夏休み期間限定）子ども	1,500円
--------------------	--------

小・中学生土曜日バス（1年間有効）小・中学生	2,500円
------------------------	--------

□□□ 施設・組織機構など □□□

■■■ 【子どもの城】の施設概要 ■■■

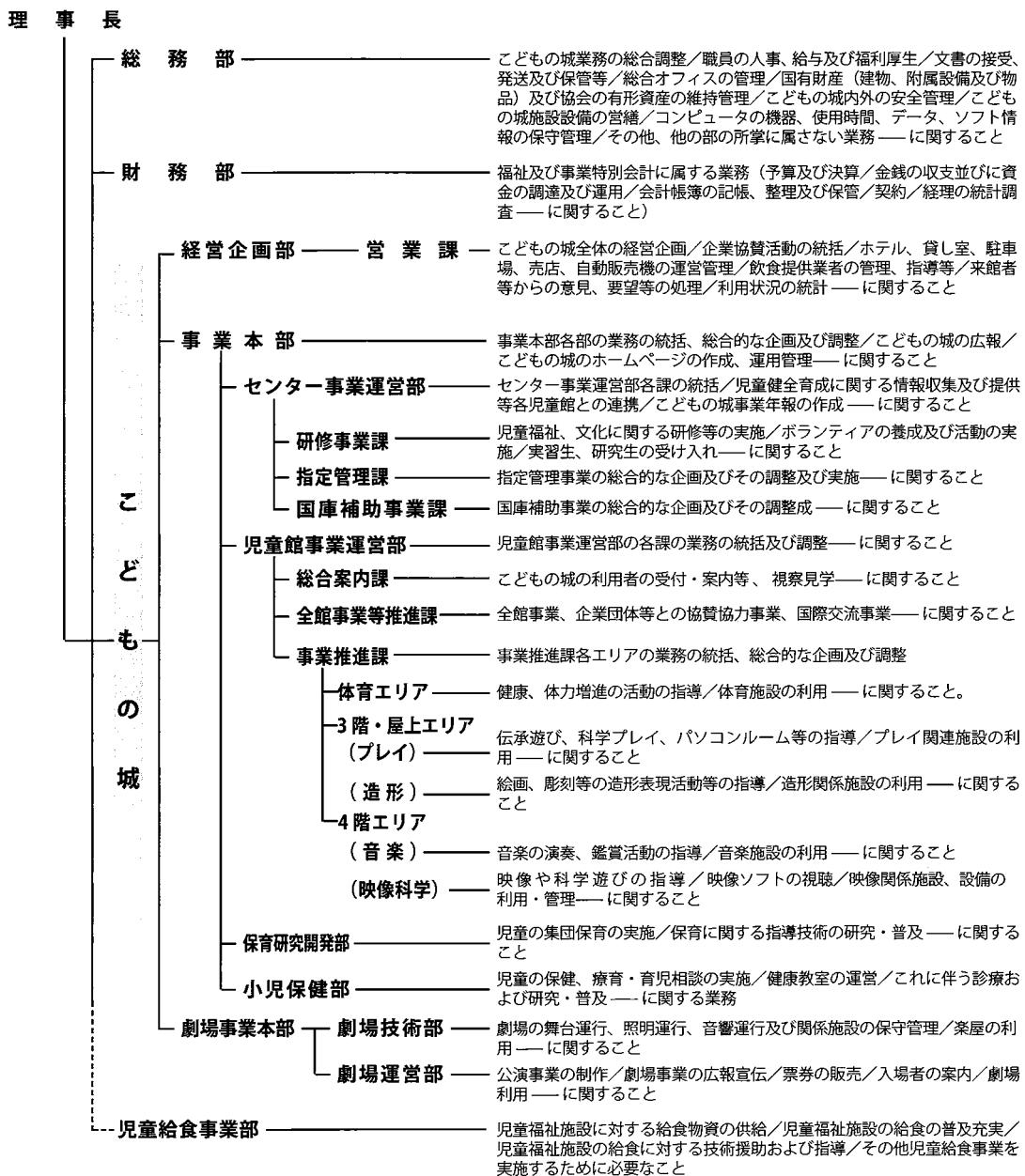
		オフィス	13 F 12 F 11 F 10 F	
		研修室	9 F 8 F	
		ホテル	7 F 6 F	
5 F	屋上遊園	小児保健クリニック 保育室	5 F	ふしきが丘
4 F	ビデオライブラリー	音楽ロビー A・Bスタジオ	4 F	
3 F	造形スタジオ 青山円形劇場	プレイホール パソコンルーム	3 F	
2 F	ギャラリー	屋外通路	ファミリーラウンジ	2 F
1 F	アトリウム		エントランスホール レストラン	1 F
B 1	プール観覧室		フリーホール	B 1
B 2	体育室／プール／健康開発室			B 2
		駐車場		B 3 B 4

建築概要

所在地	東京都渋谷区神宮前 5-53-1	最高高さ	G L + 57.6 メートル
建築主	厚生労働省（当時：厚生省）	基礎下端	G L - 28.5 メートル
敷地面積	9,923 平方メートル	主要構造	高層部 鉄骨造り 低層部 鉄骨鉄筋コンクリート造り 地下 鉄筋コンクリート造り
建築面積	6,001 平方メートル	着工	昭和 56 年 11 月
延床面積	41,699 平方メートル	完成	昭和 60 年 9 月（11 月 1 日開館）
建ぺい率	60.48%		
容積率	345.38%		
階数	地下 4 階・地上 13 階・塔屋 1 階		

※【子どもの城】は 1979 年（昭和 54 年）の国際児童年を記念して、厚生省（当時）が計画・建設した児童の健全育成のための総合施設。運営は、厚生労働省の委託を受けて、公益財団法人 児童育成協会があたっている。

■ ■ ■ [こどもの城] 組織機構図 ■ ■ ■



部	職員数	一般	嘱託	計	部	職員数	一般	嘱託	計	部	職員数	一般	嘱託	計
総務	4	1		5	指定管理	2	0		2	保育研究開発	5	0		5
財務	3	0		3	国庫補助事業課	2	0		2	小児保健	3	0		3
経営企画	8	0		8	児童館事業運営	1	0		1	劇場事業本部	1	0		1
事業本部	2	0		2	総合案内課	4	0		4	劇場技術	6	0		6
センター事業運営	1	0		1	全館事業等推進課	1	0		1	劇場運営	6	0		6
研修事業課	2	0		2	事業推進課	15	0		15	合計	66	1		67

※事業推進課の内訳（課長 1、体育 4、プレイ 4、造形 2、音楽 2、映像科学 2）

■ ■ ■ 公益財団法人児童育成協会役員（平成 26 年 3 月 31 日現在）■ ■ ■

役職	氏名	役職	氏名
理事長	藤田 興彦	理事	山口規容子
理事	荒川 春	監事	秋山 昭八
理事	鈴木 一光	監事	藤間 秋男

□□□ こどもの城の付帯事業 (平成 26 年 3 月 31 日現在) □□□

業種	店名等	場所	利用客席数	営業日・営業時間	備考
宿泊施設	子どもの城 ホテル	6・7階	客室数 27 客室定員 68	無休 (12月28日～1月2日を除く)	洋室 24 室（シングル 3、A ツイン 10、B ツイン 11）／和室 3 室（5人用 1、6人用 1、12人用 1）※ 1 泊 7,455 円～
貸し室	研修室	8・9・10階	研修室 11 ※ 400 人位まで可	無休 (12月28日～1月2日を除く) 営業時間 = 9:00～21:00	研修および会議など ※ 1 単位時間 13,335 円～
	ギャラリー	1階 アトリウム		無休 (12月28日～1月2日を除く) 営業時間 = 10:00～17:30	各種展示会など ※ 1 日 31,500 円
物品販売	アイタイム・キッズ	1階 アトリウム	1か所	営業時間 = 「こども活動エリア」開館日の平日、土日祝共 12:30～17:30	世界各国のおもちゃ、知育玩具など
	自動販売機	館内各所	飲食販売 40 カプセルトイ 2	無休	ドリンク類、牛乳類、スナック類など
公衆電話		館内各所	1か所 2台	無休	
駐車場		屋内(地下2階～地下4階)、屋外(1階)	約 126 台 (業務車両分含む)	無休 (12月28日～1月2日を除く) 営業時間 = 8:00～22:00	普通車両は地下駐車場、バスなど大型車両は屋外(1階)に駐車 ※ 普通車両 30 分 300 円 マイクロ車 1 時間 840 円 大型車 1 時間 1,260 円
飲食関係	カフェキャッスル	1階	100	こどもの城開館日、劇場公演日に合わせて営業 11:00～20:00	親子カフェ
	劇場内「スナック」	青山劇場内 地下および 2階ロビー	立食	公演に合わせて営業 営業時間 = 開演前・幕間	喫茶、軽食

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 来館児・者数 □□□

月	一般来館児・者		劇場			その他	計
	有料	総数	青山劇場	青山円形劇場	小計		
4月	大人 子ども 団体 受講生など	(人) 9,118 7,549 307 9,365	(人) 26,339 推計 (30,904)	(人) 27,157	(人) 6,116	(人) 33,273 10,466	(人) 70,078 推計 (74,643)
5月	大人 子ども 団体 受講生など	9,670 4,924 444 9,421	24,459 推計 (29,299)	28,676	6,278	34,954 8,687	68,100 推計 (72,940)
6月	大人 子ども 団体 受講生など	8,688 5,224 418 8,554	22,884 推計 (27,234)	16,437	8,002	24,439 10,304	57,627 推計 (61,977)
7月	大人 子ども 団体 受講生など	11,644 8,025 831 5,897	26,397 推計 (32,226)	32,398	6,130	38,528 8,324	73,249 推計 (79,078)
8月	大人 子ども 団体 受講生など	19,588 17,044 1,314 4,548	42,494 推計 (52,297)	17,870	9,509	27,379 8,627	78,500 推計 (88,303)
9月	大人 子ども 団体 受講生など	9,334 5,559 511 6,833	22,237 推計 (26,908)	18,045	4,665	22,710 8,346	53,293 推計 (57,964)
10月	大人 子ども 団体 受講生など	9,095 5,309 833 7,532	22,769 推計 (27,323)	17,007	5,690	22,697 8,187	53,653 推計 (58,207)
11月	大人 子ども 団体 受講生など	9,500 4,889 836 7,909	23,134 推計 (27,892)	13,415	6,386	19,801 10,848	53,783 推計 (58,541)
12月	大人 子ども 団体 受講生など	8,143 5,474 558 4,794	18,969 推計 (23,047)	9,969	6,207	16,176 8,317	43,462 推計 (47,540)
平成26年 1月	大人 子ども 団体 受講生など	9,479 5,922 505 6,379	22,285 推計 (27,030)	40,036	7,407	47,443 6,834	76,562 推計 (81,307)
2月	大人 子ども 団体 受講生など	7,867 4,254 1,055 7,442	20,618 推計 (24,557)	19,910	3,660	23,570 8,683	52,871 推計 (56,810)
3月	大人 子ども 団体 受講生など	11,793 8,363 1,736 8,018	29,910 推計 (35,813)	5,878	8,573	14,451 10,753	55,114 推計 (61,017)
計	大人 子ども 団体 受講生など	123,919 82,536 9,348 86,692	302,495 推計 (364,530)	246,798	78,623	325,421 108,376	736,292 推計 (798,327)

注)「一般来館児・者」の「推計」は3歳未満の推定来館児数含む／「受講生など」は、招待と講座・クラブ受講生の合算／「その他」は、宿泊施設・研修室等利用者

□□□ 貸切団体利用状況 □□□

		保育所	幼稚園	小学校	中・高校	特別支援学校	特別支援学級	児童福祉施設	自主保育グループ	計
件 数		4	14			1	1	1	4	(件) 25
月別内訳	4月									
	5月	1	1							2
	6月						1			1
	7月								1	1
	8月									
	9月		1							1
	10月		3			1				4
	11月	1	2							3
	12月									
	平成 26 年 1 月		1							1
地域別内訳	2月		4					1	1	6
	3月	2	2						2	6
児童数	東京都区	3	7				1		3	14
	東京都市		2							2
	他府県	1	5			1		1	1	9
児童数	延べ数	145	765			20	18	4	80	1,032

注)「児童福祉施設」は、保育所以外

□□□ 広報活動 □□□

名 称	日 時	内 容
ホームページの運用	通年	催し物情報の提供を中心に運営。日替りプログラム、季節プログラム、特別プログラム、遊び場の紹介、事前申し込み制で行う講座・講習会などの募集案内、保育などの情報をほぼ毎日更新。 このほか、公益財団法人児童育成協会、〈動くこどもの城〉など、計 4 サイトの更新と運営を行っている。
インターネットで行う広報	随時	ホームページの更新に加え、Facebook、Twitter を利用した広報活動として毎日記事と画像を掲載、情報の発信に努めた。
特別期間のちらしの作成	特別期間開始日の 1か月前	以下の催し案内ちらし・ポスターなどを、合わせて 500,000 部を作成した。 季節イベントのちらしは以下のとおり。 ○児童福祉週間(ゴールデンウイーク) 特別期間ちらし (A4 判／4 色×2 色／28,500 部) ○夏休み特別期間ちらし (B4 判 2 つ折り／4 色×1 色／57,000 部) ○冬休み特別期間ちらし (A4 判／1 色×1 色／30,000 部) ○春休み特別期間ちらし (A4 判／4 色×2 色／28,000 部) ※英語版 (1 色／簡易印刷) もあわせて作成した。
平成 26 年度 講座・クラブ一覧	H26.1 月	26 年度の講座・クラブ受講生の募集にあわせて、例年同様に一覧を作成した。 B4 判 2 ページ (4 色)、50,000 部印刷。
館内リーフレットの作成	H26.3 月	館内案内リーフレットを改訂して 60,000 部印刷。
その他のちらしの作成	通年	講座・クラブの募集ちらし (2 期、3 期、夏休み短期講座)、月間カレンダーを年間延べ 150,000 部作成した。

名 称	日 時	内 容
広告		毎日小学生新聞への記事広告掲載のほか、26 年度講座募集告知をインターネットを利用して実施した。その他の新聞広告などは、経費削減のため出稿を取りやめた。
催し物案内ほか	通年	毎日小学生新聞に記事広告を特約掲載。広告枠で記事広告を出稿した。
平成 26 年度 講座広告	H26.1～2	講座募集広告を Facebook を通して出稿。近畿の 20-30 代をターゲットに出稿、こどもの城ウェブサイトへの誘導を行った。
その他の広告		
ウェブ	通年	以下のサイトに定期的に情報を入力し配信機能を使って広報活動を行った。 毎日新聞の情報紙ウェブ版「エリア毎日」／Event Bank (株)イベントバンク) ／るるぶ.com その他不定期に情報掲載されるサイトへも基本情報などを入力した。
読者プレゼント・ 割引クーポン	随時	ファミリー向けの雑誌に割引クーポン、招待券プレゼントなどで協力し、適宜記事を掲出した。 「るるぶこどもとあそぼ！首都圏版」(JTB パブリッシング)／「るるぶこどもとあそぼ！夏休み」(JTB パブリッシング)／「まっふる 家族でおでかけ 夏号」(昭文社)／「まっふる 家族でおでかけ 秋号」(昭文社)／「春びあ首都圏版」(ひあ)／京王電鉄「子育てファミリーマップ」
取材関係	通年	取材の申し込みを受け、その後記事として掲載されたり放送されたものは以下のとおり（カッコ内は前年度の数）。 新聞 39 (43)、テレビ・ラジオ 15 (30)、雑誌 61 (52)、その他 63 (87) で、全体では 178 (212)。取材を受けたところには、その後、毎月定期的にプレスリリースを送っている。さらに、取材対応とは別に、26 事業について約 10,000 件のニュースリリースを郵送、メール、ファックスで送った。
あ・ら・かるちゃー 渋谷・恵比寿・原宿	〃	渋谷・恵比寿・原宿周辺の文化施設が集まり、交流・情報交換を行うと同時に、協力して PR 活動などを行う。NHK スタジオパーク、渋谷公会堂、たばこと塩の博物館、トーキョーワンダーサイト渋谷、Bunkamura、鏡世能楽堂、戸栗美術館、ギャラリー TOM、渋谷区立松濤美術館、太田記念美術館、地球環境パートナーシッププラザ、国連大学ギャラリー、セルリアンタワー能楽堂、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、渋谷区ふれあい植物センター、東京都立中央図書館、エビスピール記念館、山種美術館、東京都オリンピックセンター、東京都写真美術館、こどもの城の 21 施設が参加。本年度は事務局の一員として会の運営に主体的にかかわった。 「渋谷区民まつり ふるさと渋谷フェスティバル」(11 月)に参加して「あ・ら・かるちゃー」を PR した。さらに、大使館広報官対象のプレス発表・施設巡りを 11 月に開催。知名度アップを目的に参加館を巡るスタンプラリーを時間をとおして実施した。
青山・赤坂 ともいく 共育情報局	〃	赤坂・青山地区の子どもを対象とする施設・団体が集まり、交流・情報交換を行い、子ども向け事業の情報提供を行った。赤坂小学校、青山小学校、青南小学校、赤坂中学校、青山中学校、青少年対策赤坂地区委員会、青少年青少年対策青山地区委員会、青山児童館、赤坂子ども中高生プラザ「なんで～も」、赤坂図書館、NPO 法人 檜町公園遊びを考える会、サントリー美術館、21-21 DESIGN SIGHT、フジフィルムスクエア、先端技術館@TEPIA、すみっこ文庫、青山ライオンキッズクラブ、港 SC、みなとスポーツ吹矢会、こどもの城の 20 施設・団体が参加している。定期的な情報交換を行うほか、「共育まつり」(11 月 / 檜町公園) に LIT があそびのコーナーを出店した。

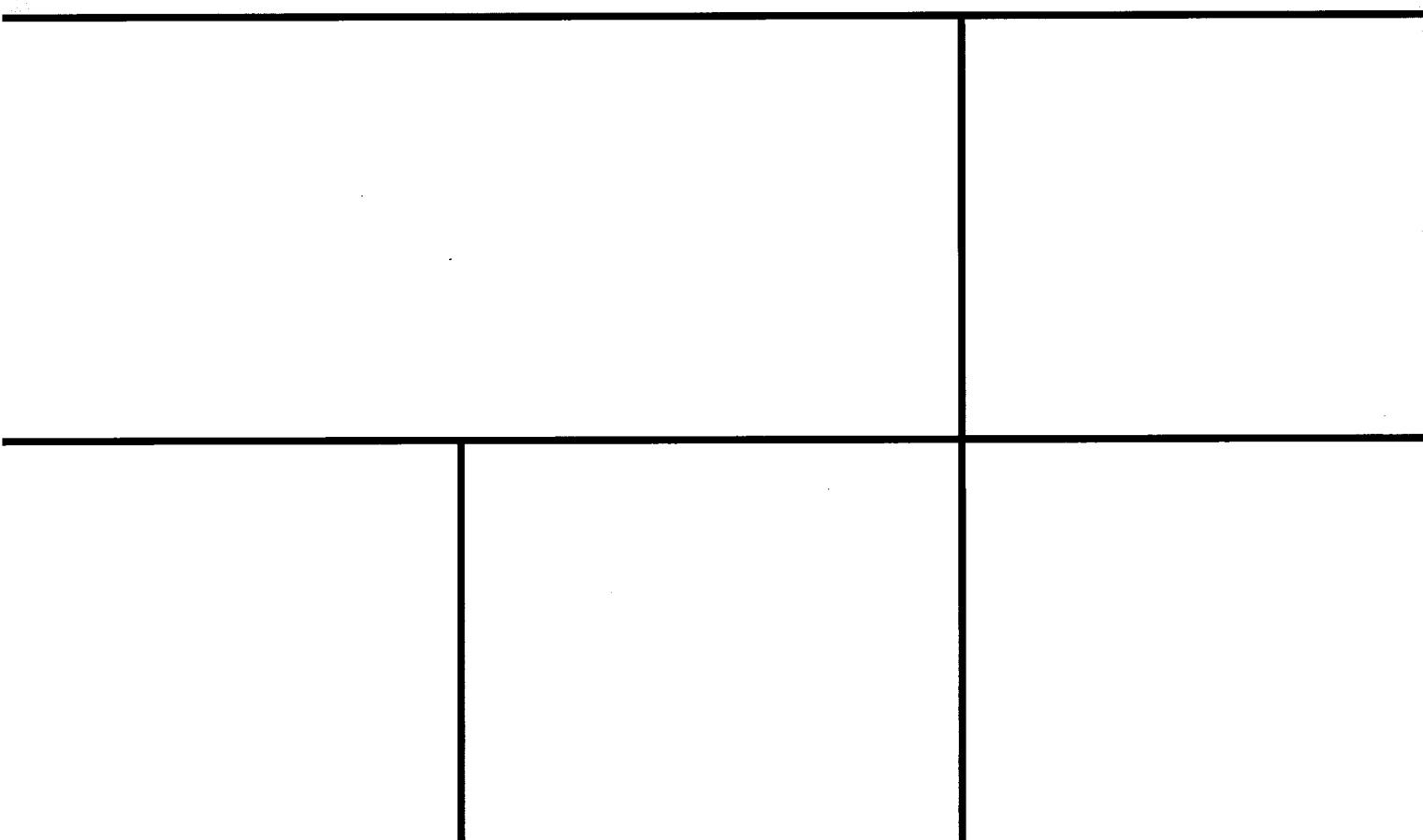
□□□ 観察・見学実績 □□□

年 度	都道府県・市区町村の本庁その他の行政部局、公共団体	児童館、保育所、幼稚園、学校、施設、サークルなどの団体	海外からの観察・見学	そ の 他	計
昭和 60 年度	(100)	1,122	(100)	1,578	(22) 169 (18) 410 (240) 3,279
61 年度	(121)	714	(192)	4,085	(52) 359 (31) 513 (396) 5,671
62 年度	(107)	439	(123)	2,437	(36) 347 (20) 477 (286) 3,700
63 年度	(91)	598	(69)	770	(30) 211 (32) 296 (222) 1,875
平成元年度	(72)	541	(71)	931	(10) 86 (25) 195 (178) 1,753
2 年度	(65)	605	(27)	292	(8) 156 (17) 212 (117) 1,265
3 年度	(63)	417	(47)	705	(11) 77 (6) 274 (127) 1,473
4 年度	(78)	585	(62)	1,038	(9) 122 (6) 35 (155) 1,780
5 年度	(69)	698	(75)	1,182	(14) 119 (9) 41 (167) 2,040
6 年度	(96)	782	(73)	1,251	(13) 144 (13) 116 (195) 2,293
7 年度	(136)	956	(101)	1,542	(19) 273 (16) 94 (272) 2,865
8 年度	(63)	402	(188)	1,691	(19) 139 (8) 48 (278) 2,280
9 年度	(89)	723	(134)	1,335	(14) 229 (24) 43 (261) 2,330
10 年度	(63)	474	(150)	1,470	(26) 204 (24) 145 (263) 2,293
11 年度	(83)	863	(171)	975	(18) 177 (17) 68 (289) 2,083
12 年度	(85)	616	(154)	596	(14) 128 (27) 37 (280) 1,377
13 年度	(29)	254	(216)	1,029	(15) 109 (26) 68 (286) 1,460
14 年度	(13)	40	(189)	1,212	(16) 211 (8) 38 (226) 1,501
15 年度	(8)	14	(152)	965	(19) 149 (8) 14 (187) 1,142
16 年度	(5)	53	(156)	1,084	(14) 135 (6) 13 (181) 1,285
17 年度	(5)	41	(198)	924	(15) 300 (13) 35 (231) 1,300
18 年度	(3)	31	(184)	1,267	(15) 229 (2) 7 (204) 1,534
19 年度	(1)	2	(175)	903	(19) 192 (6) 21 (201) 1,118
20 年度	(11)	29	(145)	604	(17) 136 (2) 29 (175) 798
21 年度	(12)	32	(121)	441	(17) 210 (3) 43 (153) 726
22 年度	(9)	33	(123)	652	(11) 145 (6) 42 (149) 872
23 年度	(37)	271	(79)	190	(9) 92 (1) 1 (126) 554
24 年度	(6)	21	(90)	917	(8) 135 (0) 0 (104) 1,073
25 年度	(13)	45	(96)	633	(10) 89 (9) 23 (128) 790
平成 25 年度 月別	4 月	(3)	16	(1) 3 (1) 34 (0) 0 (5) 53	
	5 月	(0)	0	(15) 43 (0) 0 (0) 0 (15) 43	
	6 月	(1)	2	(5) 22 (1) 26 (0) 0 (7) 50	
	7 月	(1)	2	(8) 85 (1) 3 (1) 1 (11) 91	
	8 月	(1)	2	(9) 133 (0) 0 (0) 0 (10) 135	
	9 月	(1)	1	(10) 40 (2) 9 (2) 3 (15) 53	
	10 月	(2)	6	(11) 113 (0) 0 (2) 8 (15) 127	
	11 月	(1)	9	(11) 39 (1) 2 (0) 0 (13) 50	
	12 月	(0)	0	(10) 62 (1) 2 (1) 3 (12) 67	
	H26 1 月	(2)	3	(4) 11 (0) 0 (0) 0 (6) 14	
	2 月	(1)	4	(5) 57 (2) 9 (1) 2 (9) 72	
	3 月	(0)	0	(7) 25 (1) 4 (2) 6 (10) 35	
合 計		(13)	45	(96) 633 (10) 89 (9) 23 (128) 790	
累 計		(1,533)	11,401	(3,661) 32,699 (500) 5,072 (383) 3,388 (6,077) 52,510	

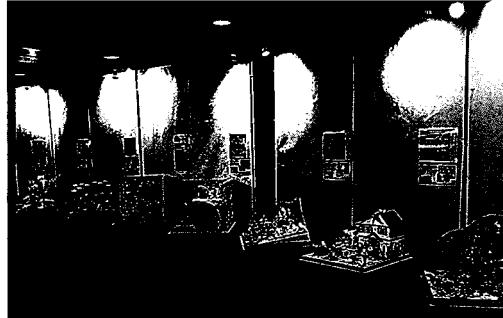
注) () 内は、団体数。
「その他」は、中央官庁、中央団体、会社など。

2

子どもの城から全国へ



子どもの城から 全玉



全国児童館おりがみ作品展（東京都こどもの城）



〈動く子どもの城〉造形ワークショップ（愛知県）



〈動く子どもの城〉レクリエーションゲーム大会の演出プラン（茨城県）

平成 25 年度の活動

〔子どもの城〕は国立の総合児童センターとして、子どもたちに遊びの環境を提供するだけでなく、全国の児童館などの健全育成事業に携わる関係者とさまざまな情報を交換し、交流を図ってきた。さらに体育、造形、音楽、映像などの分野で、専門スタッフが先駆的・実験的なプログラム開発を行うとともに、その成果を公開して多くの人の検証を受け、児童の健全育成の向上に寄与してきた。

本年度も国庫補助金による事業として地域の健全育成事業支援のため「児童館巡回支援活動等事業」〈動く子どもの城〉を実施。全国各地の児童館・児童センターなどと交流を深めながら、〈あそび〉のプログラムや子育てを応援するプログラムのノウハウを紹介し、地域活動の活性化を図った。

本年度は、「子どもとその家族を対象とした活動」を 18 か所で実施し、参加者が 1,336 人、児童館などの指導スタッフ 431 人が参加した。また、「児童館・放課後児童クラブなどの職員・ボランティアを対象とした研修会」は 13 か所で実施し、573 人の児童館などの指導スタッフが参加した。このほか、「全国児童館おりがみ作品巡回展」では「私たちの自然」をテーマに折り紙作品を募集、23 館から力作が集まり、全国 17 か所で巡回展を開催。延べ 10,525 人が訪れ、子どもたちの作品を鑑賞した。

〈動く子どもの城〉は、児童館を中心とした児童健全育成施設を対象としているが、子育て支援も視野に入れ、放課後児童クラブ、子育て支援センター、保育所などさまざまな施設から参加できるように働きかけ、地域全体の活性化をはかるように努めた。さらに国が推進する両立支援施策に対応して、「放課後児童クラブボランティア養成講座」を 24 か所（828 人参加）で、「保育所ボランティア養成講座」を 23 か所（633 人参加）で実施した。また、全国の自治体や団体からの要請を受けて行なう講師派遣にも積極的に取組んだ。本年度 121 件（平成 24 年度 158 件）となった。

テキストや DVD など、教材の充実にも努めた。本年度は、〈子どもの城〉の活動の実践をもとにした遊びのプログラム集「児童館の活動に活用できる遊びのプログラム 3」と DVD「子どもの城活動事例集 8 視覚玩具でアニメーションづくり ソーマトロープと驚き盤」を作成した。さらに、〔子どもの城〕で実践した活動プログラムの事例集や記録などを閉館後も全国の児童健全育成施設で活用できるようにデジタル化し、保存・継承できるよう準備を進めた。

〈動く子どもの城〉が始まって 20 年近くが経過したが、実施プログラムは、常にアレンジを加え、現代の児童館運営にマッチしたものとしている。〔子どもの城〕から発信してきたことは、28 年を経ても、決して古いものではなく今後も必要とされるものと確信している。

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 〈動く子どもの城〉（派遣プログラム）ほか □□□

■■■ 〈動く子どもの城〉プログラム一覧 ■■■

名 称	内 容
■子どもとその家族を対象とした活動■	
乳幼児とその家族を対象とした子育て支援	お母さんと赤ちゃんのすくすくスキンシップ 音楽や楽しい遊具を使い、赤ちゃんの成長に合った体操でスキンシップ。赤ちゃんの豊かな表情や動きの再発見で、日ごとに成長していることを実感し、お母さんもリフレッシュ。
	親子のふれあい体操“1・2・3” 1・2歳または、2・3歳の幼児と親を対象とした運動プログラム。親子で楽しく体を動かしながらふれあい、子どもの成長を感じながら、コミュニケーションを楽しむ。
	親子いっしょにうきうき！おんがくあそび！ 音楽にあわせて体を動かしたり、親子で手遊び・歌遊びなど。子どもの成長に応じた「親子のふれあい」「家族では得難い集団での遊び」を紹介。
	親子で遊ぼう！パペットランド 身近にあるものを人形に見立てて遊ぶ、“親子のふれあい”プログラム。対象年齢別に、1歳6か月～3歳向けの「ふれあい遊び」と、3歳以上向けの「劇遊び」がある。
	ばかばか広場 乳幼児と親のための交流広場 “ふれあい広場”的実践を紹介。①「広場」での子育て学習会（小児保健部門ほか）②「広場」で遊ぼう（音楽・保育部門ほか）③身近なもので遊ぼう（プレイ部門ほか）
	身近な道具でスポーツあそび 身の回りにある道具（新聞紙・棒・ひもなど）を使い、人数や場所の広さに合わせ変えていく発展型プログラム。発想を変えることによって、さまざまな運動遊び、スポーツへと展開。
	「おにごっこ」で楽しい体力づくり 基本的な体力の低下が危ぶまれている現代。体力のなかでも「敏捷性」「バランス」を養うための陣取りゲームやおにごっこなどのスポーツ遊びを多彩に展開。
	アニメ・ワークショップ 2枚の簡単な絵を描いて作る「くるくるアニメ」、映画発明以前の動く絵を楽しむ「視覚がん具」の制作などをとおして映画、映像の仕組みを体験。「視覚がん具」などの展示も行う。
	写真ワークショップ 写真の“写る仕組み”を体験するプログラム。レンズを使わない紙の「ピンホールカメラ」を作るワークショップ。写真の仕組みや歴史を探る展示も。
	子どもの城映画劇場 子ども向けに作られた、国内外の芸術的な短編アニメーション作品の上映。基本的に、子どもの城フィルム・コレクション「武藤行雄記念文庫」の収蔵作品から数本を選んで上映。
幼児や学童を対象とした遊び	科学あそびにチャレンジ 音が作る不思議な世界を体験。糸電話の工作、録音した声を逆再生して正しく聞こえる“言葉”作り、音の波形（図形）を描いて音にするプログラムなど、幅広く紹介。
	みんなで遊ぼう！パペットランド 人形作りと人形遊び。紙コップや封筒など身近な素材で人形を作成。作った人形でお話をしたり、ごっこ遊びを繰り広げたりと、イメージの世界を楽しむ、人形遊びのプログラム。
	レクリエーションゲーム大会「忍者マスター決定戦」ほか ごっこ遊びの要素を取り入れて、レクリエーションゲームをよりおもしろく演出し楽しむ交流プログラム。忍者の世界や魔法使いなど、さまざまなストーリーを設定しゲームを展開。
	お父さんの少年時代 昭和 30～40 年代の〈遊び〉の展示。めんこ、べいごま、たこ、日光写真などの遊び道具の展示をきっかけにして、親子のコミュニケーションをはかり、昔遊びのエッセンスを体験。
	不思議な世界であそぼう「こども妖怪サミット」 全国の大怪を紹介する展示。事前に地元の大怪を調べて全国の大怪とあわせて展示。まち歩きをする“妖怪ラリー”も行う。協力：水木プロダクション。
展示と WS	造形ワークショップ展 [子どもの城] 造形スタジオのプログラムを、視覚的に分かりやすく、展示パネルの形式にまとめて展示。そのなかからいくつかのプログラムを子どもたちやその家族を対象に実施。
	児童館を拠点としたネットワークづくり さまざまな地域の事例に基づき、ネットワーク作りについて学ぶ【研修】。おもちゃの交換を中心とした“子どもの街”「とり+かえっこ」を通じたネットワーク作りの【実践】。

名 称	内 容
■児童館・放課後児童クラブなどの職員・ボランティアを対象とした研修会■	
0歳からの子育て支援研修	親子で遊べるあそびのメニュー 児童館や保育所、子育て支援センターなどで行う、子育て広場や子育てサークルなどの親子(幼児)対象の催しに活用できる遊びのメニューを紹介する研修会。
	乳幼児の食生活 乳幼児の離乳食、好き嫌い、肥満などの食生活について、基本的な考え方と、悩みや相談に対するアドバイスの仕方などを、管理栄養士が分かりやすく解説。
	乳幼児の健康管理と応急処置 乳幼児の成長をふまえ、日常的なのがの応急処置をはじめ、事故や感染症の予防など、生活に欠かせない健康管理などを看護師が解説。簡単な実技もある。
	乳幼児の発達と大人のかかわり 子どもの遊び、言葉、自己主張など、発達や親子関係が気になる場合のかかわり方などを、臨床心理士が解説。思春期の子どもの問題にも対応。
遊びの実技研修	不思議な映像実験室 驚き盤などの"視覚がん具"の制作をとおして〈映像〉が動いて見えるしくみ、〈映像〉の不思議、〈映像〉を作る楽しさ、おもしろさを体験。
	音楽表現活動の実際 乳幼児や学童にとって、五感に響く"音楽遊び"とは何か、また、児童館でできる"音楽表現"とは何かなどを、実践を紹介しながら体験する。
	造形ワークショップ 素材・発想・技法などで、さまざまなプログラムが生まれる。何種類かのプログラムを参加者と体験制作し、それが生まれる考え方や、発想法についても考える。
保育所ボランティア活動する人のために	放課後児童クラブボランティア養成講座 放課後児童クラブの事業、そこでのボランティア活動の可能性、対象児童の発達にかんする基礎的な知識などの概要を学ぶ。
	保育所ボランティア養成講座 保育所の事業、そこでのボランティア活動の可能性、対象児童の発達にかんする基礎的な知識などを学ぶ。受け入れ側を対象にしたコースもある。
	放課後児童クラブの職員等を対象とした研修会 放課後児童クラブの職員やボランティアなどを対象に子どもの発達や成長についての理解を深める研修会。「児童期の発達のかかわり方」「ワークショップ:遊びを通して子どもを理解する」「ケース検討会議の実践」から選択。
■全国児童館おりがみ作品巡回展■	
寄付	全国児童館おりがみ作品展 各地の児童館活動のなかで制作した折り紙作品の展示。全国の児童館に参加を募り、寄せられた23作品を「こどもの城」で展示。終了後、全国で巡回展を実施。

■ ■ ■ 〈動くこどもの城〉派遣実績一覧 ■ ■ ■

開催地	開 催 団 体	実 施 日 時	プロ グ ラ ム 名	研修	実 践	展 示	養 成
新潟市	NPO法人ヒューマン・エイド22	6月8日	親子で遊べるあそびのメニュー	●			●
島根県	飯南町立赤名保育所	6月28日	親子で遊べるあそびのメニュー	●	●		●
香川県	さぬきこどもの国	6月28日	ワークショップ:『遊び』を通して子どもを理解する	●			○
神奈川県	大鋸児童館(藤沢市)	7月13日	児童館を拠点としたネットワーク作り			●	○
東京都	世田谷区こども部児童課	8月2日	造形ワークショップ	●			○
茨城県	NPO法人キッズクラブ・のーびーのーび(つくば市)	9月6日	レクリエーションゲーム大会の演出プラン	●	●		○
茨城県	シダックス大新東ヒューマンサービス閣(神栖市)	9月6日	小児保健の基礎と実際~発達と大人の関わり方~	●		●○	
新潟市	NPO法人ワーカーズコープ新潟事業所	9月9日	親子いっしょに うきうき!おんがくあそび!	●	●	●○	
愛知県	一宮市社会福祉事業団	9月9日	造形ワークショップ	●		●○	
静岡県	静岡県児童館連絡協議会	9月20日	造形ワークショップ	●		●○	
愛知県	高浜市社会福祉協議会	9月27日	親子で遊べるあそびのメニュー	●	●		●
千葉県	船橋市児童育成課(西部ブロック)	10月2日	ワークショップ:『遊び』を通して子どもを理解する	●			○
岐阜県	岐阜県児童館連絡協議会	10月10日	みんなで遊ぼう!パペットランド	●		●○	
岩手県	宮古市社会福祉協議会	10月22日	お母さんと赤ちゃんのすくすくスキシップ	●	●		●
佐賀県	鳥栖市社会福祉協議会	10月22日	親子いっしょに うきうき!おんがくあそび!	●	●		●○
札幌市	さっぽろ青少年女性活動協会	10月29日	親子のふれあい体操"1・2・3"	●	●		●
大阪府	大阪狭山市教育委員会	10月29日	親子で遊べるあそびのメニュー	●	●		●

開催地	開 催 団 体	実 施 日 時	プロ グ ラ ム 名	研修	実 践	展 示	養 成
仙台市	仙台ひと・まち交流財団	11月2日	児童館を拠点としたネットワーク作り			●	○
埼玉県	(株)こどもの森（春日部市）	11月7日	親子いっしょに うきうき！おんがくあそび！	●	●	●○	
札幌市	さっぽろ青少年女性活動協会	11月12日	お母さんと赤ちゃんのすくすくスキニッシュ	●	●		●
岩手県	東日本大震災子ども支援センター岩手県事務所	11月13日	造形ワークショップ	●		●○	
東京都	北区立浮間児童館	11月18日	レクリエーションゲーム大会の演出プラン	●	●		○
仙台市	東日本大震災子ども支援センター岩手県事務所	11月19日	身近な道具でスポーツあそび	●		●○	
千葉県	船橋市児童育成課（中央ブロック）	11月19日	ワークショップ：『遊び』を通して子どもを理解する	●			○
山梨県	山梨県教育庁社会教育課	11月19日	身近な道具でスポーツあそび	●		●○	
福井県	福井市社会福祉協議会	11月21日	不思議な映像実験室	●		●○	
山口県	山口県児童センター	11月21日	造形ワークショップ	●		●○	
福岡県	岡垣町こども未来館	11月22日	ばかばか広場 乳幼児と親の交流広場	●	●	●○	
山形県	ふたば児童館（大石田町）	12月6・7日	造形ワークショップ	●	●	●○	
栃木県	宇都宮市民民間保育園園長会	平成26年1月14日	不思議な映像実験室	●		●○	
熊本県	熊本県児童館連絡協議会	2月14日	不思議な映像実験室	●		●○	
川崎市	幸子ども文化センター	平成25年4月1～5日	全国児童館おりがみ作品巡回展（4歳児用）			●	
福島県	福島市野田児童センター	4月13～20日	〃			●	
福岡県	宗像ユリックス（宗像市）	5月1～14日	〃			●	
鹿児島県	キッズランド児童館（南さつま市）	5月20日～28日	〃			●	
島根県	三成児童館（奥出雲町）	6月3日～7日	〃			●	
秋田県	すくすく学童クラブ（秋田市）	6月12～17日	〃			●	
愛知県	こども未来館（豊橋市）	6月17～27日	〃			●	
三重県	明照児童館（伊勢市）	7月6～9日	〃			●	
札幌市	さっぽろ青少年女性活動協会	12月7～12日	全国児童館おりがみ作品巡回展（5歳児用）			●	
千葉県	浦安市高洲児童センター	12月20日～平成26年1月5日	〃			●	
茨城県	北守谷児童センター（守谷市）	1月10日～16日	〃			●	
川崎市	幸子ども文化センター	1月21日～27日	〃			●	
愛媛県	今治市亀岡児童館	1月22～28日	〃			●	
兵庫県	姫路市立北児童センター	2月7～16日	〃			●	
愛媛県	今治市伯方児童館	2月23～3月1日	〃			●	
沖縄県	西原町西原・西原東・坂田児童館	3月8～14日	〃			●	
千葉県	香取市山田児童館	3月22～28日				●	

注)「養成」欄の「○」は「放課後児童クラブボランティア養成講座」を実施したところ。
 「●」は「保育所ボランティア養成講座」を実施したところ。



おりがみ作品展制作風景（沖縄県）



〈動くこどもの城〉身近な道具でスポーツ遊び（仙台市）

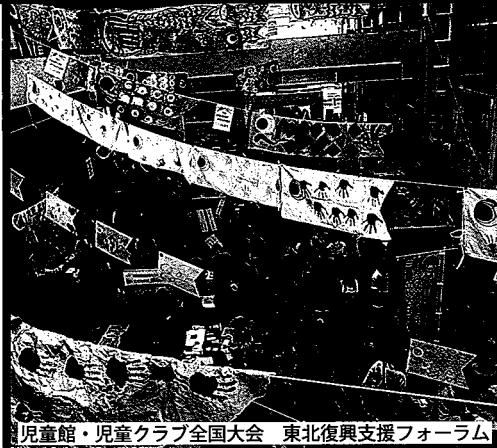
3

各部の事業

全館事業



中学生と赤ちゃん親子のふれあい事業



平成 25 年度の活動

全館事業部門では、〔子どもの城〕全体で行う事業や〔子どもの城〕の各部門が協同で実施する事業の企画・調整、また外部団体や企業との協力・連携事業、国際交流事業などを担当した。

乳幼児親子向けの支援プログラムの「0・1・2歳のぽかぽか広場」については、前年度末に開館日に毎日実施するなど内容をより充実させて新しくスタートしたが、乳幼児とその保護者がゆったりと活動できる場所として毎日50組程度の利用があり、利用者も定着し運営も順調に進んだ。これにより年間をとおして、充実した乳幼児親子向けの支援体制ができた。

「父親の子育て参画」も本年度も大切なテーマとして取り上げた。東京近隣の父親子育てサークルの協力を得て「お父さんのあそび市」を昨年に続き実施。“お父さん”が周りの子どもを巻き込んで遊ぶ姿に、多くの来館児・者が新鮮な刺激を受けたようだ。また、(株)博報堂こそだて家族研究所パパチームとの協力事業として実施した、家族で家づくりの工作を楽しむ「段ボール DIY アート」では、“父親の意欲的な子育て参加”を促す新しいプログラムの在り方を考えることができた。

本年度も関係機関や全国の児童館と連携をし、被災した子どもたちへの復興支援事業を実施した。こいのぼりを復興支援のシンボルとしてとらえ、全国の児童館などへ、こいのぼりの掲揚と関連プログラムの実施協力を呼びかける「児童館こいのぼりがいっぱい」プロジェクトは2年目となった。呼びかけに応じ全国から前年度を上回る387館の参加があり、実施後には参加各館からさまざまな活動の様子が報告され、夏休み特別期間に〔子どもの城〕で、また12月に福島県で開催された「児童館・児童クラブ全国大会」で、各地で作られたこいのぼりの展示や活動の紹介をした。

震災後の子どものための国の支援活動として結成された「東日本大震災中央子ども支援センター協議会」へ継続して参加し、「あそびを通じた子どもの支援」の部門において、情報収集や意見交換、他団体と連携した支援事業を実施した。また、震災で首都圏へ県外避難をしている子育て世帯への支援活動として、子どもへの遊び指導や研修会への指導者派遣、被災家庭向けの“遊びをとおした親子のスキンシップや体力作り”などの啓発冊子の作成のために、資料提供、執筆の協力を行った。

他の児童関連団体や企業とのさまざまな共催、協力事業を実施した。「全国児童館おりがみ作品展」や日本折紙協会の「おりがみカーニバル」の共同開催、また渋谷ユネスコ協会が開催する国際理解、国際平和を願う「ヒト展」、国際交流として、首都圏のインターナショナルスクールが行う「アートスケープ展」への実施協力など、さまざまな子どもに関する団体や企業と協力をして、児童の文化や福祉を促進するための活動を広く実施し、その意義を社会に向けて発信する機会とした。

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間（全館事業など） ■■■

名 称	日 時	内 容
0・1・2歳の ぽかぽか広場	通年 11:00～16:00	3ヶ月～2歳11ヶ月の乳幼児と保護者のための遊び場、居場所。さまざまなおもちゃを用意し、乳幼児親子がゆったりとすごせ、他の親子との交流ができる場となった。またスタッフが常駐し利用者に支援を行った。 (Aスタジオ、保育室2)
児童館こいのぼりがいっぱい！ こいのぼり掲揚式	4.14 11:30～12:00	東日本大震災の発生から2年が経過する中で復興支援事業として、【子どもの城】が全国に呼びかけ、児童館で遊ぶことで“ゲンキになろう”という趣旨のプロジェクト「児童館こいのぼりがいっぱい」のオープニングセレモニーとして実施。その開催を記念し、子どもの城児童合唱団・混声合唱団による歌を楽しみながら、掲揚式を行った。(ピロティ)
みんなでかぎろう クリスマス	12.1～25 開館時間中	クリスマスの雰囲気作りのため、館内各所に手作りのクリスマツリーを用意し、来館児・者の協力で、手でちぎったケント紙に模様をつけたり、絵を描いたり、サンタさんへの願いを書いて飾った。親子や兄弟、子どもたちの作品が館内の装飾になり、温かみのある雰囲気になった。 (館内各所)
サンタにとどけ！ うたおうクリスマス	12.14 ① 15:00 ② 17:00	クリスマスの雰囲気作りと【子どもの城】をアピールするため、子どもの城児童合唱団・混声合唱団によるクリスマスにちなんだ歌の合唱とハンドベルの演奏を楽しむミニコンサートを実施。 (ピロティ)
子供未来 とうきょうメッセ	H26.2.11	子どもや子育て、次世代育成を応援している企業や民間団体、自治体などが活動を紹介し合い、子育て情報の発信や連携を期待するイベントへ参加。一般的な乳幼児親子も多く参加するため、【子どもの城】の紹介だけでなく、「クラフト帽」作りの造形ワークショップも実施した。 主催：子育て応援とうきょう会議。 (東京国際フォーラム)
きいてみようみてみよう みんなのガムランコンサート in スプリング	3.23 ① 11:00 ② 14:00 ③ 15:30 ④ 17:00	インドネシア・ジャワ島の青銅の打楽器アンサンブル、ガムランのコンサート。【子どもの城】の内外で活動するガムラングループと元ガムラン講座の子どもたちがコラボレーション。ガムランを体験するコーナーも設けた。 (アトリウム)
小学校開校記念日招待 (渋谷区・港区)	通年	近隣の渋谷区・港区の区立小学校の児童に、地元の児童館としてもっと利用してほしいとの思いから、開校を記念して全校児童に招待券を配布した。

■■■ 特別期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈児童福祉週間〉 忘れない！みんなでゲンキに！ 児童館こいのぼりがいっぱい	4.11～5.31	屋上から正面広場を利用して、日本鯉のぼり協会から寄贈された100匹のこいのぼりを掲揚。被災地と全国の子どもたちに、“ゲンキになろう”とのメッセージを伝えた。全国378の児童館が参加。共催：(一財)児童健全育成推進財団／(社福)子どもの国協会／協力：日本鯉のぼり協会。(ピロティ)
〈 〃 〉 ふしぎの国のアリス ドキドキマジックショー	4.28 ① 12:30 ② 15:00	体育室を会場に、誰もが参加して楽しめる公開イベント。内容は、①みんなで歌おう！、②ドキドキマジックショー、③ゲンキげんきゲーム大会の3部構成。協力：小学館クリエーションリーダーズクラブ。 (体育室)
〈夏休み〉 児童館こいのぼりがいっぱい報告コーナー	7.20～9.1	児童館などの遊びを通じた復興支援事業「児童館こいのぼりがいっぱい」に参加した、全国378館の施設から寄せられた写真と文書による報告を展示了。参加館の子どもたちが作ったこいのぼりも借りて会場に飾り、華を添えた。 (ギャラリー)
〈 〃 〉 はたらく消防の写生 会渋谷区入選作品展	8.10～9.1 開館時間中	渋谷消防署管内の小学校で開催された、「はたらく消防の写生会」の入賞作品を展示、啓発活動用のポスターやちらし、消防車両などの写真パネルも展示。展示を通じて防災の啓発をした。 (エントランスホール)

名 称	日 時	内 容
〈ファミリーフェア〉 第 19 回 赤ちゃん大集合	10.30 10:30 ~ 15:30	3か月～2歳未満の乳幼児と保護者が対象。研修室の「赤ちゃんサロンスペシャル」会場で、「井戸端会議」「子育て相談」を行った。また、8階の育児用品関係の企業・団体による「情報・展示コーナー」を実施。活動エリアでも、「みんなのにこにこ広場」「ごろごろハイハイ／たっちたっちタッタッタッ／てくてくピョンピョン」「It's a ベビーワールド」「うたってバブリン／あそんでバブリン」「親子の ZOO っと広場」「なかよし映像広場」「紙のおふろ体験」などを実施した。参加者は 1,016 人（500 組）。全館事業として実施。入館券対応。 (研修室ほか)
〈 〃 〉 第 14 回全国児童館おりがみ作品展／第 20 回おりがみカーニバル	11.2 ~ 11.24 開館時間中	〈私たちの自然〉をテーマにした「第 14 回全国児童館おりがみ作品展」（立体 9、壁面 11、写真参加 3 の合計 23 作品）と、〈あゆみ〉をテーマにした日本折紙協会員の作品を展示する「おりがみカーニバル」を開催。折って遊ぶコーナーを土・日曜日、祝日に実施した。協力：日本折紙協会。（ギャラリー）
〈冬休み〉 こま名人来たる！ こまばふおーまんす	H26.1.4 ① 11:00 ② 13:00	“こまのたけちゃん”による、投げこまやディアボロのパフォーマンス。ボランティアとともに、こままわしなども指導。【こどもの城】の活動を多くの人に伝えた。（ピロティ）
〈 〃 〉 新春もちつき大会	1.5 13:00 ~ 15:00	お正月を祝って、来館児・者ともちつきを楽しむ集い。ついてくれた参加者（約 800 人）には、つきたてのお餅をふるまつた。（ピロティ）
〈 〃 〉 ひびけ！めでタイコ	1.7 ① 11:00 ② 13:00	新春を盛り上げる、和太鼓講座の小中学生によるミニコンサート。同講座指導者がかかわっている「助六太鼓」の子どもたちも加わり、にぎやかに演奏。【こどもの城】の活動を多くの人に伝えた。（ピロティ）
〈春休み〉 遊びの出前 移動式子ども基地	3.25・26 11:00 ~ 16:00	ビー玉遊びや革遊び、音遊びなどいろいろな遊び道具をのせた子ども基地のトラックが【こどもの城】ピロティに来て、たくさんの子どもたちに、楽しい遊びを提供した。協力：NPO 法人コドモ・ワカモノまち ing。（ピロティ）

名 称	日 時	内 容
〈共催・協賛・協力事業〉		
おもちゃ図書館 マックロー	通年 水曜日 12:30 ~ 15:00	障害のある子どもが気軽に利用できる遊び場「【こどもの城】おもちゃ図書館マックロー」。本年度も 4 人のボランティアを中心に運営された。「夏休みのお楽しみ会」や「クリスマス会」などの催しを行い、他のおもちゃ図書館との交流もはかった。（会議室）
交通安全イベント 出動式	4.6	春の交通安全運動のスタートイベントとして、交通安全をアピールする集い。白バイや騎馬隊も登場し、渋谷警察署長の訓示の後、交通安全パトロールの車両が一斉に出発した。主催：警視庁渋谷警察署。（ピロティ）
3.11 キッズフォト ジャーナル 2013 写真展	4.20 ~ 5.6	東日本大震災の被災地で暮らす小学生～高校生の子どもたちが自分自身の目で捉えた現実を、写真と文章で発信する子ども主体の活動。78 点の作品を展示了。【こどもの城】でも、「児童館こいのぼりがいっぱいプロジェクト」に連動する復興支援活動として実施した。主催：キッズフォトジャーナル実行委員会。（ギャラリー）
こままわし大会	5.12 10:30 ~ 16:00	こままわしの楽しさを知る体験だけではなく、専門的な技術としてのこまの技や遊び方を、たくさん的人に伝えることを目的に実施。共催：日本こままわし普及協会。（ピロティ）
ヒト展	6.2 ~ 9 開館時間中	12 回目を迎えた「ヒト展」。どんなことでも感謝し“ありがとう”的気持ちを持って生きることが大切と考え、今回は「ありがとう」をテーマとした。渋谷区とベトナム・カンボジア・インドなど海外の子どもたちの絵画や彫刻などを展示了。主催：渋谷ユネスコ協会。（ギャラリー）
みんなおいでよ！ 木曽の森へ	6.8・9 11:00 ~ 16:00	木曽地方の観光と物産の PR イベント。パネルによる木曽地方の紹介、子どもが参加できる木曽名産の木材を使った工作、物産の販売などを親子で楽しみながら木曽を知ることができた。主催：長野県木曽地方事務所、木曽発信プロジェクト実行委員会。（ピロティ）
東京オリンピック・ パラリンピック 招致への協力活動	6.15	オリンピック招致のための願いをつなぐ花と写真で飾るモニュメントを作るワークショップや、オリンピック招致にちなんだ紙芝居をピロティで行った。招致をアピールするのぼり旗や横断幕、ポスターを、9 月 15 日の招致決定まで掲示した。主催：NPO 法人東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会。（ピロティ）

名 称	日 時	内 容
がんばろう！東北の酪農キャンペーン	6.15	復興支援の活動として、被災地の様子を都会の人々に伝えることや震災の影響でダメージを受けた産業の振興などを目的に実施。東北の酪農の現状を伝え るパネル展示、牛乳やチーズなどの乳製品の試飲・試食や、牧草を使った遊びのコーナー、牛乳パックを使った帽子作りのコーナーも実施。主催：東北酪農青年婦人会議。(ピロティ)
平和・国際都市渋谷の日	10.1	10月1日は「平和・国際都市 渋谷の日」。区内施設の無料開放の依頼に協力。渋谷区内在住・在学の3~17歳の利用を無料とした。
とうきょうプレイデー	10.1 11:00~16:00	ロンドンで行われている子どもの遊びを街中で展開する「プレイデー」を参考に、東京のいろいろな所で遊びを提供しようという取り組みを、都内の様々なグループが協力し実施した。【子どもの城】もピロティを使用して、段ボール遊びやフラッグ作りなどの外遊びを行った。また関連事業として、「子どもと遊びを考えるフォーラム」を実施した。(子どもゆめ基金助成活動)(ピロティ、会議室)
ダンボールDIYアート	12.1 13:30~15:00	親子で協力して段ボールの家をつくる活動。家の壁ができ窓やドアを切り抜ければ、きれいに飾りが描かれた屋根がプレゼントされて完成。会場となったプレイホールには、段ボールの家の街ができ上がった。(㈱博報堂の子育てを楽しむプログラムを開発する部署と社員の父親チームが合同で実施したプログラム。共催:㈱博報堂こそだて家族研究所/パパチーム。(プレイホール)
とりかえっこ・おもちゃドック	12.7 11:30~16:00	ゴミの削減や資源のリサイクルをテーマとする学会の要請により、玩具のリユースを考える活動として「とりかえっこ」を実施した。学会のセミナーと並行して参加者に見学してもらった。また、おもちゃを修理する「おもちゃドック」の活動も行った。主催:廃棄物資源循環学会。(フリーホール)
中学生と赤ちゃん親子のふれあい事業	H26.2.20 (事前学習) 2.27・28、3.6・7	渋谷区立原宿外苑中学校の3年生が、【子どもの城】で赤ちゃん親子とのふれあい体験活動を実施した。中学校での事前学習として、人形を使ったおんぶひもやおむつ替え、新生児をだっこする体験や、赤ちゃん親子との交流も行った。実習として、希望者が【子どもの城】の「0・1・2歳のばかばか広場」へ参加し、赤ちゃん親子とふれあった。(Aスタジオ)
アートスケープ展	3.1~3.16 開館時間中	首都圏のインターナショナルスクールの合同美術展。13校の小5~高3の子どもたちの絵画、版画、写真、陶芸などの作品約2000点以上を展示。個性的な作品がそろうこの展覧会は、【子どもの城】では29回目。(ギャラリー)
きみもコーヒー「きみもコーヒーマスター！」	3.2 ①11:00 ②13:30	子どもたちがおいしいコーヒーの入れ方をマスターして、両親へサービスするという教室形式の活動を実施した。入れたコーヒーは、子ども向けてアレンジして自分で飲んでみた。その後のクイズ大会では、集まった子どもたちへコーヒーの秘密や育て方などのクイズが出題され、みんなで楽しく学ぶことができた。主催:UCC上島珈琲株式会社。(喫茶室・ファミリーラウンジ)



東京プレイデー 段ボール遊び



UCCコーヒー「きみもコーヒーマスター！」

体育



クライミングボード



水泳記録会



親子サッカー

平成 25 年度の活動

体育部門では、一般来館児・者向けのプログラムにおいても、講座の活動においても、子どもたちが、運動・スポーツの楽しさや面白さを感じることができるように、メンタル面へのアプローチを優先することが非常に大切だと考えている。運動・スポーツに対するスキルはもちろん大切である。しかし、実際にやってみないことには、子どもたちに、運動・スポーツの楽しさ、面白さなどの魅力を伝えることは出来ない。

運動は子どもの成長過程において必要であることは言うまでもない。しかし運動の必要性を理解していたとしても、子どもたちに、「運動は苦しくて辛いもの」というイメージを持っている場合が多い。運動が好きな子、嫌いな子の両方がいて当然だともいえるが、これは運動に対する最初の印象、つまりメンタルな部分によって大きく左右される。最初の経験が楽しかったか、楽しくなかったかで、運動に対する良し悪しのイメージが植えつけられてしまうのである。

運動が嫌いになる要因はたくさんある。「走っていて気持ち悪くなった」「試合に負けていやな思いをした」「友だちに馬鹿にされた」など数え上げればきりがない。逆に楽しかった子は、「汗をかいて気持ちよかったです」「得点してうれしかった」など、機会があったらやってみたいという前向きな気持ちを持つことができ、運動・スポーツに対しより能動的に取り組むことができるのである。定期的に通ってくる講座生は、運動嫌いな子でも継続的にフォローできるが、一期一会の一般来館児・者には難しいので、限られた時間のなかで、できる限り話しかけ、良かった所を誉めて次につなげるようにしている。

我々指導者は、子どもたちにはメンタル面に加え、運動やスポーツのスキル面においても向上して欲しいという願いも当然あり、そのような意識を持って指導している。しかしそれ以上に子どもたち自身が、「運動は楽しい」「運動に興味が湧いた」というようなメンタル面で、大きなプラスイメージを持つことで、将来子どもたちが健康と運動のかかわりについて考えたとき、前向きに運動やスポーツに取り組んでもらえると信じている。

本年度体育部門での活動では、これらの事を踏まえて昨年より一層、運動・スポーツの楽しさを、来館する子どもたちや保護者に伝える努力を続けてきた。運動で「汗をかいて気持ち良い」とか、「面白い」と感じた経験のある人は、次の機会に容易に運動を再開できるというデータがある。このように、我々は子どもたちの今だけを考えるのではなく、子どもたちの未来を見据えた長い視野を持った活動を行う必要性があると確信している。

平成 25 年度活動一覧表

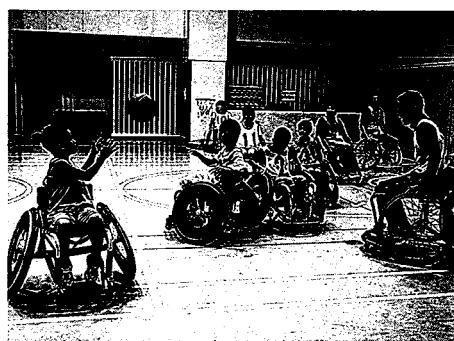
□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
プール一般利用	日曜日・祝日 10:30～17:00	日曜日、祝日にそれぞれの時間帯で一般利用。18歳以上 300円、小1～17歳 200円、幼児 100円。レンタル（タオル・水着）各 200円。幼児は保護者が 1 対 1 で付き添って利用。 (プール)
体育室一般利用	土曜日 14:00～15:00 日曜日・祝日 14:00～15:00 16:00～17:00	日曜日 14 時と 16 時の 2 回、土曜日 14 時に練習とゲームを行い、それ以外の時間帯はフライングディスクのフリースローイング。第 1 日曜日：フライングディスク（14 時）、サッカー（16 時）／第 2 日曜日：ドッジボール（14 時）、ユニホック（16 時）／第 3 日曜日：卓球／第 4 日曜日：サッカー（14 時）、ドッジボール（16 時）／第 5 日曜日：ユニホック（14 時）、フライングディスク（16 時）。土曜日は、翌日曜日の 14 時の種目。卓球は終日卓球の自由利用（混み合う場合は各グループ 20 分交代で利用）。利用時間は土曜日が 13 時 30 分～16 時、日曜日が 10 時～17 時。土・日曜日と重ならない祝日は、鬼ごっこ。日曜日・祝日の 11 時～12 時は「親子の体操」。（体育室）
体力測定	土曜日 14:00／15:00 日曜日・祝日 11:00／13:00／ 14:00／15:00／16:00	8 種目の体力測定を行っている。4 歳児くらいから大人までが利用でき、小学生以上は男女別に全国平均値と比べることができる。半年～1 年おきに来館して、体力測定をするリピーターも増えている。利用料は 1 回 100 円。 (健康開発室)
ビッグサタデー	土曜日 10:30～11:45	小学 4 年生以上が対象。クリケット、タグラグビー、バレーボール、バスケットボール、バドミントンなどの種目をほぼ 2 か月交代で取り上げ、技術や戦法、ルールなどを指導。ゲーム（試合）の楽しさ、おもしろさを体験できるようにした。 (体育室)
It's ライフセービング	7.15 13:00～15:00	海の安全についての学習や着衣泳を実践。小学生以上の子どもとその親 37 人が参加。先着予約制。参加費 500 円。協力：日本ライフセービング協会。 (プール)
スポーツ鬼ごっこ大会 子どもの城 CUP	10.14 10:00～17:30 H26.2.11 10:00～17:30	オリジナルの「スポーツ鬼ごっこ」（自分の陣地の宝を取られないように守りながら、相手チームの宝を取りに行く、点数制で勝敗を決める鬼ごっこ）の大会を開催した。その日に集まった子どもたちで作ったチームと、講座に参加している子どもたちで作ったチームなどが、チーム対抗で優勝を争った。 (体育室)
第 26 回水泳記録会	12.8 13:00～17:00	水泳講座生の記録会。25m 完泳できる講座生が対象だが、完泳できない講座生も参加できる「チャレンジ 25」も設けた。エントリー（1 人 2 種目＝1,000 円）を行い、年齢別、男女別で記録に挑戦。幼児 17 人、小・中学生 138 人参加。 (プール)
第 26 回 新体操発表会	H26.3.16 15:00～16:30	「ジュニア新体操」「シニア新体操」の受講生による発表会。1 年間の練習の成果を披露、家族の前で演技を発表した。本年度のテーマは「FOREVER」——新体操で【子どもの城】のファイナルステージを表現した。参加者 60 人、見学者 230 人。 (体育室)



新体操発表会



子どもの城スポーツ祭 車いすバスケット

■■■ 特別期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈児童福祉週間〉 寺子屋「スポーツあそび堂」	4.27・29、5.3～6 14:00～15:00 16:00～17:00	〈スポーツあそび〉を通して、瞬発力や敏捷性、柔軟性など、体に備わっている力を発見し、伸ばすプログラム。 (体育室)
〈夏休み〉 こどもの城スポーツ祭	7.20～8.30 14:00～15:00 16:00～17:00	オリンピックや国民体育大会の正式競技(サッカー、バレーボール、トランポリンなど)と、スポーツ祭東京2013でデモンストレーションとして行われる競技(ダブルダッチ、ドッヂビーなど)を日替わりで体験。 (体育室)
〈〃〉 ちびっこプール	7.20～8.31 10:30～16:30	屋上に仮設プール(13.6×5m、水深60cm)を設置。一般利用。利用料200円、レンタル(タオル・水着)各200円。 (屋上遊園)
〈冬休み〉 わいわい Dance Party 2013	12.22 12.23 13:30、15:30 12:30～14:00 15:00～16:30	ヒッピホップやストリートダンスなど、ダンスが初めての人でもゆっくり練習し、みんなでダンスを楽しむプログラム。12.22はダンス体験レッスン、12.23はダンスパーティーを実施。 (体育室)
〈〃〉 年末年始 親子でスポーツ∞	12.25～28、 H26.1.4～7 11:00～12:00	年末年始の8日間は、サッカーや鬼ごっこなどの親子で楽しめる〈スポーツ遊び〉を実施。スポーツをとおした親子の共有体験の時間とした。 (体育室)
〈〃〉 年末年始スポーツ∞! ラララ8日間☆	H26.1.4～7 14:00～15:00 16:00～17:00	「いろいろなスポーツに挑戦して君の力は∞無限大！」をテーマに、羽つき、宝とり、玉入れなどの〈スポーツ遊び〉や、サッカーやバトミントンなどのゲームを中心に実施。 (体育室)
〈春休み〉 「桜満開大作戦!」～スポーツをやって桜の花を咲かせよう～	3.23～4.7 14:00～15:00 16:00～17:00	鬼ごっこ、ドッヂボールなどの〈スポーツ遊び〉に挑戦する。最後に紙の花びらにコメントを書いて桜の花を咲かせる展示も実施。 (体育室)
〈〃〉 動かせ体!外あそびぐんぐん	4.1～3 14:00、16:00	長縄、スラッグラインなど外遊びを楽しむプログラムを実施。 (ピロティ)
〈全期間〉 体力測定	15:00 (日・祝日は13:00の回あり)	身長、体重、握力、垂直跳び、肺活量、立位体前屈、反復横跳び、閉眼片足立ちの8種目を測定。1回100円。 (健康開発室)
〈〃〉 プール一般利用	10:30～17:00	18歳以上300円、小1～17歳200円、幼児100円。レンタル(タオル・水着)各200円。幼児は保護者が1対1で付き添って利用。日によって利用時間が異なる。 (プール)

□□□ 講座・クラブなど □□□

■■■ 講座 ■■■

※講座回数=1・2期13回、3期9回

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
親子水泳 A	(組) 1・2歳児 と親 (30)	(組) ① 24 ② 22 ③ 20	水曜日 10:00～11:00 (全35回)	親と子を対象とした水泳コース。土曜日のコースは父親の参加が多い。父親が参加することで、よりダイナミックな動きができる。 受講料=1・2期各29,000円、3期20,000円。
" B	" (〃)	① 30 ② 33 ③ 32	土曜日 10:00～11:00 (全35回)	
" C	(人) 3・4歳児 (50)	(人) ① 20 ② 13 ③ 11	木曜日 14:00～15:00 (全35回)	
幼児水泳 B	4・5歳児 (30)	① 31 ② 31 ③ 33	木曜日 15:00～16:00 (全35回)	単に泳法の修得だけでなく、水中でも楽しく活動できるように指導。プールでの活動をとおして、水に慣れることやバランスよく水に浮く感覚など、水泳に必要な運動の基礎を身につける。クラスの人数も少ないので、ゆったりとした雰囲気で行われている。 受講料=1・2期各22,500円、3期15,500円。
" C	" (〃)	① 27 ② 30 ③ 30	金曜日 14:30～15:30 (全35回)	

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
幼児水泳 D	(人) 3~5歳児 (30)	(人) ① 31 ② 32 ③ 31	火曜日 14:30~15:30 (全35回)	水慣れから泳ぎへと個人差に応じた班分けを行っている。クロールなどの練習のみならず、幼児期に必要な水中感覚を得られるよう指導を行っている。6段階にレベル分けをして、次のステップへの目標としている。 受講料=1・2期各22,500円、3期15,500円。
" E	" (人)	① 30 ② 31 ③ 32	水曜日 13:30~14:30 (全35回)	
幼児体育 A	3~4歳児 (40)	① 23 ② 24 ③ 17	水曜日 14:30~15:30 (全35回)	たくさんの友だちといっしょに思いきり体を動かし、運動遊び、リズム遊びなど楽しみながら健康な体や運動の基礎を作る。 受講料=1・2期各20,500円、3期14,000円。
" B	4~5歳児 (40)	① 11 ② 10 ③ 10	火曜日 15:00~16:00 (全35回)	「幼児体育A」を土台にして、それを発展させながらさまざまな運動を体験し、体の使い方を学んでいく。 受講料=1・2期各20,500円、3期14,000円。
" C	" (人)	① 9 ② 8 ③ 11	木曜日 15:00~16:00 (全35回)	
小学生水泳 A	小1~6 (60)	① 28 ② 25 ③ 18	水曜日 15:00~16:00 (全35回)	生涯楽しめるスポーツ“水泳”を基礎から学び、4泳法をマスター。「シニア・スイミング」へのステップアップが目標。各期の後半に進級テストを実施(10級~1級)。次への目標としている。 受講料=1・2期各22,500円、3期15,500円。
" B	" (人)	① 31 ② 36 ③ 28	火曜日 16:00~17:00 (全35回)	10級 顔つけ もぐり 息こらえ ボビング 水なれ 9級 伏し浮き 背浮き 板キック ボディーイメージ1 8級 伏し浮きキック 背浮きキック ボディーイメージ2 7級 ノープレクロール パックキック ボディーイメージ3 6級 クロール・パック(12.5) ブレスト・バタフライ(キック) 5級 クロール・パック(25) ブレスト・バタフライ(リズム) 4級 クロール・パック(50) ブレスト・バタフライ(呼吸) 3級 クロール・ブレスト(タイム) 個人メドレー 2級 個人メドレー(100)(タイム) 1級 個人メドレー(200)(タイム)
" C	" (人)	① 51 ② 51 ③ 48	水曜日 16:00~17:00 (全35回)	
" D	" (人)	① 17 ② 22 ③ 18	金曜日 15:30~16:30 (全35回)	
" E	" (人)	① 53 ② 42 ③ 32	木曜日 16:00~17:00 (全35回)	※バランスよく発達ができるよう「小学生体育」と「小学生水泳」「小中学生水泳(小学生のみ)」の2講座の受講ができる。 受講料=1・2期各29,000円、3期20,000円(2コース合計)。 ※「小中学生水泳A」は、クロールで25m以上泳げる人限定。
小中学生水泳A	小2 ~中3 (30)	① 16 ② 21 ③ 23	火曜日 17:00~18:00 (全35回)	
" B	" (50)	① 37 ② 39 ③ 35	木曜日 17:00~18:00 (全35回)	
シニア スイミング	小1 ~高3 (30)	① 24 ② 23 ③ 20	火・水曜日 16:30~18:00 (全70回)	「小学生水泳」からのステップアップ講座。4泳法とも、自己記録の向上をめざす。指導者の推薦が必要。受講料=1・2期各22,500円、3期15,500円。 ※「シニアスイミングフレッシュ」の時間帯にも練習可。
シニア スイミング フレッシュ	小3 ~高3 (30)	① 23 ② 21 ③ 23	金曜日 16:30~18:00 (全35回)	小学3年生以上で泳ぎが不得意な子どものクラス。クロールで25m以上泳ぐことを第一目標に練習。90分の集中的な練習で上達の度合いが大きい。受講料=1・2期各22,500円、3期15,500円。
小学生体育 A	小1~6 (30)	① 23 ② 21 ③ 17	火曜日 16:00~17:00 (全35回)	器械体操、球技を中心に多種多様な運動経験をとおして苦手な種目を克服する。さらに、鬼ごっこなどを取り入れ、持久力も身につける。受講料=1・2期各17,000円、3期11,000円。
" B	" (人)	① 20 ② 18 ③ 16	木曜日 " (全35回)	※バランスよく発達ができるよう「小学生体育」と「小学生水泳」「小中学生水泳(小学生のみ)」の2講座の受講ができる。 受講料=1・2期各29,000円、3期20,000円(2コース合計)。

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
ジュニア新体操	(人) 小1～3 の女子 (35)	(人) ① 17 ② 16 ③ 16	水・金曜日 15:30～17:00 (全70回)	跳ねたり、跳んだり、回ったり、リボンやボールを使って楽しく体を動かす。基礎的な運動も含めた新体操の初步を指導。 受講料=1・2期各29,000円、3期20,000円。
シニア新体操	小4～高3 の女子 (35)	① 18 ② 17 ③ 17	水・金曜日 16:30～18:00 (全70回)	「ジュニア新体操」から一步進んで新体操独特の美しい表現ができるように練習。創作活動や発表会も開催。 受講料=1・2期各29,000円、3期20,000円。
手足の不自由な 子の水泳	小1 ～中3 (15)	① 12 ② 10 ③ 8	土曜日 17:00～18:00 (全35回)	身体に障害があり、水泳の機会に恵まれない小・中学生が対象。スタッフ、ボランティアの個人指導を中心に楽しく活動。 受講料=1・2期各17,500円、3期12,000円。

■■■ クラブ ■■■

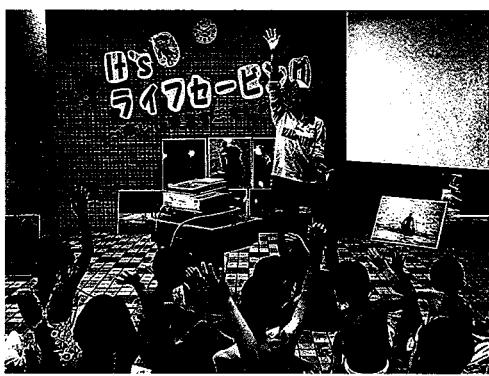
名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
こどもの城 スポーツクラブ	(人) 18歳以上 年間延べ 2,407	(人)	火～土曜日 12:00～13:30	18歳以上の大人のためのクラブ。プール、体育室、ジムを利用して体力作り、健康管理のために最適な環境で楽しく活動。利用料1回500円、1か月パス3,000円。
レディース コース スイミング リズム& ストレッチ	18歳以上 の女性 (122)	① 40 ② 41 ③ 46	火・木曜日 10:00～11:00 水曜日 10:00～11:00 土曜日 11:00～12:00	「スイミング」3コース、「リズム＆ストレッチ」1コースを併せてレディースコースとし、チケット制でのコースでも参加できる。チケット終了後は6回分の追加利用券を発行。生活習慣のなかに定期的な運動を取り入れることが健康作りの第一歩。各クラスとも4班編成。それぞれのレベルにあった班を選択し、「スイミング」ではクロールの練習から4泳法を身につけることを目標に健康作り。「リズム＆ストレッチ」ではゆったりと気持ちのよいストレッチと軽快なリズム運動で、楽しく動きながら明日への活力を生みだす。受講料=1・2期各22,500円(13回分)、3期15,500円(9回分)。利用券(6回)5,000円。

■■■ 講習会 ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
母と子の すくすくランド	(組) おすわり のできる 乳児(5～ 8か月前 後)と母 親(20)	(組) ① 29 ② 29 ③ 14	金曜日 10:00～11:00	はいはいから歩行へと成長していく時期の赤ちゃんを対象に、楽しい体操や親子での遊び。お母さんのシェイプアップも。 受講料=1・2期(各10回)各24,500円、3期(9回)22,000円。
幼児・母親体育 A	1・2歳の 子どもと 母親(30)	① 30 ② 32 ③ 26	火曜日 13:30～14:30	親子が体育室でリズムに合わせて跳ね、跳び、走るうちに運動神経を養い、体を動かすことの楽しさを身につける。 受講料=1・2期(各10回)各20,500円、3期(9回)18,000円。
〃 B	2・3歳の 子どもと 母親(30)	① 20 ② 30 ③ 25	水曜日 11:00～12:00	
ぱちゃぱちゃ ファミリースイム A	1・2歳の 子どもと 父母、祖 父母(30)	① 11 ② 12 ③ 11	金曜日 10:00～11:00	1歳から始まる水泳のビギナークラス。父母、祖父母のうち2人と幼児の組み合わせで参加できる。水慣れから、楽しい水泳活動をとおしてコミュニケーションも深めていく。 受講料=1・2期(各10回)各26,500円、3期(9回)23,500円。
〃 B	〃	① 28 ② 22 ③ 19	土曜日 14:00～15:00	

■ ■ ■ 短期講習会 ■ ■ ■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
夏休みこども集中水泳講習会 A	(組) 小1～中3 (40)	(組) 50	7.24～28 9:30～10:30	5 日間の集中練習で泳力アップといろいろな泳法を体験。受講料 = 8,000 円。
〃 B	4・5 歳児 (30)	40	7.24～28 10:30～11:30	
〃 C	小1～中3 (40)	50	8.14～18 9:30～10:30	
〃 D	4・5 歳児 (30)	40	8.14～18 10:30～11:30	
ガンバ 2013	小1～3 (30)	30	8.7～11 9:30～10:30	器械体操や球技などの基本動作を身につける、体操の苦手な子どものための 5 日間連続の体操教室。受講料 = 9,000 円。
成人水泳集中講習会	18 歳以上 (月 20)	延べ 91	水・金曜日 18:00～19:00	18 歳以上の初心者やレベルアップを考えている人の集中水泳講習会。月ごとに募集を行い、各月の講習種目に合わせて指導を行う。受講料 = 10,000 円（各月 7 回）。

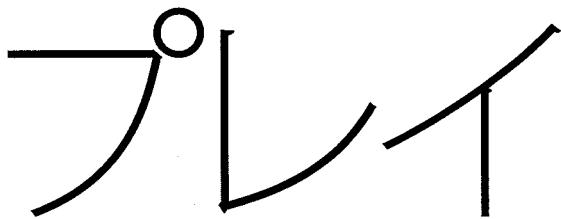


ライフセービング講習会

スポーツ鬼ごっこ大会 こどもの城カップ



3階・屋上エリア



平成 25 年度の活動

プレイ部門では、[子どもの城] の遊びスペースの中心である屋内の広い遊び空間のプレイホールと、屋上游園、ふしげが丘、パソコンルームの運営を担当し、年間をとおして乳幼児から学童、家族まで、幅広い年齢層・対象に向けたプログラムを実施した。

活動プログラムは、〈あそび〉をとおして子どもたちのよりよい成長・発達を促すことをねらいに、①子どもの発達年齢や遊びの種類を考慮したプログラムの提供と遊び環境の充実 ②児童文化、子どもの遊び文化を題材にした行事やプログラムの提供 ③安全に配慮した遊び場運営 ④効率的な運営——の4つの方向性を基本にして計画・実施した。

本年度は、日曜日に実施している、プロやアマチュアの人形劇団による人形劇の上演会「おはなし人形広場」の実施場所を、プレイホールからBスタジオに変更した。専用のスペースで、子どもたちや親子がじっくり落ち着いて人形劇の世界を楽しんだ。また、同じフロアにある造形スタジオとのコラボレーション企画として、造形スタジオで作った作品を使ってプレイホールで遊ぶというような、それぞれのエリアの特性を生かし、さらに連動するようなプログラムも実施した。

パソコンルームの活動は、平日はプレイホール内に4台のパソコンを設置し、プレイホールと一緒に管理して運営の効率化を目指した。土・日曜日と特別期間にはパソコンルームでプログラムを行い、年間計7つのプログラムを実施した。このパソコンルームは、開館以来高学年以上も楽しめる場所、居場所としての機能を発揮したが、次年度に続く最後の春休み期間をもって活動を終了した。

■■■ 一般来館児・者向けプログラム活動 ■■■

本年度も平常期間のプレイホールでは、ボランティア協力のもと毎週定期的に〈影絵〉〈人形劇〉〈紙芝居〉を上演する「みんなのにこにこ広場」、「おりがみ遊び広場」、週替わりでさまざまなおもちゃ遊びを提供する「金曜開店あそびやさん」を実施した。また、七夕やお正月、節分、ひな祭りといった季節の行事や、学校の季節休みなどの特別期間には、さまざまなことを実体験をとおして楽しく学ぶ「ハンズオン広場」や「人形劇フェア」などを実施した。

【安全に配慮した遊び場運営】 プレイホールの遊びの魅力の1つに大型アスレチック遊具“わくわくらんど”がある。3歳以上を対象にした遊具で主に幼児～小学生が利用している。今までではスタッフ中心に安全管理を行ってきたが、本年度はこの役割に〔子どもの城〕のボランティアの協力を得ることができた。多い時には1日に4人と年間をとおしてプレイホールの子どもの安全が見守

られた。子どもたちや保護者への声掛けや関わりが、安全はもちろんのこと、遊び場への安心感と温かさを生みだし、遊び場の魅力がいっそう増したように感じられた。

【人形遊びのプログラム】人形を〈見る〉〈作る〉〈遊ぶ〉の3つの視点からプログラム構成した活動を本年度は2回実施した。ファミリー月間に実施した「パペットランド」では、人形劇を〈見る〉だけでなく、幼児も人形劇に参加して〈遊ぶ〉内容を盛り込んだ。また12月の「クリスマス人形劇フェア」では、3つの視点に、小学生以上が参加できる〈演じる〉ことを加え、幅広い年齢の子どもの参加性を高めた活動となった。毎年、大学の人形劇・児童文化研究サークルネットワーク「じゅんぐるじむ」、人形劇団ネットワーク「パペットマーケット」と共同で行ってきたが、大学を卒業して社会人となっても、後輩である学生に関わり指導してくれる人も多くなり、何年にもわたる人のつながりを感じられる活動となっている。

【おとうさんのあそび市】父親の子育て参加の意義を考える機会とする「おとうさんのあそび市」も、本年度で3年目となった。東京近郊で活動している父親のサークル12団体の協力を得て、来館した子どもたちを対象にさまざまな〈あそび〉のプログラムを展開した。【子どもの城】の各エリアでもスタッフによる父親を中心とする親子活動の場を設けた。またこの企画の対象である“父親”を“プレパパ”にまで広げ、“プレママ”と一緒に父親の子育て参加を考える「プレパパ・プレママひろば」を行った。8組の夫婦が参加し、プレパパは来館児や父親サークルのお父さんと遊ぶ体験やプレパパ同士での語り合い、プレママはリラックス体操や乳幼児を連れた親子と触れる活動となつた。



お父さんとバルーンアートを楽しむ

【作ってシャキーン！音のワールドマーケット】小学生が多く来館する春休みには、小学生以上が参画できるプログラム「作ってシャキーン！音のワールドマーケット」を、【子どもの城】高校生ボランティアL.I.T.と一緒に企画運営を行った。音をテーマにした〈あそび〉のプログラムを、事前また当日に募集して集まった小学生や中学生がL.I.T.と一緒に制作・運営を行った。幼児はL.I.T.や小学生以上が作ったゲーム屋に参加した。子どもたちのユニークな発想できあがったゲーム屋は多くの子どもたちでぎわい、プログラムをとおした異年齢の交流も活発に行われた。

■ ■ ■ まとめ ■ ■ ■

〈あそび〉スペースでの活動は、安全を確保しながらも、できるだけ自由にかつ能動的に遊べ、幅広い年齢の子どもたちがそれぞれの〈あそび〉の欲求を満たせるように、発達年齢や〈あそび〉の種類で場所を区切った環境設定を行っている。実施するプログラムには来館児・者に伝えたい意図やねらいを盛り込み、子どもから大人まで幅広い来館児・者に対し発信することができた。

【子どもの城】のような異年齢が集う遊び場では、安全面でのある程度のリスクは避けられないが、その反面“できる体験”もある。大きな子どもの遊ぶ姿を見て、「ああたりたい」「あんなことやってみたい」というような憧れを抱いたり、逆に小さな子への思いやりの気持ちが芽生えたりと、子どもの成長には欠かせない体験が多く詰まっている。親にとっても、我が子の何年か先の成長を目にしたり、他人の子との出会いが我が子を見つめ直す機会となる。このような“人と人とのかかりわり”的体験の場が少ない現状がメディアなどから報告されるが、【子どもの城】でも、遊んでいる親子の姿、行動から明確に感じとることができる。

さまざまな年齢、立場の子ども・家族が集まり、かかわり合いながら遊ぶ場所には、“多くの意味のある体験”があることに、あらためて目を向けてほしい。みんなで楽しく遊ぶことも、学ぶことも、お互いの存在があるからこそ実現できる。安全は子ども自身がお互いに守ること、大人はそこに集った子ども全員の成長発達を考える意識など、【子どもの城】をより良い〈あそび〉の場とするためにも、いろいろな人が交り合う場を見守り、より良い支援をする必要性を感じた1年であった。

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□
■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
みんなの にこにこ広場	水曜日 15:00～15:30	ボランティアとともに運営。紙芝居、人形劇、影絵を週替わりに実施。10月 30 日の「赤ちゃん大集合」では人形劇を行った。人形劇 12 回、影絵 11 回、紙芝居 15 回。全 38 回実施。参加者延べ 3,200 人。(プレイホール)
おりがみあそび広場	木曜日 14:30～15:30	ボランティアとともに運営。2・3歳児連れの親子が多く参加。日本の文化継承を基本に、作品を仕上げる過程や、スタッフと参加者、参加者同士のコミュニケーションも大切にした。食べ物、動物、季節の作品、遊べる作品など、1回につき 1 作品実施。全 40 回、参加延べ約 1,384 人。(プレイホール)
金曜開店！ あそびやさん	金曜日 開館時間中	学期ごとに 3～5 種類のおもちゃを週替わりで体験できるプログラム。常設の遊具とは遊び方の異なるおもちゃを楽しめるようにした。全 39 回。 1期=はたらく車／ワミー／モノブロック／かえるさんジャンプ+パックンフィッシング 2期=汽車セット／手びねりこま／ドミノたおし／ワミー 3期=バランスゲーム（サルも木から落ちるほか）／組合わせ（動物ドミノ、Mee Too、ポケットパズルほか）／ネジブロック (プレイホール)
おはなし人形広場	日曜日（不定期） 外部団体 15:00～15:40 ボランティア 13:00、15:00	プロ劇団による人形劇などの公演と、ボランティア「おはなしや」グループの公演。生の舞台に触れ豊かな感性を育むことが目的。本年度から場所をプレイホールから B スタジオへ移し、落ち着いた環境で鑑賞できた。毎回幼児～小学校低学年を中心に 150 人以上の親子が参加。1 月 9 日には有志のプロ劇団による「パネルシアター大集合」も実施した。全 12 回。(プレイホール)
〈七夕〉 天までとどけ ねがいごと	7.3～7 13:00～17:00	全館の七夕事業と連携したプログラム。日本の季節行事「七夕」を伝えるワークショップを実施。短冊に願い事を書いて笹竹に飾ったり、6・7 日は名前を糸で縫う“裁縫体験”を行った。参加者延べ 1,339 人 (プレイホール)
都民の日 ファミリー館内クイ ズラリー	9.28・29、10.1 13:00-16:00 受付	3 階・4 階エリアに設置された 100 問のクイズ問題を探し回答するクイズラリー。クイズシートを 4 種類用意した。友だち同士や親子で協力しながら取り組んでいた。参加者延べ 377 人。(プレイホール、3 階・4 階エリア)
〈節分〉 節分会 大まめまき大会	H26.2.2・3 14:30～15:15	恒例の豆まき大会。節分の由来を参加劇立てで紹介。スタッフやボランティアが扮する鬼めがけて、会場の親子が一齊に豆を投げ、鬼を退治し、みんなで達成感と一緒に味わうことができた。参加者延べ 646 人。(プレイホール)
〈ひなまつり〉 みんなでひなまつり	3.2・3 10:30～16:00	千代紙と厚紙で、“つるし飾り”を制作。まり、着物、ねずみなど、それぞれの飾りの意味を伝えながら行った。参加者延べ 360 人。(プレイホール)

■■■ 特別期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈夏休み〉 夏休み ハンズオン広場 「あそんで+まなん =大発見！」	7.18～8.4「コロリン大作戦」 8.6～18「おしろマーケット」 8.19～30「ねじであそぼう」 開館時間中	〈あそび〉や実体験をとおして自ら〈発見〉〈学ぶ〉ことを目的に実施。「コロリン大作戦」では、定規やコップ・クリップなどで工夫し、玉が転がるコースを組み立てて遊んだ。「ねじであそぼう」は、ボルトやナットをつないだり、木片を使ってロボットを作るなど、「ねじ」の機能と役割を体験。「おしろマーケット」では、店と買い物をする人に分かれ、エプロンや帽子・お金や看板なども使い販売と買い物を楽しんだ。(プレイホール)
〈〃〉 ファミリー 館内クイズラリー	8.24～31 13:00～16:00 (受け付け時間)	受付で解答用紙をもらい、館内に設置された 100 問のクイズを探し回答するクイズラリー。問題は子どもから大人まで、雑学や歴史的なものなどさまざまなジャンルを用意した。参加者数計 479 名 (プレイホール・地下 2～5 階)
〈〃〉 おとうさんのあそび市	8.31、9.1 13:00～16:30 プレパパ・プレママひろば 9.1 13:30～15:00	来館した家族、父親が①子どもと〈あそび〉を共有体験する中で子育ての魅力を感じる②他の父親との交流をとおして子育ての意義を理解する③地域の父親グループを知り参加のきっかけとする——ことを目的に実施。初日は父と子が参加し楽しめるプログラム。2 日目は東京近隣の父親サークルが集い、活動報告と遊びを提供了。未来のパパママを対象とした「プレパパ・プレママひろば」では 8 組が参加。リラックス体操や赤ちゃんふれあい体験、遊びに来ている子どもと遊んだり、話す場を設けた。その他、館内で見た父親の魅力などを記事にし、館内に掲示、配布した。(プレイホール、B スタジオ)

名 称	日 時	内 容
＜ファミリー月間＞ パペットランド	11.16・17 11:00～16:00 上演 14:30	紙コップで作った口がパクパク動く人形で、ままとやお店屋さん、車の運転手やテレビのアナウンサーになってごっこ遊びを楽しんだ。人形劇は「おむすびころりん」を上演。観客は自分の人形を手に、スタッフのリードで人形劇に参加。大人も子どももお話の世界を楽しんだ。 (プレイホール)
〈冬休み〉 クリスマス 人形劇フェア	12.22～24 11:00～16:00 上演 ①11:30 ②14:00 ③16:00	人形を〈見る〉〈作る〉〈遊ぶ〉〈演じる〉の4つの視点からプログラムを設定し、人形劇の楽しさを伝えた。演じる楽しさを伝える「キッズ人形劇団」では小学生以上の子どもを事前募集し、大学生の指導で練習した後上演した。東京近郊の大学人形劇・児童文化研究サークルネットワーク「じゃんぐるじむ」と人形劇団ネットワーク「パペットマーケット」との共同企画。 □作るワークショップ□紙コップ人形を作って遊ぶ。延べ863人参加。 □キッズ人形劇団□延べ43人参加。13:30と15:30に30分の練習後「てぶくろ」を上演。 □参加大学□創価大学・東京家政大学・帝京大学・立正大学 (プレイホール)
〈 〃 〉 新春あそびのお年玉 ～ウマくなれなれ遊び ぞめ～	H26.1.4～7 11:00～16:00	恒例の伝承遊びのプログラム。ボランティアとの共同企画。こま、べいごま、あやとり、百人一首を実施。参加するともらえる「七福神カード」3枚と引き換えに、オリジナルおみくじを引くことが出来た。子どもから、父母、祖父母まで、三世代で楽しむ姿が見られた。 (ピロティ、プレイホール)
〈春休み〉 作ってシャキーン 音のワールドマーケット	3.26～28 11:00～16:30	【こどもの城】高校生ボランティアグループL.I.T.の子どもたちが企画し、来館した小学生以上の子どもたちと一緒に遊びを考え、来館児・者に〈あそび〉を提供する〈子ども参画プログラム〉。“音”に関するゲームを考える「つくるコーナー」と、できたゲームで「遊ぶコーナー」があり、多くの子どもたちが知らない人と協力し、作る楽しさと、他の人と楽しみを共有することを体験した。L.I.T.とプレイ部門の共同プログラム。 (プレイホール)

■ ■ ■ パソコンルーム ■ ■ ■

名 称	日 時	内 容
もりもり！おべんと BOX	4.17～5.6	あらかじめ用意した食品、食器などの素材（写真）を組み合わせて“おべんとう”を作るコラージュ遊び。A5サイズにプリント。思い思いに、食べたいお弁当や夢のお弁当を想像しながら楽しんだ。
ネイチャーキズ	5.9～7.9	図鑑ソフトを使って、鳥や花の名前をクイズ形式で探すプログラム。鳥は住んでいる環境や身体の色、大きさなど、花は咲いている時期や場所、花の色や葉っぱの形など、それぞれの対象の特徴から、その名前を導き出す。
恐竜復元 コンピュータ	7.10～9.1	昔生きていた恐竜の姿を想像しながら、ぱらぱらになっている恐竜の骨の化石や部位を組み合わせて恐竜を完成させ、印刷をした。パズルの感覚で1体の恐竜を組み上げたり、恐竜が住んでいた世界を想像し楽しんでいた。
ことばあそびの A☆B☆C	9.5～10.29	パソコンとしりとり対決をしたり、複数の言葉を聞き分けたり——5つの言葉遊び（しりとり、アナグラム、4W遊び、暗号解読、聞き分けクイズ）を実施。幼児は親子で、高学年は友だちと競いながら楽しんだ。
うつしとるとるなぞ ってアート～とれと れマーケット～	10.30～12.3	用意された食べ物の写真から好きなものを選び、ペンタブレットを使って輪郭をなぞり、色をつけて印刷。ペンキやスプレー、鉛筆など選ぶ道具によってさまざまな雰囲気の作品や、リアルな作品も生まれた。
わくわく☆ カレンダー2014	12.4～H26.1.28	イラストやメッセージで飾って2014年のカレンダー作りを実施。月めくりの「壁掛けタイプ」「卓上タイプ」の2種類から選んで制作。イラスト選びでは日本の四季を感じたり、家族の誕生日を書き込むことで家族を感じる機会となったようだ。
君も パソコンアニメーター	1.29～3.11	パソコン上に2枚の絵を描き、出来上がった絵を交互に映し出してBGMをつけ、簡単なアニメーションを作った。幼児はスタンプのイラストを選びながら、小学校高学年は独創的なアイデアでアニメーション作りを楽しんだ。
フレンドシップ カード	3.12～4.6	名刺作成ソフトを利用し、名前・住所・趣味・特技・メッセージなどを入力。好みのイラストも選んでレイアウトし、オリジナルの名刺を作成。また、自分の顔写真を入れた名刺作りも行った。おしゃべりしながら入力したり、できあがった名刺を見せ合ったりなど、交流する場面が多く見られた。

3階・屋上エリア

造形



平成 25 年度の活動

開館以来、造形スタジオでは、子どもたちが造形体験を豊かにしながら、感性を健やかに育てるように、①新しい視点で素材を探求して、子どもたちに素材への広い関心を抱かせるワークショップ「素材との出会い展」②そのままでは素材になりにくい音や光などを制作の媒体としてとらえ、子どもたちの造形感覚を新しくするワークショップ「造形発見展」③造形活動の基本となる“素材と道具と技法”的関係をわかりやすく理解できるように視覚化したワークショップ「オープンスタジオ」——の3つを軸に活動を展開している。ひとつのテーマでの活動を約1年間にわたって継続し、3種類のワークショップを順次繰り返しながらスタジオを運営している。

ワークショップを実施するにあたって、全体の構成要素である〈展示・体験・制作〉という基本コンセプトを効果的に実施するため、ワークショップごとのテーマに応じて環境設定を行い、子どもたちが自主的、能動的に活動にかかわるようにしている。本年度9月までは「造形発見展～空気と造形」、10月からは新しいテーマ「箱と造形」を実施した。

講座・クラブ活動である「子どもクリエイティブクラブ」は、次の3コースを実施した。年間のテーマに基づき、ストーリー仕掛けでプログラムを展開していく「ゆかいな造形」、親子で協力してまた、お互いに触発し合いながら制作に親しむ「親子でアート」、さまざまな造形素材、技法、道具を使い、素材それぞれの特性を発見しながら制作をする「ハンズワーク」を実施した。

本年度の重点目標である、“効率的なスタジオ運営”では、スタジオ内のバックヤードを削り、極力活動スペースを広く取って、乳幼児も参加しやすい環境を整えた。“伝承的な〈遊び〉の再解釈と充実化”では、年中行事の正月や節分、桃の節句などと造形性を結びつけた「子ども歳時記」を開催。“開館から実施してきたプログラムの継承、再構築、保存”では、過去プログラムのデータ化や現在のテーマに合わせた再構築、またどこでも展示できるようコンパクトなBOX化などを行い、〈動く子どもの城〉をはじめとした研修会や講師派遣などの実技講習会でも紹介している。

■■■ 造形発見展～空気と造形～ ■■■

私たちの身の回りをすさまなく満たし、生活に密着しているにもかかわらず、無色透明で目に見えず、水のような抵抗感も感触も希薄なため、その存在自体を忘れてしまいがちな物質〈空気〉。地球上に生きる多くの生物にとって必要不可欠なはずの〈空気〉だが、実際は風が吹いたり、匂いが運ばれてくることによって気づくなど、特別な場面を除けば、ほとんど意識させられることがない。

い。この〈空気〉を造形素材としてプログラム化することで、身近にある〈空気〉の存在を改めて認識すると同時に、新たな魅力を発見し、体感してもらうために、〈展示・体験・制作〉の 3 つの要素で構成した。

人や物が動くと周りの〈空気〉も動くが、その動きを普通では目にはすることはできない。春休み特別期間には、造形スタジオへ続く廊下の両脇に、色とりどり無数のスズランテープをのれん状に垂らして装飾した。カラフルな壁であると同時に、人が通るたび、軽いスズランテープが目には見えない〈空気〉の動きをキャッチして、触れてもいないのにふわっと浮き上がったり、サラサラと心地よい音をたてて揺れたりする壁。〈空気〉を視覚と聴覚で体感できる『空気の動きをとらえる廊下』が完成した。

夏休み特別期間までの平常期間は、〈空気〉を動力として活用することに焦点をあて、プログラムの開発と実施を試みた。風をうけるとすべるように進んでいく「フーフースルリー」や、ストローに吹き込んだ〈空気〉によって薄紙が振動し、ビリビリとにぎやかな音を奏でる「かぜぶえ比利」、細い針金の先につけた葉や花などの飾りがそよそよとゆれ動く「そよかぜ屋さん」など、〈空気〉を利用したり、感じたりするプログラムを多く実施し、〈空気〉の発見を楽しんでもらった。

夏休み特別期間は「造形発見展～空気と造形」を実施。プログラムだけでは伝わりきらない〈空気〉の魅力を、『空気図鑑』という大型絵本形式の展示物によって補った。仲間と協力して鼻から

息を出しながら円を描くように上昇し、〈空気〉の泡で作ったカーテンに魚を閉じ込めて餌をとる「ザトウクジラ」の話や、魚なのに空中を飛べる「トビウオ」の仕組み、翼のかわりに体の膜を使って滑空する動物「モモンガ」の話など。他にもヨットや風車、ホバークラフト、タンボポなど、〈空気〉と関わりのある機械、乗り物、生物、植物の種、玩具の話を、イラストといっしょに掲示した。展示体験コーナーでは、ポンプを押すと飾りの一部が飛び出したり、ゆれたりする仕組みの大型ジオラマを設置した。



造形発見展～空気と造形（小学生コーナー）

平成 24 年 10 月から 1 年間、造形活動を通して遊びながら〈空気〉について考える、楽しいワークショップが実現した。この間、親子コーナーで 22 プログラム（平成 24 年度 =15、平成 25 年度 =7）、小学生コーナーで 13 プログラム（平成 24 年度 =12、平成 25 年度 =1）を実施。その他イベントおよび短期講座を含めると、プログラム実施総数は 40 プログラム以上にのぼり、延べ 63,000 人以上の子どもたちでにぎわった。



やってみよう！つくってみよう！～空気と造形（親子コーナー）

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
やってみよう！ つくってみよう！ 「空気と造形」	4.9～21、5.9～7.19、 9.5～29 開館時間中	夏休み特別期間に実施するプログラム「造形発見展～空気と造形」にむけて、身の回りにありながら意識することがほとんどない「空気」を造形的にとらえ、「空気」を見る方法、「空気」を感じる方法などをプログラム化したワークショップ活動を実施展開した。
やってみよう！ つくってみよう！ 「箱と造形」	10.1～12.1、H26.2.4～9、 3.4～20 開館時間中	「箱」を造形的にとらえ、紙や木などの造形素材を箱状に変化させる、また箱状にしたもの組み合わせることによって生まれる形や模様、見え方の違いなどを、子どもたちが「あそび」を通じて発見できるワークショップ活動を実施展開した。
〈子ども歳時記〉 端午の節句	4.23～5.6 開館時間中	スタジオ入口の空気で動くジオラマにこいのぼりを飾り季節感を演出した。プログラム「ソラとびゴイ」で遊ぶコーナー、マグネットや模様のカードでこいのぼりのうろこを変えて遊べるコーナーを設置。全国各地の民芸品、端午の節句のタペストリーも展示した。
〈　〃　〉 クリスマス	12.3～25 開館時間中	全館事業「みんなでかぞろうクリスマス」のために、子どもたちがオーナメントを制作するスペースを設けた。完成したオーナメントはツリーに飾り、ロビーに展示した。スタジオ壁面には、大きな布で作ったサンタ、トナカイなどを設置し、天井にはクリスマスをイメージさせる飾りを吊るして、雰囲気を盛り上げた。
〈　〃　〉 お正月	12.26～H26.1.13 開館時間中	スタジオ内に、プログラム「はこパカうま」を走らせて遊べるスペースを設けた。壁面には獅子頭、コマや羽子板を飾りお正月らしさを演出した。お正月や干支の年にちなんだ民芸品を展示。3階ロビーやスタジオの天井には全国各地の扇を飾った。
〈　〃　〉 節分	1.15～2.2 開館時間中	3階ロビーのスロープに、鬼のタペストリーを設置し、来館者を迎えた。スタジオ入口の空気で動くジオラマに鬼を飾り季節感を演出した。スタジオ壁面には、布製の大きな鬼と福の神を設置し、周りを豆や升などで装飾して節分のにぎやかな雰囲気を作った。
〈　〃　〉 桃の節句	2.11～3.2 開館時間中	スタジオ全体に桃の花や吊るし雛を飾り、華やかな雰囲気を演出した。スタジオ壁面には、はまぐり型のおひな様、スタジオ奥には、紙で制作した大きなひな壇を設置し、制作の助けとした。全国各地の民芸品と民芸品を図案化したタペストリーも展示した。
〈開館記念〉 第 28 回造形スタジオ展	11.1～24 開館時間中	開館記念行事にあわせて、毎年実施している展示の 28 回目。平成 24 年 11 月～平成 25 年 10 月までの 1 年間に実施したプログラムと活動を見渡すことができる、造形スタジオ活動のダイジェスト版。「紙と造形～ペーパーマーケット～」「空気と造形」「子ども歳時記」のプログラム作品と、「夏休み造形教室」「子どもクリエイティブクラブ」の各コースを、作品と活動風景写真で紹介した。
第 20 回親子体験 ワークショップ	11.1～4 開館時間中	親と子がそれぞれに制作することで、造形活動をとおし親子のかかわりを見つめ直すワークショップ。実施プログラムは「プルルン BOX」。透明のシートを折って四角い枠を作り、枠の内外を飾る。できたら息を吹きかけたり指で弾いたりすると、プルルンとユーモラスに動く。親子で一つずつ制作した。

■■■ 特別期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈夏休み〉 造形発見展 「空気と造形」	7.20～9.1 開館時間中	楽しみながら「空気」の特性や魅力に触れ、考えるワークショップを実施した。「空気」に関連のある機械、生き物、乗り物などをイラスト化して装飾やパネルに使用し、子どもたちの「空気」への関心を引き出す工夫をした。また、スズランテープを使った『空気をとらえる廊下』や、ポンプで空気を送ってジオラマの一部を動かす体験物、空気のお話をまとめた『空気図鑑』などを設置した。

名 称	日 時	内 容
「春休み」 やってみよう！ つくってみよう！ 「箱と造形」	H26.3.21～4.6 開館時間中	平成 26 年度の夏休み特別期間「造形発見展～箱と造形～」に向けた活動。「箱に“入れる”“つめる”」をテーマにした活動。子どもたち自身が、造形素材である紙を箱状に変化させたものに、何かを作つて入れたくなってしまうような環境とプログラムを整え、大人から子どもまでが楽しみながら〈箱〉の特性や魅力を再発見できるワークショップを実施した。

□□□ 講座・クラブなど □□□

■ ■ ■ 講座 ■ ■ ■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
こどもクリエイティブクラブ 「ゆかいな造形」	(人) 小1 ～中3 (20)	(人) ① 14 ② 11 ③ 9	水曜日 16:15～17:30	布や木、金属、紙などのさまざまな素材を用い、素材に見合った道具と技法を使い分け、〈あそび〉の中で楽しむ造形体験。年間テーマは「発見！謎の古代遺跡！」。野山を散策中、たまたま見つけた洞穴の中に入っていくと、奥には何と古代遺跡か！ 次々とあきらかになる古代遺跡の謎とは… これらをストーリー仕掛けで展開。1期の「野山を散策」編では、自然木やわらなどを組み合わせて作る古代の家や、陶で作る象がん模様のお皿（出土した土器）などを制作。「古代遺跡発見」編の2期には、レンガブロックを積み上げて作る古代遺跡や、古代文字と当時の狩りの様子が彫り込んである陶板などを制作。3期の「お宝発見」編では、陶にガラスを溶かし込んだ王家の紋章や、各種金属を使って作る王冠などを制作。1年間の活動を通じて、子どもたちはさまざまな素材や道具、技法に接し、個人の造形表現の幅を広げながら、それぞれに楽しみを見い出していた。 受講料＝1期(9回)23,500円、2期(12回)31,000円、3期(8回)21,000円。
〃 「親子でアート ～わくわくワーク～」	(組) 4・5歳児 と親(10)	(組) ① 10 ② 7 ③ 8	木曜日 15:30～16:30	親子で協力して作ったり、時には別々に作った作品を組み合わせるなど、さまざまな制作方法を取り入れ、互いに触発しあいながら、親子の新たなかかわりを発見するコース。さまざまな素材や技法を体験することで、新たな触感や視覚を発見することも目的。コラージュやスタンプによる描画など、幼児にも扱いやすい〈紙〉を中心としたプログラム、のこぎりや金づちを使った木工、金属の加工、石膏の型取り、ろうを使った立体作りなど、幼児があまり経験しないような素材や技法を体験するプログラムも実施。年間をとおし、“食べ物”や“季節行事”をテーマに取り入れ、より制作しやすいように工夫した。親子で協力し互いの表現に感心しながら、また他の親子とのコミュニケーションが広がるなど、造形活動をとおして自然なかかわりが生まれていた。受講料＝1期(9回)28,000円、2期(11回)34,000円、3期(8回)25,000円。
〃 「ハンズワーク ～創造探検～」	(人) 小3 ～中3 (16)	(人) ① 8 ② 7 ③ 9	土曜日 15:30～17:30	素材、技法、道具などについて、より良い知識を蓄積し、造形表現の力を養うためのクラブ。小学3年生から参加できる高学年向けコース。活動時間も2時間と長く、ゆったりとした時間の中で、より充実した制作ができるようになっている。 1年間をとおして、幅広くいろいろな素材に取り組んだ。木やプラスチック、石、布、金属、ガラスといったさまざまな素材と、工具や技法との関係性を体験できるようなプログラムを展開した。粘土とガラスを組み合わせた焼物、アルミの棒から成形するスプーン、石の名札、枝を使ったバードコールなどを実施。素材の違い、目的や道具の違いをいろいろと体験することで、子どもたちの創造する喜びと可能性が大きく変化していく様子が見られた。子どもたちは新しい発見と驚きの中、素材との格闘を楽しんでいた。 受講料＝1期(9回)23,500円、2期(11回)28,500円、3期(8回)21,000円。

■■■ 短期講習会 ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
夏休み造形教室	からくりエーランド (人) 小3～高3 (1日コース ／3日間 計 45)	(人) 延べ 43	7.24～26 10:10～16:40	空気で動くからくり仕掛けのジオラマを制作。中央に立った木の枝から空気が出るしきけを作り、ポンプを押すと生き物が地面からピョコッと飛び出したり、空をぐるぐると回ったり、鉄棒にぶら下がった生き物がゆらゆらと揺れたりする。受講料=5,000円。
	あれこれランチボックス (人) 小2～高3 (1日コース ／3日間 計 45)	延べ 45	7.31～8.2 10:10～16:40	2段式ランチボックスのフタをあけるとハンバーグや焼き鳥、コロッケ、海老フライ、サンドイッチ、ゼリーなど、子どもたちの好きなものがぎっしり盛りだくさん！のこぎりや金づちなどの工具と、さまざまな技法を使って制作する楽しいお弁当箱。受講料=5,000円。
	アミアミ生物 (人) 小3～高3 (半日コース ／3日間 計 90)	延べ 90	8.7～9 10:10～12:40 14:10～16:40	筒状にした金網を身体に見立て、ボルト、ワッシャー、カラー針金などを組み合わせた手足や頭を作つて合体させながら、全身が金属できただき物を制作。吊るすと空気の動きをキャッチしてゆったり回転する。受講料=3,000円。

■■■ その他 ■■■

名 称	日 時	内 容
ブルーノ・ムナーリ展	10.20～H26.3.25	[子どもの城]所蔵の「ブルーノ・ムナーリ・コレクション」の貸し出し事業。ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡県）での展示、カタログの制作協力。ワークショップ「テクスチャー」「コラージュ」を実施し、現地スタッフへ指導した。
レクチャー「手で見るレリーフ～全く見えない物ではないし、全く別ものでもない～」	8.3	平成18年から継続している「触察」レクチャーシリーズの8回目。講師のベッシニ氏が長年手がけてきたラ・シテやルーブル美術館の視覚障害者のための触察本や触図に使用する「レリーフ」制作についての講演会。 講師：クリスチャン・ベッシニ（フランス、エディエンヌ芸術・産業グラフィック高等学院名誉教授） 主催：NPO法人視覚障害者芸術活動推進委員会、子どもの城造形スタジオ（会議室）
第17回 図工だいすき 子ども美術展	9.10～29	都内小学校の図工専科教師有志（20校）と石巻アトリエ・コパンの子どもたちの図工作品、造形スタジオプログラム作品を展示。9月15日に教師によるワークショップを開催。9月22日は黒田征太郎氏によるワークショップ、9月27日にアトリエ・コパン主宰の新妻健悦氏によるフォーラムを開催。入場者は2,563人。 主催：NPO法人 CCAA、子どもの城造形スタジオ（ギャラリー）
第12回鉄はうたう	11.29～12.23	フィンランド、セルビア、ロシアとその周辺の口琴の展示と、現地での演奏風景や制作過程の写真展示。11月29日にはコンサートも開催。 主催：日本口琴協会、子どもの城造形スタジオ（造形スタジオ）



夏休み造形教室「あれこれランチボックス」



子どもクリエイティブクラブ～ゆかいな造形

□□□ プログラム一覧 □□□

■■■ 親子コーナー ■■■

名 称		内 容
空気と造形	ケルくるーん	紙の帯 2 枚の両端を折り曲げ、真ん中をのりではりあわせる。両端をひらき、ペンで飾りを描いて完成。はりあわせた部分をつまんで前に押し出すように投げると、空気の抵抗を受け、くるくると回転しながら空中を移動する。
	フーフースルリー	葉包紙の角を裏返してのりではり、反対側の角に紙テープの尾をつける。全体を飾り、息を吹きかけると、空気に押されて軽やかに前へすべりだす。
	かぜぶえビリー	段ボール板にストローを差し込んだら、反対側の両面に薄手の色紙をはる。全体を飾り、ストローから息を吹き込むと空気で色紙が振動し、ビリビリと音が鳴る。
	空気 DE シュポン	紙帶を折った後、ストローの先につけて全体を飾る。ストローに息を吹き込むと、紙帶がシュポンと飛び出すように跳ね上がる。
	エアー GOGO !	色上質紙に飾りをつけ、段ボールの端にのりでとめて帆を作る。帆と段ボールをアルミ針金でつなげ、帆に向かって息を吹きかけると、空気の力ですべりながら進む。
	トビマル	薄手の色紙の片方の端を折って厚くし、まるめて筒を作る。全体を飾り、折った部分を持って空に投げると、ふわふわとユーモラスな飛び方をする。
	チチチ グライダー	エアキャップに型紙をあて、印をつけて切り取ったら、頭にワッシャーをシールでとめて模様を描くと完成。高く持ち上げ手を離すと、軽やかに滑空するグライダーになる。
箱と造形	ハコパックン	色画用紙で箱を作つて二つに折り、中央に輪ゴムをひっかけたら全体を飾る。できたら輪ゴムに指を通して動かして遊ぶ。大きな口でさまざまな食べ物を食べる「ハコパックン」の完成。
	キラリ BOX	鏡面紙で細長い箱を作り、底の部分のトレーシングペーパーに自由に絵や模様を描くと完成。箱の中をのぞくと、絵や模様が幻想的に映つて見える。
	ブルレン BOX	透明シートを折り四角い枠を作り、枠の内外を飾る。できたら息を吹きかけたり指で弾いたりすると、ブルレンとユーモラスに動く。親子で一つずつ制作。「第 20 回親子体験ワークショップ」プログラム。
	ボックスタウン	白い紙で四角柱の筒をつくり、建物に見立てる。穴をあける、切る、折る、はるなどをして、窓や扉、屋根や階段を作る。完成した作品を持ち寄ると、街を作ることもできる。
	はこわくさん	紙の帯を使って四角い枠を 3 個作つてはりあわせる。正方形や台形など、さまざまな形の四角い枠を組み合わせて動物、建てもの、乗りものなど、好きなものに見立てて飾る。
こども歳時記	ソラとびゴイ	薄手の色紙の片方の端を折って厚くし、まるめて筒を作る。全体にコイの飾りをつけ、口の部分を持って空に投げると、ユーモラスな飛び方をするコイになる。
	クリスマス BOX	紙コップのフタをあけると中からクリスマスにちなんだモノが現れる。サンタクロース、トナカイ、クリスマスツリー、ケーキ、プレゼントなど、アイデアをふくらませ、箱の中と外を楽しく飾る。
	はこパカうま	色画用紙に切り込みをいれてはりあわせ、箱を作つたら、ひっくり返して干支の馬の飾りつけをする。馬の背中を指で押すと、指の動きにあわせてパカパカと走る馬の完成。
	ハコオニ	紙の帯を折つて四角い枠を作り、枠をオニの顔や身体に見立てて飾る。枠をゆらしたり、指で押したりすると、オニがユーモラスに動く。
	いれこビナ	大・中・小 3 枚の紙の帯それぞれに、お雛様やお内裏様の絵を描いて箱を作る。完成したら飾つて楽しむ。3 つの箱は重ねると 1 つの箱にしまうことができる。
その他	親子 DE でこぼこ版画	針金やワッシャーなど、凹凸のある素材を台紙に自由にはりつけた版を作る。厚手の紙とともにプレス機で「から刷り」をすると、版の凹凸模様が浮き上がるようになし出される。「おとうさんのあそび市」プログラム。

■■■ クリエイティブコーナー ■■■

名 称		内 容
箱と造形	そよかぜ屋さん	真ちゅう線を段ボール板に立て、花や葉などの飾りをつける。芯を取り除いたペン先に穴をあけ、反対側から空気を吹き込むと、飾りがそよよとゆれ動く。 (小 2 以上、1 時間)
	BOX シアター	色画用紙を四角い筒状にしたら、背景の絵を描いたスクリーンを取り付ける。ここに、たくさんの登場人物や動物などを描いた紙のフィルムを差し込んで動かすと、まるでお話し仕掛けのようなシアターが出来る。
	ゆらゆらアニマル	箱の内側に針金で作ったバネをつけ、台紙にはりつけたら、好きな動物の飾り付けをする。台紙を揺らしたり身体を指で弾いたりすると、ゆらゆらとユーモラスに動く動物の完成。 (小 2 以上、1 時間)

4階エリア

音楽



平成 25 年度の活動

音楽部門の活動は、音楽ロビーを一般活動、スタジオを講座・クラブの活動の場とする形を基本としている。音楽ロビーは、長年の実験的プログラム実施の積み重ねで、ユニークな〈音楽遊び〉が展開されるオープンスペースとして、〔子どもの城〕の中でも、なくてはならない遊び場となっている。手作りの楽器や民族楽器などをそろえ、いかに音楽の楽しさと共感する喜びを子どもたちに伝える事ができるかをコンセプトにプログラム開発を行い、環境整備に工夫をしてきた。

本年度の重点目標は、子どもたちがより能動的に〈音楽遊び〉を楽しめるように、プログラムへの参加性を高めた“子ども主役型のプログラム”と、音楽と季節行事をとおした“家族のコミュニケーション”的充実を掲げた。大きな変更として、音楽ロビーの平日オープン時間を、乳幼児むけプログラムの「ぽかぽか広場」と連携し、午前中に繰り上げた点があげられる。

平常期間の一般利用については、平日は1日1回の〈音楽遊び〉のプログラムを核として、ストリートオルガンの体験と童謡コンサート「うたってハッピー」を数回実施。〈音楽遊び〉のプログラムでは、特に親子のスキンシップが図れるオリジナルの歌遊びやダンス、そしてパネルシアターなどを行った。

日曜日・祝日には、11時30分から17時まで9本の催しを組み込んだ。ストリートオルガンの体験、童謡コンサート「うたってハッピー」、〈音楽遊び〉プログラム「みんなであそぼうウキウキおんがく広場」、そして世界の民族楽器が体験できる「めずらし楽器にチャレンジ」。管・弦楽器や打楽器などによる編成でリズミカルな楽曲を演奏する「OshiroBand 元気ライブ」は、子どもだけではなく、大人も充分に楽しめるレベルの高い演奏を心がけた。

特別期間の催しは特に来館者が多いこと、乳幼児に加え学童の来館も増えることを念頭においてプログラムを実施し、多人数・異年齢の来館者に幅広い音楽体験の場を提供している。講座・クラブは他では体験できない音楽活動を目指して邦楽・民族音楽系なども含む内容で運営している。

■■■ 音楽ロビーの活動から ■■■

【うたってハッピー】

音楽ロビー定番の人気プログラム。今年度から新たに平日の11:30の回を毎日実施した。これは同じフロアで実施されている乳幼児向けプログラムの「ぽかぽか広場」と連携する試みである。この時間は「ぽかぽか広場」利用者だけの参加になるので、3歳までの子どもと保護者に対象を絞り

込んだ構成とした。はやりの曲や誰もが知っているテレビの歌に加え、子どもたちに知っていて欲しい歌、子どもに歌ってあげて欲しい歌など、昔ながらの童謡や唱歌を季節や天気なども考慮して取り入れた。

この「うたってハッピー」においては、子育て中の母親に向けてのメッセージや、子どもたちの姿に小さい頃の自分を重ね合わせて共感できるような選曲が、特徴としてあげられる。一緒に口づさむ姿や、「思い出の歌だったので嬉しかった」などの感想の声、子どもを抱っこして聞き入る姿など、大人に向けた歌にも伝わるものがあったといえる。

【こどもバザール】

子どもたち自身が企画運営することを目的としたプログラム。「こどもの城児童合唱団」「混声合唱」のメンバーを中心に音楽ロビー、スタジオ、ギャラリー、ピロティなど館内各所を利用して、ゲームや手芸のお店を準備・運営した。

2日間のプログラムだが、ゲームのルールや必要な物品作り、景品、表示に至るまで熱心に時間をかけて準備した。「小さな子どもは前から、大きな子は後ろから」など、子どもならではの優しいルールを自分たちで考え、きちんと説明をし、並ぶ導線まで気配りをし、また、分かりにくいところは表示を書き足すなどスタッフ顔負けの姿であった。

来館者の大人にも、運営する子どもたちの真剣さが十分伝わり、そのことによって、子どもたちは信頼され、責任をもって自分の力で運営することの喜びを実感することができた。小さな子どもたちにとっては運営している上級生の子どもたちが頼もしい存在に映り、いつか自分もやったみたいと憧れを感じたのではないだろうか。

合唱団が夏季合宿で交流を持ってきた各地の児童館の指導者の方も遠方から駆けつけて参加され、郷土の遊びや工作を指導して頂いた。同様に交流のある金沢の児童館の子どもたちも来館し、合唱団と共にパフォーマンスを行った。

こどもバザール（音楽ロビー）



■■■ まとめ ■■■

音楽ロビーの利用者から聞き取りをした調査結果に基づいて、音楽ロビーの利用時間を11時から17時までとした。【こどもの城】の開館時間とは異なり音楽エリア独自の時間設定ではあるが、平日は1時間半早くなつた事で、多くの乳幼児連れの保護者に「子どもたちが活動的な時間に利用できる」と好評だった。

「うたってハッピー」や「みんなであそぼうウキウキ音楽広場」などのプログラムは子どもたちに向けたものだが、保護者も巻き込み楽しさを共有する事で、〈あそび〉や音楽の楽しさを伝え、またそれが家庭の中にも繋がっていく事をねらい、積極的に保護者へも働きかけた。「家でもあそんでみた」「子どもが気にいった歌と一緒に歌っている」などの声を聞くことができた。

「こどもバザール」では各地の児童館の職員との交流を図りながらのプログラム運営を実現することができた。共にプログラムを実施する事は、【こどもの城】のプログラムを直接感じてもらう良い機会であり、我々スタッフも各地の様子を知る貴重な機会となつた。

全国各地の指導者や子どもたちの交流の基点になり、プログラムを開発し、発信を図る事は国立唯一の総合児童センターの大切な機能であり、この役割に終わりが来る事は大変残念である。次年度は最終年度となるが、プログラムそのものに加え、そこに込められたねらいや、様々な手法、親子へのアプローチなどを〈動くこどもの城〉事業や派遣事業、全国の児童館からの研修や学生・生徒の職場体験などの機会を通じて、より多くの方に伝えたいと願つている。

多くのプログラムは机上プランではなく、〈あそび〉の現場から生まれ、進化する。何よりも、来館する子どもたちや親子の心に残るあそびと交流を大切にし、最終年度の活動を行いたい。

平成25年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
みんなであそぼう ウキウキ音楽広場	火・水・木曜日 14:00～14:30 土曜日 13:20～14:00 日曜日・祝日 14:00～14:30	スタッフ一人ひとりの個性を生かした手遊び、歌遊び、リズム遊びを中心とした豊富な内容に、パネルシアターやダンスなども加えた音楽ロビーの遊びを代表するプログラム。参加者の年齢に対する配慮や保護者の参加方法を工夫することで、よりバラエティーに富んだプログラムになった。(音楽ロビー)
うたってハッピー	火～金曜日(共通) 11:30～12:00 火曜日 15:00～15:30 水曜日 14:30～15:00 木曜日 15:00～15:30 金曜日 13:30～14:00 土曜日 11:30～12:00 15:00～15:30 日曜日・祝日 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45	バンド形式による弾き語り。レパートリーは童謡のほか、アニメのヒットソングなど。リクエストも多く、子どもたちが積極的にロビーの楽器を楽しめる。それぞれのスタッフが毎回工夫し、個性豊かな内容を展開することができた。(音楽ロビー)
ストリートオルガン やってみよう!	火～土曜日 16:00～16:30 日曜日・祝日 12:45～13:15 16:30～17:00	ロビー常設のオランダ式手回しオルガン。親子、兄弟、友だち同士などでペアになり、演奏を楽しんだ。(音楽ロビー)
みかんちゃんズの オバオバサンバ!	金曜日 14:30～15:00	女性ボランティア中心の活動。サンバのリズムに合わせて体を動かす「新聞ビリビリゲーム」というプログラムを取り組んだ。ボランティアの一人ひとりが、プログラムリーダーとしてのスキルや演奏技術の向上をはかり、活動を支えてくれている。(音楽ロビー)
ポコ・ア・ポコ 土曜音楽俱楽部	土曜日 15:40～	高学年向けの楽器体験コーナー。4・5月は「箏」、6・7月は「アンクルン」、9・10月は「アフリカンドラム」、11・12月は「トーンチャイム」、1・3月は「三味線」を取り上げた。どの楽器も、参加した子ども同士あるいはスタッフと合奏することで、みんなで演奏する楽しさを伝えられるようにした。毎週同じ楽器を続けることで、リピーターには個々の技術を向上させるおもしろさや達成感を味わってもらえるように工夫した。(音楽ロビー)
Oshiro Band 元気ライブ	日曜日・祝日 13:15～13:30 16:00～16:30	『クシコスポット』『トランペット吹きの休日』『トルコ行進曲』など、リズミカルな楽曲をマリンバ、ギター、トランペット、バイオリンなどで演奏。オリジナルアレンジで、スタッフのソロを入れ、来館児・者にアピール。子どもだけではなく、大人も一緒になって手作り楽器を演奏したり、手拍子をしたり、ロビー全体が一体となるライブになった。(音楽ロビー)
めずらし楽器に チャレンジ	土曜日 14:00～14:30 日曜日・祝日 14:30～15:00	世界各地の楽器を演奏し、紹介・体験する参加型のプログラム。世界のさまざまな楽器を演奏し、楽器の特徴をわかりやすく紹介。コンサート終了後は使用した本物の楽器をゆっくり体験してもらう。(音楽ロビー)
うたっておどって ハッピーたなばた	7.6 11:30～12:00 15:00～15:30 7.7 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45	星の飾りを身につけ、子どもたちがステージに上がって歌い、踊る場面を設けた「うたってハッピー！」のスペシャル版。フィナーレはオリジナルソング「きらきらたなばた」で歌い踊った。(音楽ロビー)

名 称	日 時	内 容
うたっておどって ハッピー・ハロウィーン	10.20・27 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45 10.26 11:30～12:00 15:00～15:30	子どもたちがステージに上がって歌い、踊る「うたっておどってハッピー」シリーズのハロウィーン版。来館児がだれでも身につけられる仮装用の衣装を用意。ロビー全体をパーティ会場のように演出。ステージに上がらなくても楽しめた。フィナーレはオリジナルソング『PAN PAN PUMPKIN』で歌い踊った。 (音楽ロビー)
うたっておどって ハッピーひなまつり	H26.3.1・2 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45	子どもたちがステージに上がって歌い踊る「うたっておどってハッピー」シリーズのひなまつり版。小さなマイクを持って、「女の子」をイメージさせる曲のほか、フィナーレはオリジナルソング『おひなまつり おはなまつり』で歌い踊った。 (音楽ロビー)
ドキドキッズ オンステージ	H26.3.9、16 13:30～14:00	音楽部門講座・クラブ発表会をかねる、一般来館児・者向けのコンサート。 □花のお江戸の助六太鼓（和太鼓グループ）=3月9日／13時30分／音楽ロビー □集まれ！サンバ・フェスティバル！（レッツ・プレイ・サンバ）=3月16日／13時30分／音楽ロビー

■ ■ ■ 特別期間 ■ ■ ■

名 称	日 時	内 容
〈児童福祉週間〉 めずらし楽器に チャレンジ	4.27～29、5.3・4 14:15～14:55 5.5・6 14:45～15:25	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 うたってハッピー！	4.27・28 11:30～12:00 15:00～15:30 4.29、5.3・4 11:30～12:00 15:30～16:00 5.5・6 11:30～12:00 14:15～14:45	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 ストリートオルガン やってみよう！	4.27～29、5.3～6 12:45～13:15 16:30～17:00	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 Oshiro Band 元気ライブ！	4.27・28 13:15～13:30 16:15～16:30 4.29、5.3・4 13:15～13:30 15:00～15:15 16:15～16:30	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 おはなしおんがく オンパレード	4.27・28 13:30～14:10 15:30～16:10	パネルシアター『べにとロク』と大型紙芝居『わがままお姫様の冒険』を日替わりで上演。どちらもオリジナルの作品。見るだけでなく、声を出したり、歌ったり、踊ったりして子どもたちが参加しながら進行した。 (音楽ロビー)
〈〃〉 みんなでダンス！ ノッちゃって！ おどっちゃって！	4.29、5.3・4 13:30～14:10 15:15～15:55	「こどもの日」にちなんで、子どもたちによりスポットが当たるように工夫したダンスプログラム。体全体を使ったまねっこ遊びのウォーミングアップから始め、ゲームに発展させる。それらの動きが次第に組み合わさり、知らず知らずのうちにダンスになるという進行。最後は年齢ごとにステージにあがり、【こどもの城】オリジナルソングにあわせて披露する。 (音楽ロビー)
〈〃〉 ガドガドスーパーライブ！ おんがくであそぼう！	5.5・6 13:15、15:30	【こどもの城】から生まれた6人編成のバンドの公演。劇場公演と違い、子どもたちそれぞれが音楽ロビーにある楽器を持って参加。リズム遊び、手遊び、ダンス、民族楽器紹介、ジャグリングなど多彩な内容を展開。 (音楽ロビー)
〈夏休み〉 ストリートオルガン やってみよう！	7.20～9.1 12:45～13:15 16:30～17:00	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)

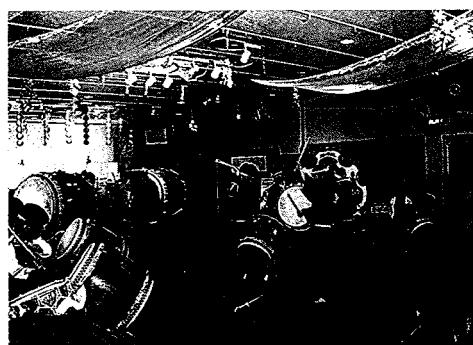
名 称	日 時	内 容
〈夏休み〉 夏のございっしょ ライブ!	7.20～8.20 11:30～12:00 15:00～15:30 (8.13, 16は11:30のみ) 8.21～8.30 11:30～12:00 14:30～15:00	バンド形式による弾き語り。夏らしい元気なレパートリーで実施した。 (音楽ロビー)
〈〃〉 Oshiro Band 元気ライブ ときめき楽器 ミニライブ	7.20～9.2 13:15～13:30 16:00～16:30	人気のある楽器の演奏プログラム。長い夏休み期間を通して実施するために、2種類のパターンで行った。土・日曜日は平常期間と同じ「Oshiro Band 元気ライブ」。マリンバ、ギター、バイオリン、ドラム、ベースなど大人数の編成で演奏。平日はピアノとバイオリン、マリンバなど小編成で演奏する「ときめき楽器ミニライブ」。参加者に合わせた選曲やリクエストにも応える柔軟な構成で実施した。 (音楽ロビー)
〈〃〉 みんなであそぼう! どれみふぁプレミアム	7.20～31 13:30～14:15	歌遊び、リズム遊び、パネルシアター、ダンスとバラエティに富んだ内容で実施。スタッフによる日替わりプログラム。 (音楽ロビー)
〈〃〉 めずらし楽器に チャレンジ!	7.20～8.20 14:15～15:00 8.31～9.1 14:30～15:15	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 みんなでおどろう! BON ダンス	8.1～11 13:30～14:10	季節の風物詩を感じる、世代を超えて楽しめるという点がぴったりの盆踊りのプログラム。スタッフによる和太鼓のデモンストレーション演奏、オリジナルの音頭にコント風のブレイクタイム、3年目であることから来館児・者にも定着し安定したプログラム運営ができた。 (音楽ロビー)
〈〃〉 あそんでおどって かがやけ! オリンピック	8.12～20 13:30～14:15	オリンピックにちなんで、スポーツの動きを多く取り入れたプログラム。幼児の利用が多い音楽ロビーだが、小学生も楽しめるプログラムをめざした。オリジナルの準備運動から始まり、「金銀銅」のメダリストをめざし行進や音当てクイズにも挑戦する。最後は特設ステージに上がり、マラソンやバレーボール、サッカーなどの動きを取り入れたオリジナルのダンスを踊りグランドフィナーレをむかえた。 (音楽ロビー)
〈〃〉 めずらし楽器にチャ レンジスペシャル!	8.21～8.30 13:30～14:15 15:00～15:45	平常期間と同じく、世界の民族楽器を紹介するコンサート。2回内容を変えてより多くの楽器や音楽を紹介した。2回目は「オリジナル楽器ガイド」を、参加者にプレゼントした。 (音楽ロビー)
〈〃〉 うたってハッピー	8.31～9.1 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 おとうさんもあそぼう ウキウキ音楽広場	8.31～9.1 14:00～14:30	全館で行われた「おとうさんのあそび市」のプログラムの一つとして行った。おとうさんが参加しやすい雰囲気と内容で構成した。おかあさんとの参加も歓迎し、家族揃っての楽しい遊びの時間を提供した。(音楽ロビー)
〈冬休み〉 うたってハッピー	12.21・22、25～28 13:15～13:30 16:00～16:30 12.23 16:00～16:30 H26.1.4～7 13:00～13:15 16:00～16:30	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈〃〉 Oshiro Band 元気ライブ	12.25 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45 12.26～28 11:30～12:00 14:30～15:00 H26.1.4～7 11:30～12:00	平常期間と同じ。 12.25は「うたってハッピークリスマススペシャル」と題して、クリスマスにちなんだ曲を特集した。 (音楽ロビー)

名 称	日 時	内 容
〈冬休み〉 うたっておどって ハッピークリスマス	12.21・22 11:30～12:00 13:30～14:00 15:15～15:45 12.23 11:30～12:00 14:15～14:45	子どもたちがステージに上がって歌い、踊る「うたっておどてハッピー」シリーズのクリスマス版。子どもたちはサンタ帽の飾りをつけ、歌い踊った。クリスマスソングのほか、オリジナルソング『HAPPY MERRY CHRISTMAS』で大フィナーレ。ハロウィーン同様、クリスマスの衣装やグッズを用意し、音楽ロビー全体をクリスマスパーティ会場のように演出した。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 モーモーずの ようこそクリスマス	12.23 13:15～14:00 15:00～15:45	毎年恒例になった牛に扮する2人組が繰り広げるクリスマスコンサート。昨年まではBスタジオで実施していたが、今年度は音楽ロビーで実施。大勢の家族でぎわった。歌あり、あそびあり。大きなスクリーンで見るおはなしは「サンタクロースもクリスマス」を上演。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 ウキウキ音楽広場 クリスマススペシャル	12.25 14:00～14:30	平常期間に実施している「みんなであそぼうウキウキ音楽広場」の特別版。クリスマス当日であり、手遊び、パネルシアター、ダンスまで全てクリスマスを題材にしたもので構成。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 ストリートオルガン やってみよう！	12.21～23、25～28 12:45～13:15 16:30～17:00 H26.1.4～7 12:30～13:00 16:30～17:00	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 めずらし楽器に チャレンジ	12.21・22・25 14:30～15:10 12.26～28 13:30～14:10 15:00～15:40	平常期間と同様、世界の楽器を紹介し、体験してもらうコンサート。12月26～28日はスペシャルで2回実施し、より多くの楽器を紹介した。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 あそんでおどって かがやけ！ オリンピック	H26.1.4～7 14:100～14:45	冬季オリンピック開催にちなんで夏の「オリンピック」を冬バージョンにアレンジした。最後は特設ステージにあがりスキー、スノーボード、フィギュアスケート、カーリングなどの動きを取り入れたオリジナルのダンスを踊り、グランドフィナーレをむかえた。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 うたってファミリー	1.4～7 13:15～14:00 15:00～15:45	家族でエントリーし、生バンドの演奏にあわせてステージで歌を披露。1回に7組の家族がエントリー。子ども用のカラフルなマイクに加え、ティアラや帽子、リボンなどの仮装グッズも用意した。60組の親子が熱唱。最後は希望者全員によるステージでのフィナーレで盛り上がった。 (音楽ロビー)
〈春休み〉 みんなであそぼう！ どれみふあプレミアム	3.21～23、4.1～6 13:30～14:00	夏休み期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 みんなでハジけて ペベンのベン！	3.25～30 13:30～14:10	手作りの弦楽器“ペベン”を使った音楽表現遊び。「天井に現れた光の“種”が、芽を出し、茎を伸ばし、最後に花が咲く…」というストーリーにあわせて、子どもたちが自分の“ペベン”を鳴らしたり、ポーズを決めながら、光の種が成長する驚きや喜びを表現し楽しむプログラム。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 うたってハッピー！	3.21～23、25～30、 4.1～6 11:30～12:00 14:15～14:45	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 ストリートオルガン やってみよう！	〃 12:45～13:15 16:30～17:00	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 Oshiro Band 元気ライブ	〃 13:15～13:30 15:45～16:00	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)
〈 〃 〉 めずらし楽器に チャレンジ	〃 14:45～15:15	平常期間と同じ。 (音楽ロビー)

□□□ 講座・クラブなど □□□

■■■ 講座 ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
みんなで楽しいリトミック I	(組) 3歳児と親 (20)	(組) ① 9 ② 12 ③ 12	水曜日 14:30～15:30 (全32回)	発達段階に即したリズム遊び、歌遊び、簡単な造形活動をとおしてコミュニケーションをはかり、音楽を楽しむ心と豊かな感受性を養う。受講料=1期22,000円、2期24,000円、3期18,000円。
" II	4歳児と親 (20)	① 6 ② 8 ③ 5	水曜日 15:15～16:15 (全32回)	I(初級)でつちかった、感性や音に対する感受性を引き続き伸ばすよう心がけ、成長に合わせながら、個性豊かな発達をうながす。受講料=1期22,000円、2期24,000円、3期18,000円。
" III	5歳児と親 (20)	① 16 ② 15 ③ 15	水曜日 16:15～17:15 (全32回)	就学を控えるころになると、子どもたち同士の接触の機会が多くなる。ここでは音楽を楽しみながら、次へのステップアップをめざす。受講料=1期22,000円、2期24,000円、3期18,000円。
おんがく大好き ミュージック・パーク ～ダウン症児のための 楽しいリトミック I	ダウン症の 2歳6か月 ～6歳児と 親 (10)	① 4 ② 4 ③ 4	木曜日 15:00～16:15 (全29回)	ダウン症児とその保護者を対象としたクラス。音楽を使って、無理なく楽しみながら療育の手助けをすることをめざす。また音楽での保護者の心身開放も目的の一つとして活動を行っている。受講料=1期20,000円、2期20,000円、3期18,000円。
" II	I修了の小 1～6 (10)	① 16 ② 16 ③ 16	木曜日 16:30～17:45 (全29回)	Iのステップを修了した小学生が対象。活動をとおし、親からの自立、表現能力、運動能力の発達を、音楽を楽しく学びながらうながす。受講料=1期20,000円、2期20,000円、3期18,000円。
和太鼓グループ	小3～高3 (12)	① 7 ② 7 ③ 8	土曜日 14:00～15:30 (全32回)	湯島に伝わる「助六太鼓」のコース。大太鼓、中太鼓、締め太鼓の3種の太鼓を使って演奏する組み太鼓。口唱歌で指導している。受講料=1期23,100円、2期25,200円、3期18,900円。
レッツ・プレイ・ サンバ	小3～高3 (10)	① 17 ② 16 ③ 15	土曜日 15:30～17:00 (全15回)	本格的な子ども向けのサンバクラス。さまざまな打楽器を使って仲間と一緒に演奏する楽しさを感じてもらう。高度で力強い演奏を展開。受講料=各期10,500円。
合唱講座	小1～4 (30)	① 21 ② 26 ③ 25	土曜日 14:00～15:30 (全32回)	遊ぶことをとおして、体全体で音楽を表現するユニークな合唱活動。修了後は、「児童合唱団I、II」へ。受講料=1期22,000円、2期24,000円、3期18,000円。
こどもの城 児童合唱団 I	小2～3 (合唱講座 修了者40)	① 48 ② 46 ③ 45	土曜日 15:30～17:30 (全32回)	音楽をとおし、協調性・創造性・幅広い知的好奇心を養い、豊かな音楽性を育てる目的としている。合唱活動だけでなく、野外活動、シンセサイザーやリズム楽器による合奏なども体験。総合的にプログラムを展開。受講料=1期22,000円、2期24,000円、3期18,000円。
" II	小4～中3 (合唱講座 修了者80)	① 105 ② 100 ③ 99	土曜日 17:00～19:00 (全32回)	
混声合唱 ～こどもに聞かせる おとなのコーラス～	高校生以上 (40)	① 107 ② 107 ③ 108	土曜日 19:30～21:00 (全32回)	子どもたちに、豊かな音楽や表現のすばらしさを伝えることをめざし、合唱を楽しんでいる。メンバーは高校生から社会人と幅広く、コンサートや合宿などのときは、「こどもの城児童合唱団」と活動をともにしている。受講料=1期22,000円、2期24,000円、3期18,000円。



和太鼓グループ



レッツ・プレイ・サンバ

■ ■ ■ 講習会 ■ ■ ■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
おんがく星みつけた ～就園前の リトミック～	2歳児と親 (組) (20)	① 20 ② 23 ③ 22	木曜日 10:30～11:30 (1・2期10回、 3期9回)	就園前の幼児と保護者が対象で、リズム遊びを中心に、造形活動や身体表現なども取り入れた活動を行っている。親子でスキンシップをしながら、楽しく音楽と遊べることをめざす。受講料＝1・2期 20,000 円、3期 18,000 円。

□ □ □ その他 □ □ □

名 称	日 時	内 容
こどもバザール	5.25・26	自分たちで考えたゲームコーナーや手芸体験などの準備・運営を児童合唱団の子どもたちが行った。他にも交流のある各地児童館のコーナーや催し物、落語やダンスのワークショップ、バザーも実施した。 参加団体：子どもの城児童合唱団・混声合唱団・合唱団サポートーズクラブ、石川県金沢市児童館厚生委員会、金沢市立三和児童館、金沢市立新神田児童館バントワーリングクラブ、石川県輪島市児童センター、新潟県立こども自然王国、広島県大竹社会福祉協議会、青森県蓬田村、青森県青森市社会福祉協議会（1階ピロティー、1階ギャラリー、4階音楽ロビー、Aスタジオ・Bスタジオ）
子どもの城児童合唱団 夏季合宿（青森県）	8.2～6	29回目となる夏季合宿は青森県蓬田村で行われた。現地の小学校や児童館、ふるさと総合センターでの交流コンサートの他に、日本三大祭の一つとも言われる「ねぶた祭り」にも2日間参加し、「ラッセーラー」のかけ声とともに青森市内を跳ねた。青森の雄大な自然と人々との温かさに触れ、参加した全員が一回り大きくなつたと感じる5日間であった。
こどもたちからの サウンドメッセージ	H26.2.8・9	合唱講座、合唱団Ⅰ・Ⅱ、混声合唱が出演する「Believe Tomorrow」と、みんなでたのしいリトミックⅠ・Ⅱ・Ⅲ、おんがく大好きミュージックパーク、合唱講座、合唱団Ⅰ・Ⅱ、混声合唱が出演する「笑顔がいっぱい」の2公演。全5回を青山円形劇場で実施。今年の発表会は特別な思いを胸に歌った。毎年、合唱団と一緒に輝いてくれた円形劇場に感謝を込めて「明日を信じて前へ進もう」をテーマに、オリジナル曲や朗読劇『おにたの帽子』などを披露した。初の試みとして保護者から希望者を募り『子どもの城のうた』『素晴らしい出会い』をいっしょに歌った。記録的な大雪の中でのコンサートだつが、多くの方にご来場いただき感謝している。（青山円形劇場）



「子どもの城児童合唱団」夏期合宿



こどもたちからのサウンド・メッセージ（青山円形劇場）

4階エリア

映像科学



平成 25 年度の活動

本年度の組織改編に伴い、映像科学部門のスタッフは大幅に減員となった。そのため活動場所をビデオライブラリーに集約し、まずビデオライブラリーの安定的な運営を基本として、そこに小学生ラボなどのプログラムを付け加える形で事業を運営した。

ビデオライブラリーの運用面では、《映像によって知らない世界を知りさまざまな体験をしてもらおう》というビデオライブラリー本来の役割を再確認する一年になった。他にはない“ビデオの図書館”的存在を、初めての来館児・者にも分かりやすくするため、館内や入口付近にポスターを掲示し、改めて利用促進のアピールをした。ビデオライブラリーには、利用方法を大きく表示し、また、パッケージの陳列棚は幼児から順に対象年齢が上がっていく配置に変え、選びやすくした。

子どもたちの知る世界を広げようと、季節や時世、話題の映画に関連したものなどを選んで“おすすめ作品”としてソフトのパッケージを目につきやすい所に配置したり、普段見ないものを見てもらおうと、なかなか選ばれない名作や面白い作品のパッケージに吹き出しのコメントを付けて紹介した。また隠れた名作のパッケージを新たに制作することにも力を入れた。見て気に入った作品を子どもたち自身でおすすめする「みんなのおすすめコーナー」の設置や、見終えて感想を書くとスタンプがもらえる「スタンプカード」の充実も図るなど、ビデオライブラリーが、子どもたちにとってより身近になり、繰り返しの利用が増えるよう試みた。

ビデオライブラリーの機材の面でも工夫を凝らして効率的な運用を試みた。これまで機材トラブルについてはその症状を申し送りの日誌に記録する程度であった。ビデオライブラリーは40数台の端末PCと、そこに接続された映像機器によって運用される大きなシステムであるため、表面的な不具合を断片的に記録してもトラブルの原因をつかめないことが多くあった。そこで本年度は各端末の周辺機器毎に不具合の詳細を記録し、機材トラブルの原因を突き止めることに注力した。これにより不具合原因となる機材を特定し効率的なメンテナンスを行うことができた。

ビデオライブラリーの視聴活動以外では、「小学生ラボ」を中心に、映像や科学をテーマとしたプログラムを実施。平日は視覚玩具の展示コーナーとパソコンで数枚の静止画像をデータとして取り込み、繰り返しアニメにして表示するオリジナルプログラム「ハイ！ポーズアニメ」を実施した。自分の姿がテレビに映ることが幼児に人気で、平日のビデオライブラリーで楽しめている。

映像科学部門として、次年度の閉館までビデオライブラリーの運営が、トラブルが少なく安定したものになるように心がけていきたい。

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
ビデオライブラリー 自由利用	開館時間中	幅広いジャンルのビデオソフト 22,000 タイトル以上を所蔵するビデオの図書館。 (ビデオライブラリー)
ハイ！ポーズアニメ と視覚玩具の展示	火～金曜日 開館時間中	ビデオライブラリーの一角に設置したアニメーションの体験コーナー。自分の姿を写して 3 コマアニメをつくる「ハイ！ポーズアニメ」のコーナーと視覚玩具ヘリオシネグラフ、プラクシノスコープ、アナモルフォシス画、3D スコープを展示 (ビデオライブラリー)
小学生ラボ	月に 2 日程度、日曜を中心 に実施 13:00～16:00	小学生～高校生を対象とした、身近な不思議を体験するプログラム。詳細別表。 (ビデオライブラリー)
逆転時間 ワークショップ	7.7 ① 10:00～12:00 ② 13:00～15:00	青山学院大学のワークショップデザイナー養成講座との協力企画。デジタルカメラで撮影した動画を逆再生することで、通常とは異なる不思議な映像作品を作るワークショップを実施した。 (会議室ほか)
小学生ラボスペシャル 「TOYOTA 科学のびっくり 箱！なぜなにレクチャー」	12.1 13:00～15:00	トヨタ自動車(株)の社会貢献活動「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」シリーズから新規プログラム「お魚ロボット」を実施。事前募集、定員 20 人。参加者 22 人。参加費無料、要割引（100 円）入館券。 (B スタジオ)

■■■ 特別期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈春休み〉 アニメフェスタ 2013	4.4～7 11:00～17:00 ※ 4.7 は 16:00 まで	アニメの撮影体験コーナー。切り紙で作った魚のキャラクターを撮影するコーナー、ビーズを撮影するコーナー、人形アニメの骨格＝アーマチュアを撮影するコーナーの 3 種類を設置。幼児から楽しめるコーナーとして 2 枚の繰り返しアニメを楽しむ視覚玩具の工作コーナー「くるくるアニメ」も行った。くるくるアニメはオリジナルアプリでの撮影も行った。(ビデオライブラリー)
〈児童福祉週間〉 小学生ラボスペシャル 円盤アニメを作ろう	5.3～6 13:00～17:00	視覚玩具「驚き盤」のイラストのみを描いてみるコーナー。驚き盤撮影用のオリジナルアプリを使ってテレビ画面上で驚き盤の動きを楽しんだ。 (ビデオライブラリー)
〈夏休み〉 小学生ラボ夏休みスペシャル 1 直線型計算尺をつくろう	8.7～9 13:00～16:00	計算尺とは対数メモリをふった 2 つの定規をスライドさせて乗算除算を行う道具。この計算尺の 5 インチ尺を再現した型紙を制作。紙工作で計算尺を作り、かけ算わり算を楽しんだ。 (ビデオライブラリー)
小学生ラボ夏休みスペシャル 2 円盤アニメ 20	8.22～25 13:00～16:00	12 コマの驚き盤を 20 コマにサイズアップ。驚き盤としては完成させず、円盤に絵を描いてオリジナルのアプリで撮影をしてテレビ画面で動きを楽しんだ。アプリはこのプログラム用に 20 コマ驚き盤の撮影モードを追加した。 (新規プログラム) (ビデオライブラリー)
小学生ラボ夏休みスペシャル 3 アスキーアートにチャレンジ	8.29～9.1 13:00～16:00	パソコンなどで表示することのできる、ASCII 文字を使った顔文字づくりを楽しんだ。文字を貼ったカードを並べてオリジナルの顔文字を考え、その顔文字にあったコメントを書き加えたカードを作った。(ビデオライブラリー)
〈冬休み〉 小学生ラボ冬休みスペシャル 1 フィルムに絵を描こう ダイ レクトペイントにチャレンジ	12.22・23・25 13:00～16:00	この回のダイレクトペインティングでは透明なフィルムを使わず、ピエロがパントマイムをする白黒映画フィルムを使用。泳ぐパントマイムをするピエロの映像の余白部分に魚などを描き加えるなど、実写映像に絵を描き足して映画を完成させた。 (ビデオライブラリー)
小学生ラボ冬休みスペシャル 2 驚き盤ミニ	H26.1.4・5 13:00～16:00	3、4、6、8 コマの驚き盤を制作。驚き盤撮影アプリに 3、4、6、8 コマの驚き盤の撮影モードを追加して完成品をテレビに映して楽しんだ。(ビデオライブラリー)
小学生ラボ冬休みスペシャル 3 ゾートロープ	1.6・7 13:00～16:00	視覚玩具「ゾートロープ」の工作を実施。ゾートロープの工作行程の説明ビデオを制作し、会場で繰り返し上映しながら制作を行った。工作上の細かなニュアンスが伝わりやすく、子ども達の工作がスムーズに進んだ。(ビデオライブラリー)

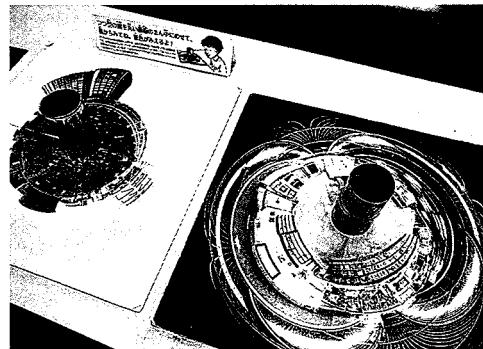
□□□ 講座・クラブなど □□□

■ ■ ■ 短期講習会 ■ ■ ■

名 称	対象・定員	受講料	日 時	内 容
夏休みごども映像研究室	手作り映像おもちゃ ヘリオシネグラフ	(人) 小1～高3 (各回5)	(人) 計 24 7.24～27 10:15～11:45	スリットのあいた円盤ごしに動画の描かれた円盤をのぞくと、絵が動いて見える視覚がん具を制作。動画を描くのが苦手な人向けに、塗り絵用紙も多数用意。受講料＝2,000円。 (Bスタジオ)
	手作り映像おもちゃ プラクシノスコープ	小1～高3 (各回5)	計 24 7.30、8.1～3 10:15～11:45	映画が発明される前にあった視覚がん具のプラクシノスコープを制作。帯状の紙に動画を描き、その絵を多面体の鏡に映して絵を動かしてみる。受講料＝2,400円。 (Bスタジオ)

その他

名 称	日 時	内 容
館内活動の記録	通年	体育部門の「母と子のすぐすぐランド」(Part1～3)など、講座の内容をソフト化して参加者に販売。
事業記録映像保存		過去に記録してきた〔子どもの城〕の事業記録映像のデジタル映像化を行った。今年度は1インチVTRで記録した劇場の公演映像を中心に、劇場事業本部が厳選した10タイトルをMPEG2へ変換を行った。
映像科学ブログ	通年	〔子どもの城〕の映像遊びのプログラムを「映像科学ブログ」というブログ形式でインターネット上に公開。今年度は80件以上の記事を投稿。



提賞玩具「アナモルフォシス」の展示



視覚玩具「プラクシノスコープ」などの展示



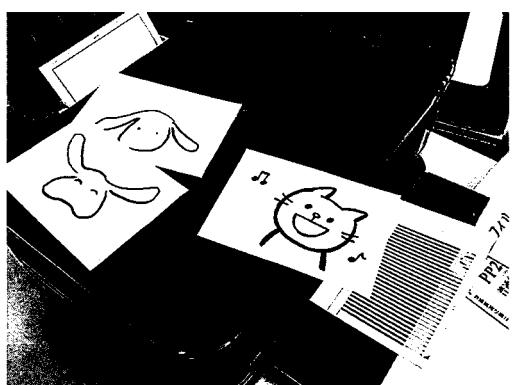
ブログによるプログラムや参加者の作品紹介

□□□ プログラム一覧 □□□

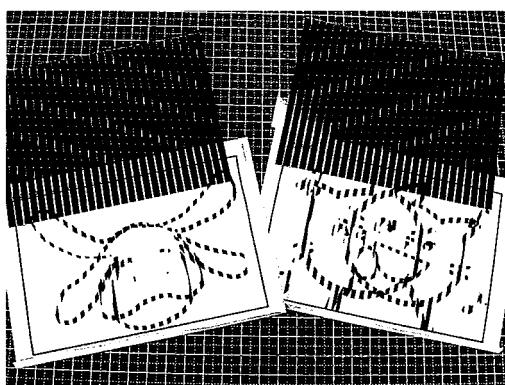
■■■ 小学生ラボ ■■■

13:00~16:00 / ビデオライブラリー

名 称	日 時	内 容
ゾートロープを作ろう	4.14・21	視覚玩具「ゾートロープ」の工作。回転する円筒形のドラムにあいたスリットから中の絵をのぞくと絵が動いて見える。
3面ソーマトロープ	5.12・19	円盤の表と裏の絵が合成されて見えるソーマトロープ。そこにもう1面加えて3つの絵が合成されるソーマトロープを制作。
ピンホールカメラをつくろう	6.23・30	針穴を通った光がスクリーンに像を写すピンホールカメラを制作。紙で筒状のパーツを2個つくり、ズーム式のピンホールカメラを作った。
オンプロチネマ	7.14・15	2枚の絵を格子状にスライスして一つおきに並べ、これを格子状のマスクをかさねてスライドさせると絵が動いて見えるという視覚玩具。2枚の絵を格子状に並べ直す行程をインクジェットプリンタの重ね刷りで行い、作業の簡略化を試みた。（新規プログラム）
フィルムに絵を描こう ダイレクトペイントにチャレンジ！	9.22・23	透明な35ミリ映画フィルムにフィルム用のマーカーを使って直接絵を描いて、アニメーション作りを楽しんだ。
フィルムに絵を描こう シネカリアニメにチャレンジ！	10.20・27	黒みの35ミリ映画フィルムを針等で引っ掻いてエマレジョンを剥がして絵を描きアニメーションを作った。
ぱらばらマンガをつくろう！	11.23・24	15から20コマの絵を描いてぱらばらまんがを製作。イラストの描き込まれた用紙も用意し、絵の苦手な子も気軽に楽しめるよう工夫した。
音を描こう	H26.1.19・26	映画フィルムの光学音声装置の仕組みを使って音を鳴らすプログラム。透明なOHPシートに描いた模様を、太陽電池で作った光学音声の再生装置にかけて音を鳴らした。
マジックランタン	2.9・11	透明なシートに絵を描いて幻灯機で映写しました。2台の幻灯機を積み重ねたような機械で2枚の種板を交互に映写して動きのある幻灯を楽しんだ。
ライトパノラマ	3.9・16	屋間の風景の写真に夜になると光りそうなところに針等を使って穴をあけ、専用の箱に入れて擬似的な夜景を作り楽しんだ。



オンプロチネマ①
2枚の絵を描いて格子状のマスクを重ねてコピー



オンプロチネマ②
専用の格子状マスクを重ねてスライドさせると絵が動く

保育



平成 25 年度の活動

保育部門では家庭の中での子どもとの生活をより豊かにするための〈子育て支援プログラム〉を実施している。一人ひとりの育ちに細かく対応することを重視した「保育」プログラム、親子同士の交流や子育てを楽しむ「家族」プログラム、子育てについての情報を伝える「情報提供」プログラムの3つを活動の柱とした。これらはいずれも保育事業である「保育クラブ」や週4日保育の「幼児グループ」において実施した。

実際の保育の場では、核となる「幼児グループ」の集団に曜日ごとの「保育クラブ」の3歳児が加わった〈3～5歳児保育〉と、「保育クラブ」の〈2歳児保育〉を行った。これらの活動は、各家庭により保育利用回数や利用理由の違いが多くあること、また週4日参加の「幼児グループ」であっても個人差が大きかったことから保育の原点に立ち返り、本年度の方針として、保育内容を見直し、「〈食〉から〈活動〉へ」「〈活動〉から〈食〉へ」と双方を大切にした保育を行った。生活の中での子どもたちの“心と体の安定感”と“集中力”は、この好循環から育っていることを再認識できた年度だった。

■■■ 保育事業（おやこクラブ） ■■■

講座「おやこクラブ」では1歳児が保護者と一緒にさまざまな親子遊びを体験した。1期3ヶ月単位の講座だが継続受講する家族が多く、結果的に1年間通して参加する家族が多かった。

「おやこクラブ」は平成22年度より4年間実施し本年度をもって終了したが、平成6年度より21年度まで16年間実施した「親子教室」と比べ応募理由の変化を感じられた。「親子教室」では母親同士の交流が主な希望理由であったのに対し、「おやこクラブ」では、親子で共に遊びを体験したいという応募理由が増えてきた。これは、共働き家庭が増え、乳幼児の頃におもに家庭で育つ子どもから、保育施設で育つ子どもの増加に合わせて、母親を中心とした家族と子どもが過ごす時間の減少が影響していると考えられる。「親子教室」時代は、家庭でできていた親子遊びの内容が、共働き家庭が多くなり家庭ではできなくなっている面が見られた。また物理的に子どもを見つめる時間が少なくなっている様子が伺われた。これから家族支援は、家族育児を時間の面でのサポートと同時に、子どもの成長を理解し対応できる質の面での育児力の向上を支援する割合が、ますます大きくなると事業の終了にあたって強く思う。

■■■ 保育事業（保育クラブ） ■■■

「保育クラブ」の事業は例年通りの形態で実施した。会員数は 324 人。会員制の保育プログラム（週 1～2 回の定期利用保育、フリー利用保育など）を行った。本年度の 2 歳児保育は、1 日 14 人の定期保育とフリー利用保育の子どもが 2 人で合計 16 人の毎日違う顔ぶれの子どもが集まった。

2 歳児の定期利用保育の応募理由は、例年通り 3 歳児保育入園前の集団経験を希望する人が多かった。「保育クラブ」の定期保育利用児の中には複数日を希望する利用児が多い。本年度から 2 日利用児保育を開始したが、週 1 日・2 日定期保育利用児とフリー（不定期）保育利用児の混合保育は、子どもの経験の差が大きく出て個々への支援が複雑になっていった。さまざまな経験差を持つ子どもの一時保育の難しさが強く現れた。

3 歳児の定期利用保育の応募理由にも、個別性が明確に現れた。幼稚園（2 年保育）前の 1 年間を、週 1 回～3 回の定期保育に加えフリー保育を組み合わせ、家庭の都合に合わせた保育日数を希望する家庭、インターナショナルスクール入園前に日本語や日本の文化・行事に触れたいという理由で利用する家庭、身体上配慮が必要な子どもで目が行き届きやすい保育を希望する家庭、幼稚園受験前の集団保育経験を希望する家庭など、保育利用理由がさまざまだった。従って保護者や子どもと細やかにコミュニケーションを取りながら保育を進めた。

定期保育利用児とフリー保育利用児が一緒に活動（保育クラブ）



■■■ 保育事業（幼児グループ） ■■■

「幼児グループ」（4・5 歳児）は 1 年後の【子どもの城】閉館もあり、4 歳児 5 人、5 歳児 6 人の小集団となった。本年度は子どもの体力差が気になったことから、「体力づくりが活動の好循環を生む」ことを意識し、「日常の良い生活習慣づくり」と【子どもの城】の施設と人材を生かしたテーマ活動に取り組んだ。その活動例のひとつに、体育指導員や保育士指導のもと、体育館やプールを利用して、水泳をはじめ、リレー・ダンス、ドッジボールなど、健康的な身体づくりのための〈運動遊び〉を多く取り入れた。

また管理栄養士が作成した献立の指導によって食事（給食）の量・メニュー・栄養バランスなどにも細かく対応し、全体として“運動”と“栄養”にポイントを置いた健康的な発育に力を入れた。



体育室で体力づくり（幼児グループ）

■■■ 研修事業 ■■■

開館 3 年目より「保育」をテーマにした各種の研修会を継続して実施し、また平成 4 年度からは【子どもの城】からの情報発信として「ニュースレター」の発行を行ってきた。「ニュースレター」は最終年度まで発行するものの、研修会開催は本年度で終了とした。

ここ 3 年間は実技研修会 2 コースを実施した。参加者は初任の幼児教育・保育担当者から子育て支援関連事業担当者まで、幅広い受講者が保育内容の研修や子育て支援のプログラムの組み立て方について学んだが、「幼児グループ」で行ったプログラムや家族プログラムの実例体験は特に好評を得た。

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
親子遠足	5.11 10.27	「保育クラブ」2～5歳児の家族プログラム。家族同士の交流をはかることがねらい。春は代々木公園で、家族のコミュニケーションゲームや、家族対抗のコミュニケーションゲームを予定していたが、雨天のため中止した。秋は、同じ公園でウォークランナーを実施、また親子での散策を楽しんだ。32組・155人が参加。 (代々木公園)
保育活動展	H26.2.1～17	「幼児グループ」を中心に「保育クラブ」の2～5歳児の保育活動をさまざまな絵や協同制作、個人制作、写真などで紹介した。本年度の「幼児グループ」は、「道をつくろう」「しんせんやさい おいしいやさい みんなやさい」「まあるいランプ」「等身大の自分／自分の顔」「CDこま」、3歳児は「くだもの木」「自分の顔」、「保育クラブ」2歳児は、劇ごっこ「てぶくろのおうち」「野菜スタンプ」「親子制作／どうぶつの帽子」を展示。また本年度は、会員から募集した「我が家のかレーレシピ」と、給食の人気メニューもあわせて展示し、「食」と「活動」の両方を大切にした保育内容を紹介した。 (ギャラリー)
0・1・2歳の ぽかぽか広場	土・日曜日、祝日 10:00～17:00	0・1・2歳のためのおもちゃや絵本を用意して、〔子どもの城〕に来館する低年齢児親子が遊べる場。こどもの城ボランティアが定期的に絵本の読み語りを行っている。 (保育室 2)

■■■ 特別期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈夏休み〉 つくって遊ぼう親子 工房	8.17・18 10:30～12:00 13:30～15:00 15:30～17:00	カラフルな帯状の画用紙を数本組み合わせて、海の生き物を親子で自由に制作した。2日間で保護者 49人、子ども 41人が参加。 (保育室 1)
〈 〃 〉 小中高生 保育体験プログラム	7.22～8.30 10:00～14:00 14:00～16:00	「幼児グループ」修了児の小学 5 年生～高校 3 年生に声をかけ、夏休み特別期間の保育中に幼児とふれあう機会を提供した。幼児の表情や言葉、行動から相手の気持ちを読み取ることや、自分の子どもころのことを思い出し、子どもたちの見本となるように自覚を促すなどの配慮をしながら保育体験をした。参加者は 22 人、延べ人数は 43 人。 (保育室 1・2 ほか)
0・1・2歳の ぽかぽか広場	特別期間中の土・日曜日 10:00～17:00	〔子どもの城〕に来館する 0・1・2 歳の親子が、おもちゃなどで自由に遊べる場の提供。 (保育室 2)

□□□ 講座・クラブなど □□□

■■■ クラブ ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
幼児グループ	(人) 4歳児 (13)	(人) 5	火～金曜日 10:00～14:00	[こどもの城]を保育の場とする週4日、2年間にわたる継続的な保育活動。「保育クラブ」の主に3歳児が曜日別に加わり、異年齢児保育となる。多様な人間関係を体験するため、チームで保育を行い活動を深める。プール活動など、体育事業部との連携プログラムも行う。本年度も、造形部門との共同プログラムで、身近な自然へと気持ちを向けての制作活動。保育活動展がその発表の場になった。「保育クラブ」に連動している。保育料41,000円、給食費4,800円（いずれも月額）。延長保育料は別途。
	5歳児 (13)	6		
保育クラブ	2～5歳児 (定員460人／登録数約324人)	4～7 9～12 6 4 (1日あたりの保育枠)	月～金曜日(2歳児) 10:00～13:00 10:00～14:00 火～金曜日(3～5歳児) 10:00～14:00 10:00～16:00	登録をして使う会員制の保育。登録数は324人。会員サービスには次の3つがある。保育プログラムは、①異年齢児混合保育(2歳児・3～5歳児)：2歳児保育は定期保育(週1または2回利用)とフリー利用保育。3～5歳児保育は定期保育(週1または2回利用)とフリー利用保育、その他に延長保育を実施。②チーム保育(各保育者の持ち味を生かす)③保育ボランティア(小5～社会人)の参加――などの特徴がある。家族プログラムは「親子遠足(春・秋)」「親子工房」など。情報提供プログラムでは「保育クラブ通信(おやとこ)」年4回発行、小児保健部と連携しての「健康診断(春)」など。ほかに、登録期間中は会員証で[こどもの城]の入館もできる。 入会金10,000円、年会費5,000円。保育料、2歳児1,350円(1時間)、3歳児以上1,000円(1時間)。給食代600円、おやつ代200円(1回)。

■■■ 講習会 ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
おやこクラブ① 〃 ② 〃 ③	(組) 1歳児親子 (各期18)	(組) 17 18 15	土曜日 10:00～12:00 (全10回)	さまざまな親子遊びをとおして、子育ての楽しさを体験するプログラム。小児保健部と連携し、心理・発達、子どもの食事についてのアドバイスも行った。両親どちらかが参加する。受講料27,000円。

■■■ 指導者向け講習会 ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
保育室で使えるあそびのメニュー (実技1)～楽しくあそべる造形のアイデア3～	(人) 保育所・子育て支援センター・児童館の保育士など (50)	(人) 25	8.24 10:00～17:00	保育現場で行う造形活動の基本素材(絵の具、粘土)に触れ、感触や可塑性を体験する実践講習を実施。また、実際にこのプログラムを保育部門で行なった時の子どもの様子を保育者が実践報告し、プログラムを現場で活用できるように研修をすすめた。受講料7,000円。
親子で遊べるあそびのメニュー (実技2)～家族をつなぐあそびのヒント3～	〃 (50)	40	9.21 10:00～17:00	NHKテレビの『おかあさんといっしょ』の振付担当者、宮田雅代さんの指導で、子どもに伝える方法などを学んだ。午後は保育研究開発部のスタッフが、初めての人同士をつなぐプログラムを紹介。参加者も、保護者の役になって疑似体験。受講料7,000円。

□□□ その他 □□□

名 称	日 時	内 容
子育て支援のニュースレターの発行	第46(通巻59)号 = H25.7 第47(通巻60)号 = H25.11 第48(通巻61)号 = H26.2	子育てをめぐる情報、現場などの動きをはじめ、各地の実践などを中心に取り上げた。事業本部、小児保健部との合同企画となり、内容が強化された。主な配布先は、子育て支援にかかる実践者、研究者、大学などで年間購読を希望する個人および団体。その他見学者、関係所管課に無料配布。年間購読料2,000円(郵送費、印刷代一部負担金)。

小児保健



ぽかぽか広場ぽかぽかタイム



中学生と赤ちゃん親子のふれあい体験(ぽかぽか広場)

平成 25 年度の活動

小児保健部門は、〔子どもの城〕の他部門より 1 年早く、平成 26 年 3 月末で終了することが決定された。このため本年度は事業の終了に向け、段階的に各事業を縮小していった。小児保健クリニックは小児科の診療時間を約半分にしたほか、マタニティ関連のイベントや講座を終了した。また、子育て支援者向けの講習会は前年度の 8 件から 2 件に減らすとともに、開館以来、その時代の子育てのあり方を模索し毎年行ってきた「小児保健セミナー」は、半日に短縮した。

一方、0~2 歳児とその保護者の子育て支援活動は、これまで小児保健部門が中心となって行ってきたが、さらに事業を発展させて、全館事業として毎日「0・1・2 歳のぽかぽか広場」を行った。

■■■ 事業の概要 ■■■

本年度の診療・相談の実績を表 1 ~ 表 3 に示した。このような条件のなかでも、診療・相談総件数は 1,104 件と前年度の 89% であり、3 月まで初診や全体の 4 割を占める乳幼児健康診査は途絶えることなく利用された。特に 6 月から 12 月は、閉館を知りながらも利用された方も多かった。子どもの遊び場である〔子どもの城〕の中にクリニックがあることは、〔子どもの城〕全体で子どもの発達を支援していく雰囲気や多角的に子育てを応援していることが信頼感につながっていたと感じさせられた。

本年度の新規来所者の相談内容の傾向には、大きな変化はなかった。肥満・発達障害の疑い・不登校などは、小児科・小児精神科、心理相談などを通じて継続的に受診された。子どもの肥満の取り組みについては、開館以来一貫して医師の診察と栄養相談で定期的にフォローし、学校での不適応などが起きている場合は心理相談を並行し、体育部門における「健康スポーツ教室」の運動プログラムも組み合わせて、総合的な健康支援ができるという他にはない特色があった。これらは将来の生活習慣病を予防するうえでも、大きな意味があったといえる。

また、発達障害・不登校、チックなどの癖、深刻な情緒不安などは、小児精神科医の診察とプレイルームでの心理療法や保護者のカウンセリングを同時に継続でき、長期的に成長を図ることが可能であった。〔子どもの城〕全体が健康な子どもの遊び場であるという環境は家族で相談に来やすい構造であり、土・日曜日などに診療や相談を受けられることも、共働き家庭の多い現在では好都合であったといえる。

家族のあり方が多様化し、離婚・再婚・ひとり親家庭の増加・過酷な受験勉強などから子どもた

【小児保健クリニック月別診療・相談件数(初診・再診内訳)】(表1)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H261月	2月	3月	合計
診 療	84	89	111	105	77	85	104	89	71	82	93	114	1,104
健 康 診 査(公費)	9	7	9	10	6	8	8	10	14	9	5	10	105
健 康 診 査(自費)	0	0	14	0	0	3	2	11	1	0	1	0	32
育 児・健 康 相 談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
心 理 相 談	47	55	60	66	71	63	64	60	51	64	49	41	691
ダ ウ ナ 症 療 育 相 談	7	4	10	10	4	4	8	9	8	7	9	8	88
合 計	147	155	204	191	158	164	186	179	145	163	157	173	2,022
内 訳	初 診(新規)	17	14	21	19	13	13	18	24	13	10	13	188
	再 診	130	141	183	172	145	151	173	161	121	150	147	1,834

【小児保健クリニック新規来所者の居住地域内訳】(表2)

居住地域	渋谷区	世田谷区	杉並区	大田区	その他の区部	市郡部	小 計	神奈川県	千葉県	埼玉県	その他	小 計	合 計
人 (%)	60 (31.9)	13 (6.9)	9 (4.8)	7 (3.7)	70 (37.3)	9 (4.8)	168 (89.4)	7 (3.7)	10 (5.3)	1 (0.5)	2 (1.1)	20 (10.6)	188 (100.0)

ちは不安定になりやすい。また、幼少期からの教育的なプログラムの志向は、子どもから自由発刺とした〈あそび〉の時間を奪いがちであり、子どもの自発的好奇心・意欲、豊かな発想が育ちにくくなっている。そのストレスが肥満・チック・人間関係の不器用さ・不登校などの背景としてあらわれている。子どもの心身の微妙な発達のずれを保護者と共に考えサポートする医療・相談機関の必要性は、これからも高まっていくであろう。小児保健クリニックには、現代社会に生きる親子の姿が反映されていたのである。

ダウン症療育相談では、【こどもの城】開館後からすぐに受診されて、その後も成長とともに、心身の健康を見守りつ定期的な相談を行ってきた人は多数あった。

子育て支援者向けの最後の講習会となった「小児保健セミナー」は、近年の「情報通信化社会」の中で育つ子どもへの関わり方と、乳幼児期の発達の原点に返って乳児期の親子のやりとりがとても大切であることをテーマとして、小児保健部からのラスト・メッセージとした。

【クリニック閉院に向けた患者への対応】

クリニックに継続して診療、相談に訪れてきている患者すべてに対して、個別にクリニック閉院後の希望、意向を確認し、小児科、小児精神科、心理相談、ダウン症療育相談の区分ごとに、他の医療機関などを紹介し、最後まできめ細やかな対応を図った。

■ ■ ■ まとめ ■ ■ ■

小児保健部門のこれまでの活動を振り返ると、多職種が連携した診療・相談活動、妊娠期・乳児期からの子育て支援活動、小児肥満のための健康教室、子育て支援者向けの専門講習会などにまとめられる。子どもたちの遊び場にある医療・保健機関として、子どもの〈あそび〉の持つ力を最大限に生かし、心身の健康な発達や健全な親子関係の形成を支援できるように心がけた。これからも社会にこうした視点が生かされていくことを願っている。

【新規来所者の診療・相談内容内訳】(表3)

内 容	件数 (%)
自閉症スペクトラム障害	23 (12.2)
学習障害・注意欠陥多動性障害	15 (8.0)
言語発達遅滞	9 (4.8)
精神遅滞	8 (4.3)
小 計	55 (29.3)
不安不登園・不登校	8 (4.3)
育児不安	8 (4.3)
情緒障害・情緒不安	4 (2.1)
神経症	4 (2.1)
小 計	24 (12.8)
肥満(心理的な問題を含む)	12 (6.4)
吃音・チック	3 (1.6)
体重増加不全	2 (1.1)
その他(低身長など)	5 (2.7)
小 計	22 (11.7)
合 計	101 (53.7)
健 乳幼児健康診査(公費)	76 (40.4)
診 健康診断(自費)	11 (5.9)
合 計	87 (46.0)
総 計	188 (100.0)

平成 25 年度活動一覧表

□□□ 一般利用 □□□

■■■ 平常期間 ■■■

名 称	日 時	内 容
小児保健クリニック (診療・相談) 小児科診療 育児・健康相談 乳幼児健康診査 健康診断 栄養相談 心理・発達相談 ダウントン症療育相談	休館日を除く毎日 9:30 ~ 17:00 木曜日・金曜日(各月1回)	診療・相談は予約制。小児科医師・看護師・管理栄養士・臨床心理士が診療・相談にあたる(週2回小児精神科・隔月1回小児耳鼻科を含む)。小児科医師の診療には、原則として健康保険が適用される。乳幼児健康診査は、東京都乳幼児健診委託機関のため受診票で受けられる。育児・健康相談は、相談料1回5,000円。心理・発達相談は、担当者1人の場合1回50分5,000円、医師の診察を受けずに直接相談に入る場合、初回のみ7,000円。専門相談のダウントン症療育相談は、相談料8,000円。 専門医師が担当。 (小児保健クリニック)

□□□ 講座・クラブなど □□□

■■■ 講座 ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
健康スポーツ教室〈太りすぎクラス〉第30期	(組) 太りすぎの小学生とその親(20)	(組) ① 19 ② 17 ③ 19	土曜日 14:00 ~ 17:00	太りすぎの改善のために医学指導(東京女子医科大学東医療センター医師)・栄養指導(和洋女子大学ほか)・体育指導(体育事業部)・水泳と体育を交互に実施)を行う。食事の保護者向けレクチャーと親子合同の体育プログラムを実施した。体育事業部との共同事業。受講料=1・2期(各12回)各24,000円、3期(9回)18,000円。 (小児保健クリニック/体育室/プールほか)

■■■ 短期講習会 ■■■

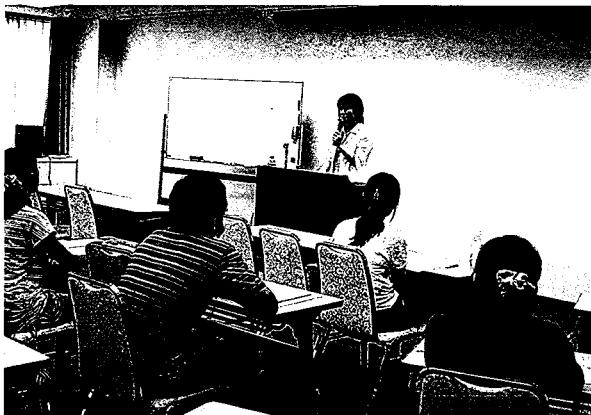
名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
季節の離乳食	(人) 5か月～1歳6か月の乳幼児と親(各回10)	(人) 計 77	金曜日(9回) 13:30～14:30 ※4.26=5 / 5.24=5 / 7.19=17 / 9.13=16 / 10.25=13 / 12.20 =5 / H26.1.24=7 / 2.21=4 / 3.14=5	離乳食の作り方・与え方に悩む母親たちに、実際に調理した食材などを見せながら、ちょっとした工夫ができる調理法などを紹介。互いに疑問点を質問し合うなど、話し合う母親同士の交流も大切な要素になっている。受講料2,000円(1回)。 (保育室3)



季節の離乳食講座

■ ■ ■ 専門指導者向け講習会 ■ ■ ■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
第 5 回乳幼児期からの健康づくり～医学・栄養・運動の 3 点から～	(人) 保育士・児童厚生員など (50)	(人) 21	7.5 10:00～16:45	子どもたちが抱える体力の問題に焦点をあてて、運動と健康づくりの関係を整理し、さらに楽しくからだを動かすコツなど実技を通して紹介。「体力向上のための運動や遊び実践」（体育事業部）、「子どもの体力について考える」（小児科医師）、離乳食や幼児食の考え方と食事アドバイスのポイント」（管理栄養士）。受講料 7,000 円。 (会議室・体育館)
第 28 回 小児保健セミナー 「情報化社会の中での子育てを考える」	保育士・看護師・児童厚生員など (50)	39	11.30 13:00～17:00	社会の動きを見据え、子どもの未来に向けて支援者は何ができるのかを小児保健部のメッセージとした最後の講習。支援者が「子育て」の視点で社会環境の変化を捉え、親子にどのように接したらよいかを学ぶセミナーとした。「情報通信社会の中で子どもは健やかに育つのでしょうか」（村田光範：当クリニック小児科医師）、「乳幼児期の心の発達に大切なこと」（大藪泰：早稲田大学文学学術院文化構想学部教授）。受講料 5,000 円。 (会議室)



講習会「乳幼児期からの健康づくり～栄養～」



講習会「乳幼児期からの健康づくり～運動～」

研修事業



高校生による絵本の読み聞かせ体験



平成 25 年度の活動

研修事業部門では、〔子どもの城〕の使命の一つである全国へ向けての〈センター機能〉を果たすため、専門指導者向け講習会の開催、研修生、実習生の受け入れをとおして、全国の子どもにかかる指導者への支援を行っている。また、〔子どもの城〕で登録し活動しているボランティアの養成と活動のコーディネート、中学生の職場体験実習や高校生のボランティア体験を担当している。

本年度は専門指導者向けの講習会として、「子どもの城児童厚生員等実技指導講習会」を2回開催した。1回目は「世代をつなぐ遊び」をテーマに、実技とワークショップをとおして遊びの伝承と、実践で生かしていくための講習と情報交換を行った。2回目は「子どものやる気を引き出す環境づくり」をテーマに、児童館などの施設環境の整え方、子どもの創造力の生かし方、プログラムの組み方や大人のかかわり方について講義と実技を行った。

中学生による職場体験実習、高校生によるボランティア活動体験、大学生による施設実習の受け入れにより、教育施設でのキャリア教育、福祉教育の学習に協力した。職場体験実習は、渋谷区の学校を数多く受け入れることで地元への貢献を行った。一方、センター児童館として、他県の児童館の職員を研修生として受け入れ、〔子どもの城〕の事業を体験することで、考え方や実施方法を地域で生かしてもらうこととした。

ボランティアに関しては、〔子どもの城〕という施設の運営維持と拡充のための事業サポートと、ボランティアニーズのバランスがとれるコーディネートに努めた。前年度の下半期より「子ども活動エリア」のニーズに応じて、ボランティアがより幅広い範囲の事業サポートを行うためのシステム作りを進めてきた。本年度、実際にそのシステム運用を行ってみたところ、決められた期日までの活動申込みが間に合わない、当日の活動予定数に達しない場合もあったなどの問題が発生したのは確かであった。しかしボランティアにとっては、今まで経験できなかった活動ができるようになり、また施設側としては、事業への安心安全面でのサポートが図れたという結果以上に、来館児・者への対応面においても、より充実した事業展開が行えたと感じている。

最終年度の運営体制を考えると、ボランティアによる協力体制がさらに望まれる。しかしながら、本年度はボランティアの新規募集を行わなかつたため、その総数は減少している。今後、ボランティアが、自分たちの望む活動も行いながら、施設の事業のサポートをしていくためには、登録しながら活動に来ていないメンバーへの働きかけを行うこと、さらにボランティアと話し合いながら活動目標を明確にし、細かい年間の予定を計画し活動を進めることが大切である。

平成 25 年度活動一覧表

□□□ ボランティアの活動 □□□

■■■ 定例活動 ■■■

名 称	日 時	内 容
エリアサポート活動 (各エリア)	通年	【子どもの城】館内の各エリアでのさまざまな活動のサポートを行う。 (各エリア)
保育活動 (保育研究開発)	月～金曜日 10:00～16:30	保育スタッフとともに、2歳児クラス、または3～5歳児グループに入り運営補助。 (保育室ほか)
0・1・2歳のばかばか広場 (全館事業)	火～日曜日 11:00～16:00	各部門のスタッフが交代で担当する「子育て広場事業」のサポートを行う。 (A スタジオほか)
みんなのにこにこ広場 (プレイ)	水曜日 15:00～15:30	第1・3週は「紙芝居」、第2週は「人形劇」、第4週は「影絵」。各女性ボランティアグループが担当し、公演を行う。 (プレイホール)
おりがみあそび広場 (プレイ)	木曜日 14:30～15:30	毎回1～2種類の折り紙遊びを子どもやその親を対象に伝えながら、いっしょに遊ぶ。 (プレイホール)
絵本であそぼっ (研修)	金曜日 14:00～14:30	幼児とその親子を対象に、絵本の読みかたり。その後、少しの時間、個別に絵本を読む時間も設ける。 (A スタジオ・プレイホール)
みかんちゃんズの オバオバサンバ（音楽）	金曜日 14:15～14:45	スタッフとともに“サンバ”的リズムを中心としたリズム遊びの活動。演奏やプログラム進行を行う。 (音楽ロビー)
手作りおもちゃ (研修・プレイ)	金曜日 10:30～15:30	プレイホール幼児コーナーの「抱き人形」や、赤ちゃんも遊べる遊具の制作。季節ごとの環境設定を手作りの手芸品で行う。 (ボランティアオフィス)
ピッグサタデー (体育)	土曜日 10:30～11:45	小4以上の高学年を対象にしたスポーツプログラム。バスケットボール、バレーボール、テニスなど基礎練習から試合まで行う。 (体育室)
手足の不自由な子の スイミング（体育）	土曜日 17:00～18:00	講座に参加する子どもたちにボランティアが1対1でサポート。水泳の補助や安全面に配慮する。 (プール)
土曜昔あそびの会 (研修)	第2土曜日 14:00～17:00	屋上ふしげが丘を中心に、こまや三つ馬などの伝承遊びを実施。親子での参加が多い。 (ふしげが丘ほか)
こどもの城アドベンチャー (研修)	月1回日曜日 14:00～16:30	子ども活動エリア全体を使った、ウォーキング形式のゲーム。館内に設置された課題を探し、謎解きをする。子どもたちに人気のプログラム。(全館)
ボラカフェ (研修)	月1回土曜日 18:30～20:30	青年ボランティア各グループで構成される組織。活動の活性化をめざし、交流会、学習会、機関紙の発行などを行う。セルフヘルプ活動。(研修室ほか)
L.I.T.=高校生ボランティア (研修)	月2回日曜日 10:00～16:00	年間をとおして高校生が行うボランティア活動を支援。ボランティアは、プログラムを企画、準備、運営する際のアドバイス、よりよいグループ活動を行うためのワーカーとしての働きを担う。 (会議室ほか)
おはなしや (研修)	月1回日曜日 13:00～15:30	「人形劇」と「パネルシアター」の公演を行う。公演の合間に、パネル布を使ったワークショップで自由に遊ぶ時間。 (B スタジオ・プレイホール)
絵本の読みかたり (研修)	月1回日曜日 14:00～14:30	保育室の1～2歳の遊び場で絵本の読みかたり。4～5冊程度の絵本を読み、その後、自由に絵本を読む時間(約10分)も設けている。 (保育室2ほか)
つくってあそぼう !!! (研修)	月1回日曜日 14:00～16:30	小学校低学年を対象に、身近な素材で手作りおもちゃのワークショップを行う。 (B スタジオほか)
日曜クラブ (研修)	月1回日曜日 14:00～16:30	縄跳び、フラフープ、ドッジボールなどを実施。幼児～小学生と親の参加がある。最後に、レクリエーションゲームの集い(30分)も行う。(ふしげが丘)
女性総会 (研修)	月1回(年数始め提示/火～金曜日) 11:00～12:00	女性ボランティア各期のメンバーが、毎月交代で会議に参加し、連絡事項、検討事項を話し合う。女性ボランティア全体の活性化をめざすことが目的。
花壇ボランティア (研修)	月1回第3木曜日	昨年度に引き続き、チューリップやひまわりなど、年間を通じてエントランスの花壇を季節の草花で彩る活動を行う。草取りや清掃なども実施した。

■■■ 特別期間中の活動 ■■■

名 称	日 時	内 容
〈児童福祉週間〉 おもちゃ箱シアター (研修)	5.3～6	紙芝居、人形劇、影絵、絵本、パネルシアターなど、表現活動系のボランティアグループが集い、日替りで公演。また、小学生以上を対象にした「キッズ人形劇団」(1時間程度の練習の後、公演)や、ペープサートのワークショップも行う。(Bスタジオ)
〈〃〉 忍者マスター決定戦～鯉 隠れの里で大あはれ！の 巻～ (研修)	5.3～6 11:00～16:00	忍者をテーマにしたゲーム大会を実施。忍者の修行を内容にした数種類のゲームをクリアするともらえるカードを集め、忍者のお頭から「忍者マスターの証」をゲットするゲーム大会。(ふしげが丘)
〈夏休み〉 ばしゃ！どき！マリンピ ック～アクアラグーンへ ようこそ～ (研修)	8.15～18 11:00～16:30	水を使った数種類のゲームをクリアするともらえるリングを集めると、水鉄砲を使ったゲーム大会に出場できる。参加者は、集めたリングの数に応じたスタンプを押した表彰状をもらえた。(ふしげが丘)
〈〃〉 秘宝を探せ！ 真夏のキッズハンターズ (研修)	8.24・25 11:00～16:00	L.I.T.が実施したストーリー仕立ての館内ラリー。来館児・者が、秘宝を探すために、さまざまなゲームに挑戦する。記録に挑戦する室内でのチャレンジゲームと屋外での水遊びを組み合わせたプログラム。(Bスタジオ、ふしげが丘)
〈ファミリーフェア〉 みてこ！よってこ！ ててこパーク (研修)	11.2～4 11:00～16:00	大人と子どもが心を通わせる空間をめざす、「公園」をテーマにしたボランティアプログラム。ロードコーンを使った巨大迷路やこまわし、縁台将棋などを実施。紙芝居や駄菓子屋も運営し、子ども同士の交流の場を設けた。(ピロティ)
〈冬休み〉 2014新春あそびのお 年玉～うまくなれなれ あそびぞめ～ (研修・プレイ)	12.26～28 13:00～16:00 H26.1.4～7 11:00～16:00	"三世代で遊べる"遊びこむ"をテーマに、こまやあやとりなどの昔遊びと、幼児も楽しめるように、少ない枚数でできるように工夫をした百人一首も実施。遊ぶと「お年玉カード」をもらうことができる。プレイ部門との共同企画。(プレイホール)
〈春休み〉 春だ！とびだせ！ あそんじゅ王国 (研修)	3.21～23、29～30 11:00～16:30	前半は、手遊び、歌遊び、ゲームやクイズの集いをプレイホールで実施。後半は、屋上、ふしげが丘で記録にチャレンジできるゲーム大会を行った。(プレイホール、ふしげが丘)



えいっ！刀の修行で竹を倒す！
ボランティアによるゲーム大会「忍者マスター決定戦」



マックローの登場で大盛り上がり
ボランティア活動「あそんじゅ王国」

□□□ 講座・クラブなど □□□

■■■ クラブ ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
L.I.T. (Leader In Training)	(人) 高校生 (30)	(人) 18	日曜日 10:00～16:00 (原則／月 2 回)	高校生の社会参加プログラム。トレーニング中のリーダーという意味で、【子どもの城】を中心に、〈あそび〉をとおして子どもたちとふれあうボランティア活動。平成 24 年 9 月から平成 25 年 8 月まで、月 2～3 回活動した。年に数回、子どもたちを対象としたプログラムを企画・運営し、ボランティア活動を行うことの楽しさや喜びを体験的に学んだ。受講料 = 10,000 円（1 年間）。

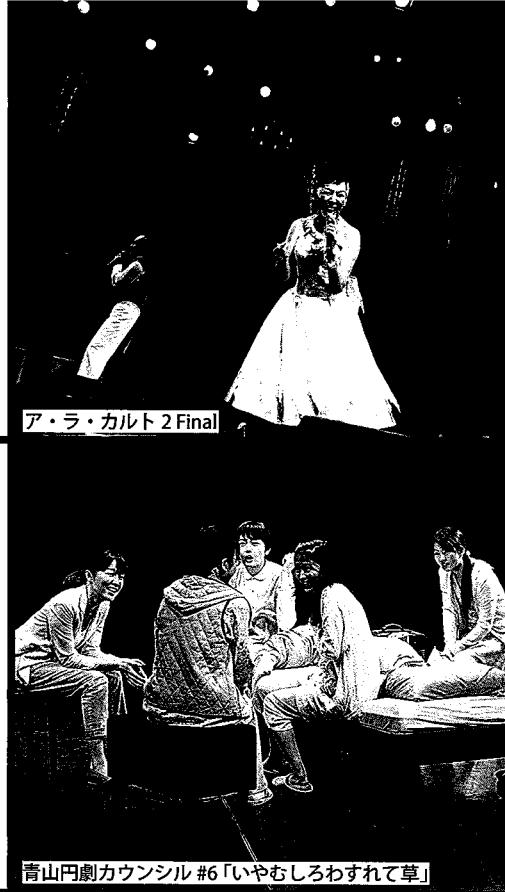
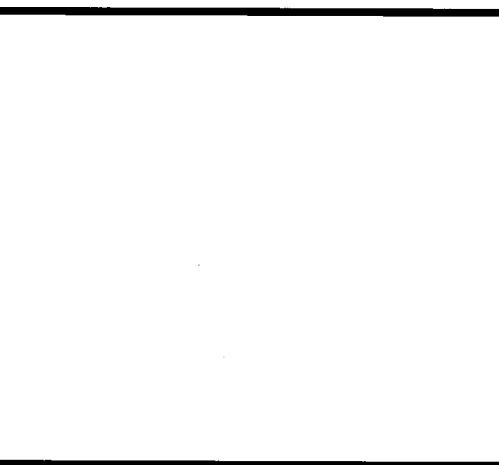
■■■ 専門指導者向け講習会など ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
平成 25 年度子どもの城児童厚生員等実技指導講習会	第1回遊びの専門技術～世代をこえて一緒に遊ぶ～	(人) 児童館職員ほか (50)	(人) 22 6.6・7 10:00～16:30	【講義・実技】お父さんと遊ぼう！～つながる楽しさを伝える遊び～（講師：日本児童遊戯研究所長・有木昭久さん）／わらべ歌遊びを楽しもう！～世代をこえたおくりもの～（講師：あそびの広場「ばこべん」主宰・相京香代子さん）／路地裏遊びで出会う、ふれあう～遊びの中で生きる力を！～（講師：「あそびの学校」主宰・菅原道彦さん） 【まとめのワークショップ】児童館発！「世代をつなぐ遊び」について考える。（講師：【子どもの城】専門スタッフ）受講料 11,000 円。
	第2回これからの児童館を考える～子どものやる気を引き出す環境づくり～	// (50)	29 H26.1.22～24 10:00～16:30	【演習】自己点検できづく！「子どものやる気を引き出す環境」／「子どものやる気をひきだす大人のかかわり方」～事例をもとに考えよう～（講師：【子どもの城】スタッフ） 【実践報告】「子どもの“やりたい”が実現できる児童館をめざして」～冒険遊び場からのメッセージ～（講師：NPO 法人冒険遊び場の会代表理事・武藤陽子さん） 【講義・実技】「子どものアイディアを生かす造形活動」～創造する楽しみを子どもたちに～（講師：帝京大学教育学部専任講師・辻政博さん） 【講義】「これからの児童館活動を考える」～子どものためのプログラムデザイン～岩手県立大学社会福祉学部准教授・山本克彦さん）。受講料 14,000 円。
平成 25 年度登録ボランティア研修	平成 25 年度子どもの城登録希望ボランティア	延べ 265	4.11・13・14 各日 10:00～12:00	登録更新をしたボランティアを対象に、本年度の事業方針や活動方法のガイダンスを行う。また、活動に伴する意識の共有や連帯を図ることを目的としたワークショップを行う。（会議室）

劇場



月猫えほん音楽会 2013



ア・ラ・カルト 2 Final

青山円劇カウンシル #6「いやむしろわすれて草」

平成 25 年度の活動

青山劇場および青山円形劇場の運営においては、児童健全育成事業を実現することを目的とした劇場としての意義を深めるために策定した「自主・提携公演の実施方針」に則り、子ども文化のすぐれた発信場所としての地位を保つよう努力するとともに、〔子どもの城〕施設全体の維持のための経済的な側面にも意識した事業運営を目指した。

自主・共催公演として、青山劇場で 1 公演、青山円形劇場で 9 公演、提携公演として、青山円形劇場で 9 公演を実施した。このうち「高円宮殿下記念ローザンヌ・ガラ 2013」と「TOKYO DANCE TODAY #8」は、文化庁のトップレベルの舞台芸術創造事業に、「DANCE-X13」は、日本芸術文化振興会の現代舞台芸術創造普及活動に選ばれた。

劇場貸与については、青山劇場が 23 件、青山円形劇場が 24 件であった。国費による工事期間を除いた稼働日数は、青山劇場使用可能日数 340 日中 287 日、青山円形劇場使用可能日数 341 日中 312 日とほぼ 90% の稼働状況であった。

また、劇場公演の他に、若手舞台芸術家の育成を図るためのセミナー「APAS」(Aoyama Performing Arts Seminar) を 2 件実施した。

上記にあるように、文化庁舞台芸術創造事業に選ばれるなど、自主（共催）・提携公演を通じて、文化の発信地としての劇場の意義を遺憾なく発揮することができた。

さらに、子どもとその家族が多く来館する〔子どもの城〕にふさわしい、ファミリー向けの公演も低廉な料金設定と趣向を凝らした演出で行い、ライブならではの生き生きとした時間を劇場全体の親子が共有することができた。

〔子どもの城〕開館当初、〔子どもの城〕の劇場として〈ファミリー向け公演〉の向かうべき所として、「既存の児童劇団のかかわらない創作もので、大人と子どもという違う世代の人間が一つの空間を共有し、それぞれに楽しめ、一つの感動を分かち合え、見終わった後、親子で感想を語りあえるようなもの」と位置付けた。そして開館以降 28 年の不断の努力が実り、理想の〈ファミリー向け公演〉を実現することができた。

政治・経済・社会状況の変化にともない厳しい〔子どもの城〕の財政状況のなか、収益部門として収益の増大にも貢献できたと思われる。

平成 25 年度公演演目一覧表

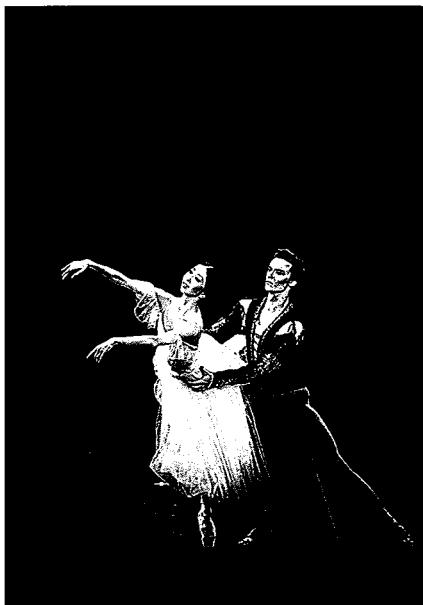
□□□ 青山劇場 □□□

名 称	日 時	回数	料 金	総席数	入場者数	入場率	備考
	(日)	(回)	(円)	(人)	(人)	(%)	
〈自主・提携公演〉 高円宮殿下記念 ローザンヌ・ガラ 2013	8.15～18	2	S=9,500／A = 8,000	2,400	2,330	97.1	
(自主・提携公演 小計) 1 件		4		2,400	2,330	97.1	
〈貸し館〉 舞台「銀河英雄伝説 第三章 内乱」 (キティ)	4.1～13	18	指定席 = 11,000	20,560	14,999	73.0	
丸美屋食品ミュージカル「アニー」 (日本テレビ)	4.15～5.7	25	S = 8,000／A = 6,500 ／立見 = 4,000	28,113	24,237	86.2	
プロードウェイミュージカル 「スウィニー・トップ」～フリート街 の悪魔の理髪師 (ホリプロ)	5.13～6.2	21	S = 12,600／A = 8,400 ／B = 4,200／立見 = 4,000	23,016	19,403	84.3	
「音楽の絵本」クールプラス 青山劇場スペシャル (キョードー東京)	6.7	1	S=4,500／A = 3,500	1,164	599	51.5	
八代亜紀 JAZZ コンサート ～音夜 in AOYAMA～ (キョードー東京)	6.8	1	指定席 = 5,800	1,164	1,094	94.0	
Sing! Sing! Sing! ～ゴスペル in 青山劇場～ (キョードー東京)	6.9	1	指定席 = 4,000	1,164	880	75.6	
柳家花緑・柳家喬太郎 二人会 ～大人夜 in AOYAMA～ (キョードー東京)	6.10	1	指定席 = 3,500	1,174	800	68.1	
4 Stars (フォー・スターズ) (キョードー東京)	6.12～23	10	S = 11,500／A = 8,000 ／立見 = 6,000	11,980	11,466	95.7	
PLAYZONE 2013 SONG & DANCIN' PART III (ヤングコミュニケーション)	6.25～8.10	40	一般 S = 10,500／立見 = 8,400／FC S = 10,000／立 見 = 8,000	43,992	43,229	98.3	
劇団 EXILE 「あたっく No.1」 (フジテレビ)	8.19～9.17	22	7,800／立見 = 5,000	25,547	21,734	85.1	
立川談春独演会 2013～デリバリー談春～ (サンライズプロモーション東京)	9.28	1	S=3,800／A = 3,000	1,186	1,059	89.3	
子どものための落語会 (サンライズプロモーション東京)	9.28	1	1,000 (当日指定座席引換券)	1,204	840	69.8	
飛龍伝 21 殺戮の秋 (いつの日か、白き翼に乗りて) (RUP)	10.2～20	16	S = 7,500／A = 6,500 ／立見 = 5,000	16,654	10,406	62.5	
舞台「私のホストちゃん」 (エイベックス)	10.22～11.4	13	VIPシート=15,000／ゴー ジャスシート=8,500／ カジュアルシート=6,800	14,902	11,627	78.0	
福田こうへい ファーストコンサート～そのⅢ～ (ザ・カンパニー)	11.12・13	1	5,000	1,164	1,128	96.9	
DREAM ～TOMOMI KAHARA CONCERT 2013～ (キョードー東京)	11.14・15	2	6,500／補助席 = 6,500／ 立見 = 6,000	2,412	2,170	90.0	
和央ようか スペシャルコンサート WAO リクエストアワー 2013 (クオラス)	11.21～24	4	11,500	4,016	2,946	73.4	

名 称	日 時	回 数	料 金	総 席 数	入 場 者 数	入 場 率	備 考
〈貸し館〉 オフブロードウェイミュージカル <i>Foreve Plaid</i> TOUR FINAL～アンコールプラッド～ (ニッポン放送)	(日) 11.27・28	(回) 2	(円) S = 8,500 / A = 5,500	(人) 2,340	(人) 2,146	(%) 91.7	
韓国ミュージカル「太陽を抱く月」 (ウナスエンターテイメント)	12.9～16	8	16,000 / サインパンフ付 = 19,000 / 1F見切れ = 14,000 / オールパック = 21,500 / パンフ付き 2F = 11,000	9,278	4,887	52.7	
25th Blue Note Tokyo Anniversary Presents ROBERTA FLACK (ロバータ・フラック) (ブルーノートジャパン)	12.17	1	SS = 11,000 / S = 10,000 / A = 9,000 / 当日券各 + 1,000	4,696	4,228	90.0	
丸美屋食品ミュージカルアニー 「アニークリスマスコンサート」 (キョードー東京)	12.21・22	4	S = 5,800 / A = 4,800 / 立見 = 3,000	4,696	4,228	90.0	
日本テレビ開局 60 年特別舞台 「真田十勇士」 (日本テレビ)	12.26～28 H26.1.3～ 2.2	38	S = 11,500 / A = 9,000 / 立見 = 6,000	45,592	43,525	95.5	
舞台「銀河英雄伝説」シリーズ最終章 銀河英雄伝説 第四章 後篇 激突 (キティ)	2.7～3.2	21	11,000 / 立見 = 8,000	24,562	20,947	85.3	
ミュージカル アクターズ LIVE ～日韓の俳優による共演～ (ぴあ)	3.4～23	4	8,000	3,096	1,341	43.3	
(貸し館 小計)	23 件	283 日	256		293,672	249,919	85.1
(青山劇場 合計)	24 件	287 日	258		296,072	252,249	85.2



高円宮殿下記念 ローザンヌ・ガラ 2013
Photo : 濱戸秀美



高円宮殿下記念 ローザンヌ・ガラ 2013
Photo : 濱戸秀美

□□□ 青山円形劇場 □□□

名 称	日 時	回 数	料 金	総 席 数	入 場 者 数	入 場 率 (%)	備考
	(日)	(回)	(円)	(人)	(人)	(%)	
〈自主・提携公演〉 WBB vol.4 「川崎ガリバー」 (名義提携: WBB)	4.18～28	12	5,000	3,376	2,789	82.6	
青山円劇カウンシル #6～breath～ 「いやむしろわすれて草」 (共催: ネルケプランニング)	5.13～26	15	6,300	4,873	4,423	90.8	
DANCE -× 13 MONTREAL : TOKYO : BUSAN 3rd Edition	5.28～62	3	4,000(前売=3,500)／(前 売学生 =2,500)	570	305	53.5	
パフォーミングアーツ・フェア 2013 (提携: 玉川大学)	6.3～9	6	一般3,000／学生=2,500／リビー タ料金 (一般=1,500、学生=1,000)	1,596	1,369	85.8	
月猫えほん音楽会 2013	7.24～28	5	大人 2,300／子ども 1,500	1,500	1,327	88.5	
舞台版「心靈探偵八雲 いつわりの樹」 (提携: ネルケプランニング)	8.19～28	12	5,500	4,036	3,873	96.0	
ROLLY 生誕 50 周年 一前夜祭一 スーパー・プレミアム！ 五重人格R指定 (共催: SMA)	8.29～92	5	8.31・9.1=7,300／ 9.2=8,500	1,533	1,393	90.9	
ミュージカル「今の私をカバンにつめて」 (名義提携: ネルケプランニング)	9.3～16	13	7,500	3,782	3,232	85.5	
劇団鹿殺し 充電前公演「無休電車」 (提携: 劇団鹿殺し)	9.24～ 10.14	19	4,900／学生 3,500	4,395	4,039	91.9	
藤田善宏 初ソロダンス公演 「野良ネコと呼ばれた男」 (名義提携: ロックスター)	10.18・19	2	3,500(前売=3,000)／大 学生 2,000、高校生以下 =1,500	684	608	88.9	
TOKYO DANCE TODAY #9 新作ダンス公演 「鏡からでた実」	10.21～ 27	6	4,500(前売=4,000)／※ 10.26、 2 時のみ小学生～大学生 2,500	1,020	928	91.0	
イキウメ「片鱗」 (提携: イキウメ)	11.5～24	18	4,400(前売=4,200)	4,283	3,641	85.0	
青山円形劇場プロデュース 「ア・ラ・カルト 2 ～役者と音楽家のいるレストラン～Final」	12.2～26	20	6,500	6,631	6,208	93.6	
第3回子どもの城ファミリーミュージカル シーケ・シーケ・シーキングストーリー III 謎の移住大作戦 ～夢に願いを～	12.27～ 29、H26.1. 3～7	9	2,800	2,968	2,354	79.3	
中西俊博 Leapingbow 2014 in Aoyama Round Theater FINAL 「Reel's Trip ～進化～」	1.31～2.2	2	5,500	562	526	93.6	
CAVA 一サバー's BARBER ～その床屋を待たせた客～ (協力: Project BARBER)	2.20～23	4	4,000(前売=3,500)／ペ ア券=6,000／学生 3,000	900	712	79.1	
TOKYO DANCE TODAY #10 コンドルズ「UFO returns」 (共催: ロックスター)	2.24～3.2	7	5,500 (前売=5,000)／ ※ 3.1,2 時のみ小学生～大 学生= 3,500	2,352	2,171	92.3	
東宝ミュージカル 「サ・ビ・タ～雨が運んだ愛～」 (名義提携: 東宝)	3.17～31	16	6,500	5,570	4,614	82.8	
(自主・提携公演 小計) 18 件	183 日	174		50,631	44,512	87.9	
〈内部利用〉 こどもたちからのサウンドメッセージ ～Now Let's Sing～／～みんな音楽家～	(日) H26.2.7 ～9	(回) 5	(円) 1,500	(人) 1,310	(人) 1,028	(%) 78.5	音楽
(内部利用 小計) 1 件	3 日	5		1,310	1,028	78.5	

名 称	日 時	回 数	料 金	総 席 数	入 場 者 数	入 場 率	備 考
	(日)	(回)	(円)	(人)	(人)	(%)	
〈貸し館〉 Grock × InnocentSphere × JP 「ディス・ワンダーランド」 (イノセントスフィア)	4.5～14	13	5,500	3,732	2,768	74.2	
「英雄のうた」 (る・ひまわり)	4.29～5.3	6	6,000	1,832	1,758	96.0	
平成 25 年度 児童福祉文化賞発表会 「わんぱく寄席」 (児童健全育成推進財団)	5.4	1	無料	328	120	36.6	
劇団ステージドア 第 22 回公演 「三人姉妹」 (劇団ステージドア)	5.5・6	2	3,000	928	774	83.4	
ヴィレッヂ・プロデュース 2013 「断色」～danjiki～ (ヴィレッヂ)	6.10～7.7	28	6,800／ヤングチケット 2,800	9,604	9,052	94.3	
アキコ・カンダダンスカンパニー公演「連鎖」 (アキコ・カンダ事務所)	7.11・12	3	5,250	516	497	96.3	
劇団 M.M.C 音楽劇「MoMo」 (劇団 M M C)	7.14～21	8	6,500(前売=6,000)／中学生以下=5,000／親子チケット=10,000	1,632	1,368	83.8	
ペニバラ兎団 Voi.14 「パライソの海一小さな花の夜霧に映る月一」 (ペニバラ兎団)	7.29～8.4	7	6,000 (前売= 5,500)	2,084	1,761	84.5	
「プレゼント◆ 5 side : 三日月」 (ネルケプランニング)	8.5～11	8	5,000	2,304	1,603	69.6	
RAYNeT 企画 Musical 「でも未来には君がいる」 (レイネット)	8.14～18	8	6,300	2,554	2,051	80.3	
「猫森集会 2013 オールリクエスト in 青山円形劇場」 (ヤマハミュージック／ネクストロード)	10.30・31	2	6,500	780	721	92.4	
阿部芙蓉美 ワンマンライブ一円形。 (ホットスタッフ)	11.1	1	5,800	380	323	85.0	
チャラン・ポ・ランタン 2日:チャラン・ポ・ランタン Presents 「つがいの悲喜劇」 3日:チャラン・ポ・ランタン Presents 「たがいの悲喜劇」 4日:チャラン・ポ・ランタン ワンマン ショウ「ふたえの悲喜劇」 (ソニー・ミュージック・アーティスツ)	11.2～4	3	4,000 (前売= 3,500)	1,161	1,038	89.4	
「夢オチ王決定戦」 (SLUSH-PILE.)	11.27	1	2,500	366	190	51.9	
「山里亮太の 3 6 0」 (SLUSH-PILE.)	11.28	1	3,500	390	365	93.6	
「芸人狼」～360°から狼が狙っています～ (SLUSH-PILE.)	11.29	1	2,500	349	242	69.3	
「ZIP! お笑い Fes ～麻里とユカイな仲間達～」 (日本テレビ)	11.30	1	3,000	678	587	86.6	
即興演劇集団フリークルーズ 第 38 回定期公演 The BRAIN 「ザ・ブレイン」 (フリークルーズ)	H26.1.10～12	5	5,000 (前売= 4,500)	920	658	71.5	
ENTERTAINMENT DANCE ART SHOW 「Blue White」 (キョードー東京)	1.13～19	7	6,800	1,736	1,520	87.6	
「一郎ちゃんがいく。」 (ネルケプランニング)	1.20～30	13	6,500	3,414	2,935	86.0	

名 称	日 時	回 数	料 金	総 席 数	入 場 者 数	入 場 率	備 考
	(日)	(回)	(円)	(人)	(人)	(%)	
〈貸し館〉 「芸人狼 SPINOFF」 「ラブレーターズ溜口 VS 俳優軍団」 （SPLUSH – PILE.）	2.15	1	3,000	350	261	74.6	
「芸人狼（×NOTTV）」 ～スマホと芸人狼が仲良くなつた！～ （SPLUSH – PILE.）	2.15	1	2,500	346	223	64.5	
CAVA ーサバー's BARBER ～その床屋を待たせた客～ (Project BARBER)	2.20 ~ 23	4	4,000 (前売 = 3,500) / ペア券 6,000 / 学生 = 3,000	900	712	79.1	
劇団 TEAM – ODAC 第 13 回本公演 《Goosehouse × TEAM – ODAC》 「真っ白な画面とタイムマシン」 (劇団チームオダック)	3.6 ~ 16	11	3,000	3,732	2,607	69.9	
(貸し館 小計) 23 件	126 日	136		41,016	34,134	83.2	
(青山円形劇場 合計) 42 件	312 日	315		92,957	79,674	85.7	

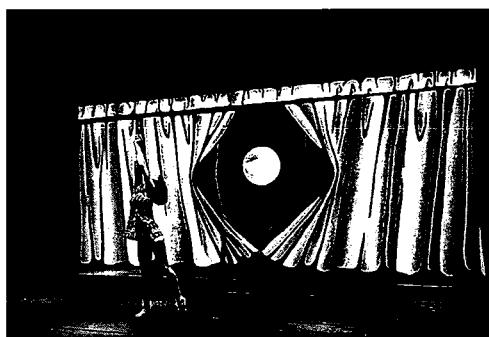
□□□ その他 □□□

■■■ 青山パフォーミング・アーツ・セミナー 2013 (APAS) ■■■

名 称	対象・定員	受講数	日 時	内 容
ダンスワークショップ	(人) 小学生 20	(人) 16	5.26 10:00 ~ 12:00	「DANCE-X13」と「子どもバザール」の一環。子どもワークショップ／講師=岩剣貞太、関かおり／無料／青山劇場リハーサル室
"	子どもの城児童合唱団 20	21	9.8 13:00 ~ 17:00 9.9 18:00 ~ 20:00	「TOKYO DANCE TODAY #9」の一環。子ども向け音楽とダンスのワークショップ／講師=森下真樹／無料／青山劇場リハーサル室

■■■ 青山劇場プロデュースによるツアー公演 ■■■

名 称	日 時	回 数	内 容
月猫えほん音楽会	7.31 ~ 8.1	1	北九州芸術劇場 中劇場 (福岡県北九州市)
月猫えほん音楽会	9.7~8	1	滋賀県立芸術劇場びわ湖 中ホール (滋賀県大津市)
中西俊博ライブ Reel's Trip	10.31	1	晴れたら空に豆まいて (ライブハウス: 代官山)

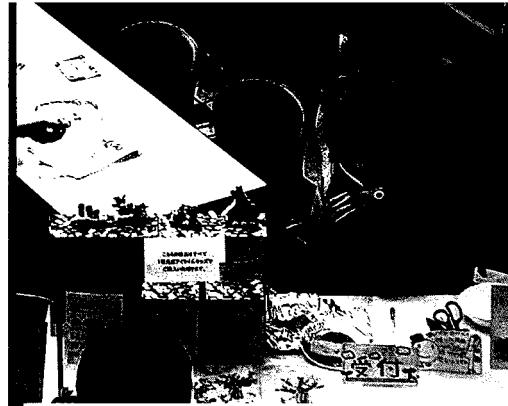


TOKYO DANCE TODAY #9
森下真樹（舞踏家）×東芽（現代美術家）「鏡から出た実」
Photo :Yoichi Tsukada



TOKYO DANCE TODAY #10 コンドルズ「UFO returns」
Photo :HARU

経営企画



プレイマイス水でくっつく簡単工作（アイタイムキッズ）



コンビ おむつ替えシートのサンプリング（コンビウイズ）



館内放送のCM送出（フィッシャープライス）

平成 25 年度の活動

新たな収入源の確保や、経営全体の効率化を推進する目的で新設された部署として 3 年目、本年度も経営企画部はホテル、研修室の管理運営といった従来からの営業業務はもとより、外部企業との関係を維持し、提携事業などを広く実施していくことで、〔子どもの城〕 経営全体のサポートとなることに主眼を置いた。

ホテル・研修室・駐車場・売店・自動販売機の管理運営、利用者からの意見・要望などの把握、また利用者統計に関する事項を引き続き担当した。

また、企業と〔子どもの城〕 の持つさまざまな資源の結びつけが、関連企業に認知され広がって来た機を逃さず、定期的な協賛・提携事業の具体化を進めた。

■■■ 企業との提携による新たな事業 ■■■

前年度より立ち上げた〔子どもの城〕 の「フレンドシップ企業」制度が活用され始めた。登録された「フレンドシップ企業」は、〔子どもの城〕 の事業と連携し、赤ちゃんのいる家庭や地域での子育てを、さまざまな形で支援することを目的としている。

本年度は 11 月の「ファミリー月間」のイベントや「赤ちゃん大集合」の事業以外にも、フレンドシップ企業による商品サンプルの配布などを行う方法で連携した。

最終年度も、企業との提携については、企業と〔子どもの城〕 にとってより良い提携・協力事業を実施できるように進め、さらにこのような協力関係が、子育て支援をはじめ広く社会貢献につながるようにしたい。

■フレンドシップ企業一覧■

持田ヘルスケア(株)／ピジョン(株)／大島椿(株)／マテル・インターナショナル(株)／グリコグループ（江崎グリコ(株)・アイクレオ(株)）／(株)明治／和光堂(株)／(株)ケイジエイシー／マイブックプラス／ビーンスターク・スノーワークス(株)／(株)赤ちゃんとママ社（平成 26 年 3 月 31 日現在：順不同）

■■■ レストランの運営 ■■■

オープン 2 年目となる〔子どもの城〕 のレストラン「カフェ・キャッスル」は、堅調に運営され、前年度の売上を越える月が増えている。レストランは、引き続きこどもの城ホテルの朝食や研修室

のお弁当、パーティーの飲食なども担当している。

■■■まとめ■■■

閉館へ向かう【こどもの城】の来館児・者は前年度を下回った。このため、駐車場・自動販売機・売店といった利用者サービス部門の収入も連動して下がってしまった。また、企業との協賛も件数的には従来の規模の維持に止まった。

しかし、昨年不調であった収入の一つの柱である研修室の実績が上昇し、また、一般の方々にご利用いただけた最後の年となつたホテルが、昨年の後半から的好調を持続、駐車場などの収入減を補填する形となつた。

その結果、営業収益全体でみた場合、前年度実績と比べ、若干上回ることとなつた。

公益財団法人 呪童育成協会



〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-1
TEL 03-3797-5666 (代表) FAX 03-3797-5676
<http://www.kodomono-shiro.jp/>